

南魚沼市まちづくりに関するアンケート調査

報 告 書

2019年10月

南 魚 沼 市

目次

I	調査結果の概要	1
II	調査概要	4
	1. 調査の実施概要	4
	2. 回答者の属性	6
III	調査の結果と分析	11
	1. まちづくりの現状評価	11
	2. 今後特に力を入れて取り組むべきこと	27
	3. 市民サービスの評価	44
	4. 市政への関心	48
	5. 市政情報の入手方法	51
	6. 「市報みなみ魚沼」を読んでいるか・評価	55
	7. 地域づくり協議会の認知度	68
	8. 地域づくり活動への関心度	71
	9. 南魚沼市に住むようになった理由・きっかけ	74
	10. 南魚沼市は暮らしやすいか	76
	11. 暮らしにくさや不安	79
	12. 働く環境としての魅力	82
	13. 定住意識	88
	自由記述－南魚沼市の魅力や誇り／南魚沼市への意見・感想	94
IV	調査票と集計結果	115
	調査票	115
	集計結果	123

I 調査結果の概要

1. まちづくりの現状評価

- 「こころとからだの健康づくりの推進」の評価が最も高く、新規項目「総合的な人口減少対策」の評価が最も低い
- 「こころとからだの健康づくりの推進」の評価が高い傾向は過去2回の調査と同様
- 前回調査から「上下水道の整備」は低く、「地域・家庭教育の充実」「情報化の推進」は高くなっている
- 加重平均値は、新規項目を除く31項目中16項目の評価が前回より向上する一方、上位6項目はいずれも低下
- 政策分野別の評価は、過去2回の調査と同様に、最も高いのは「保健・医療・福祉」、最も低いのは「産業振興」

2. 今後特に力を入れて取り組むべきこと

- 新規項目「総合的な人口減少対策」の要望が最も高い
- 「高齢者福祉・介護」「ひとにやさしいまちづくり」の要望も高く、「ひとにやさしいまちづくり」は前回調査より高い
- 30歳代は「子育て環境の充実」が特に高い
- 政策分野別の要望は、前回調査と同様に、最も高いのは「保健・医療・福祉」、次いで「都市基盤」「産業振興」

3. 市民サービスの評価

- 「窓口や電話での対応などが適切で親切」の評価が最も高く、「市民の意見や考えが伝わりやすい」の評価が最も低い
- すべての項目の評価が高くなる傾向。その中でも「市役所本庁舎の窓口は利用しやすい」の評価が最も向上

4. 市政への関心

- 「関心がある」が7割以上で高いが、関心度は低下する傾向
- 20歳代の関心度が低い

5. 市政情報の入手方法

- 過去3回の調査と同様に、全体では「市報みなみ魚沼」が約9割で特に高いが、その中で20歳代は低い
- 「市公式ウェブサイト」が若干増加傾向
- 50歳代以下や常勤は「市公式ウェブサイト」、60歳以上は「新聞」が比較的高い

6. 「市報みなみ魚沼」を読んでいるか・評価【新規設問】

- 過去3回の調査と同様に、全体では「読んでいる」が9割以上で特に高いが、その中で20歳代は低い
- 新規設問の「市報みなみ魚沼」の評価について
 - (1) 読みやすさは「読みやすい」が5割以上、「どちらともいえない」が約4割
 - (2) 必要な情報を得ることは「できる」が約6割、「どちらともいえない」が約4割
 - (3) 情報量は「ちょうどよい」が約8割、「多い」「少ない」がいずれも約1割
 - (4) 月2回の発行回数は「ちょうどよい」が8割以上、「多い」が1割以上
 - (5) 総合的な満足度は「やや満足している」が約6割、「どちらともいえない」が2割以上

7. 地域づくり協議会の認知度

- 「知っている」が約4割、「知らない」が約6割で、認知度は高くなる傾向
- 農林水産業が高い一方、20歳代、居住年数3年未満などが低い

8. 地域づくり活動への関心度【新規設問】

- 「関心がある」が約7割
- 「関心がある」は男性、高い年代、居住年数3年未満、夫婦2人のみや三世帯同居、農林水産業や商工業などが高い一方、20歳代が低い

9. 南魚沼市に住むようになった理由・きっかけ

- 前回調査と同様に「親の代（またはそれ以前）から住んでいる」が約7割
- 居住年数3年未満は「仕事・通学の都合」、3～20年未満は「結婚・独立」、20年以上は「親の代（またはそれ以前）から住んでいる」が最も高い
- 「結婚・独立」は女性や家事専業も高い

10. 南魚沼市は暮らしやすいか

- 「暮らしやすい」が約6割、「暮らしにくい」が約2割
- 居住年数3年未満は「どちらかといえば暮らしにくい」が約4割で最も高い

11. 暮らしにくさや不安

- 「医療・介護」が2割以上、次いで「少子高齢化」「雇用・収入」がそれぞれ1割以上
- 前回調査より「医療・介護」は若干高く、「雇用・収入」は若干低い
- 若い年代、居住年数5年未満や10～20年未満、非常勤は「雇用・収入」が最も高い
- 大和地域、農林水産業は「少子高齢化」が最も高い

12. 働く環境としての魅力

- 「魅力を感じない」が4割以上、「魅力を感じる」が1割以上
- 「魅力を感じない」は前回調査より若干低下
- 「魅力を感じる」理由は、「やりたい仕事や職種がある」「仕事と子育ての両立がしやすい」がそれぞれ2割以上、次いで「雇用の場が多い」が1割以上
- 「魅力を感じない」理由は、「給与水準が低い」が3割以上、次いで「雇用の場が少ない」が2割以上。前回調査と比較して「雇用の場」より「給与水準」に重点を置く傾向

13. 定住意識

- 「住み続けたい」が5割以上、「将来は市外に移りたい」が約2割
- 「住み続けたい」が低くなり、「将来は市外に移りたい」が高くなる傾向
- 「将来は市外に移りたい」は居住年数が短いほど高い傾向
- 「住み続けたい」理由は、前回調査と同様に「住み慣れて愛着がある」が約7割で突出
- 「将来は市外に移りたい」理由は、前回と同様に「自然環境が厳しい」が3割以上で最も高く、次いで「働く場に魅力がない」「買い物がしにくい」がそれぞれ1割以上

II 調査概要

1. 調査の実施概要

(1) 調査目的

「第2次南魚沼市総合計画」は、計画期間を平成28年度から令和7年度までの10年間（2016年～2025年）とし、中間年となる令和2年度に基本計画を見直し、後期5年間につなげることをとしています。本調査は、この見直しにあたり、これまでのまちづくりの取組への評価や、市政への意見などを市民に聞き、今後のまちづくりを進める上での基礎資料とすることを目的とします。

また、本調査はこれまで3回（平成21年、平成24年、平成26年）実施した「市民の声」アンケートを継承するもので、継続する設問では、市民意識などの経年変化を把握します。

(2) 調査方法

調査方法は以下のとおり。

調査地域	南魚沼市全域
調査対象	満20歳以上の市民
対象者数	2,500人（男女各1,250人）
抽出方法	令和元年6月1日現在の住民基本台帳から無作為抽出
調査方法	郵送による配布・回収
調査期間	令和元年7月5日（金）～7月31日（水）

(3) 調査項目

調査項目は、第2次総合計画によるまちづくりの取組に関するものを中心に、前回調査からの継続設問に加えて、新たな設問として「市報の読みやすさなどに関する評価」（問6②）、「地域づくり活動への関心度」（問8）に関するものを設けました。

また、調査の中心となる第2次総合計画の取組に関する設問では、2つの視点による回答を求めました。1つは33の施策項目の進捗状況に対する5段階による評価、もう1つは33項目のうち南魚沼市が今後特に力を入れて取り組むべき項目を5つまで選択するもので、これによって施策の現状評価と今後の方向性に関する市民意識の把握を図ることとしました。

(4) 配布・回収結果

調査票の回収結果は以下のとおりです。

配布数	2,500 通
回収数	1,197 通
回収率	47.9%

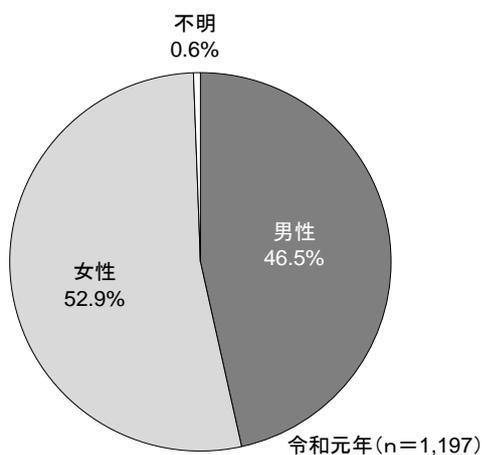
(5) 集計・分析方法と見方

- 各設問について、全体集計と、回答者の性別、年齢別、地域別（大和、六日町、塩沢）、職業別の4項目を中心とするクロス集計による分析を行います。
- これまでの調査から継続する設問について、全体集計結果の比較を行います。なお、本文中では平成26年調査を「前回」、平成24年調査を「前々回」、これらを合わせて「過去2回の調査」と示します。
- これまでの調査での設問と選択肢の表現等が異なる場合は、参考としてこれまでの全体集計結果を示します。
- 集計結果は、構成比率（%）での表示を主とし、一部で加重平均値を用います。本分析で用いる加重平均値は、点数化によって、各項目や属性間の比較を容易にするためのもので、点数化にあたっての重み付けの内容は、それぞれ該当図表の下に表示します。
- 集計結果における構成比率（%）の数値は、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表示しています。そのため、表示されている数値の合計が100.0%にならない場合があります。また、加重平均値は、小数点第3位を四捨五入し、小数点第2位までを表示します。
- 図表の中で「n=」で示される数値は、各設問への回答者数を示し、構成比率（%）を求めるための母数としています。
- 各設問の集計結果について、職業別の学生（n=15 全体の1.3%）、家族構成別の兄弟姉妹と同居（n=16 全体の1.3%）は該当者が少ないため、それぞれの属性別では図表中への表示及び分析は行いません。

2. 回答者の属性

(1) 性別

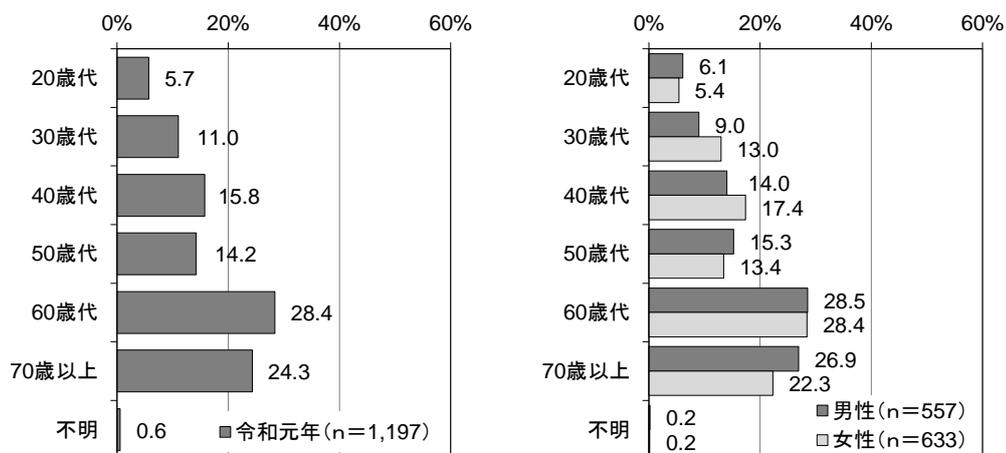
男性が46.5%、女性が52.9%で、女性が男性より6.4ポイント高くなっています。



(2) 年代

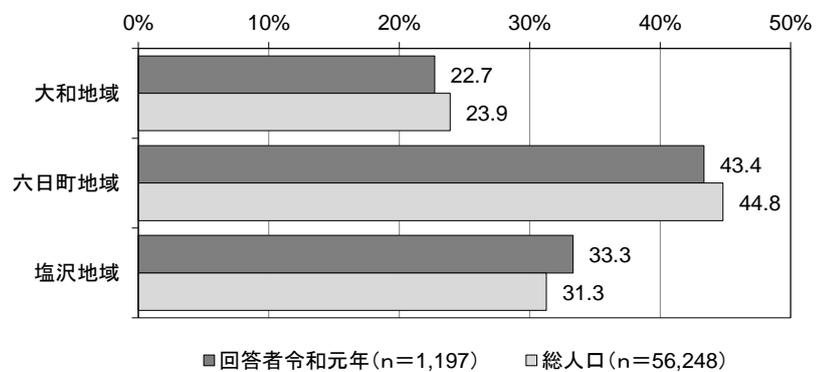
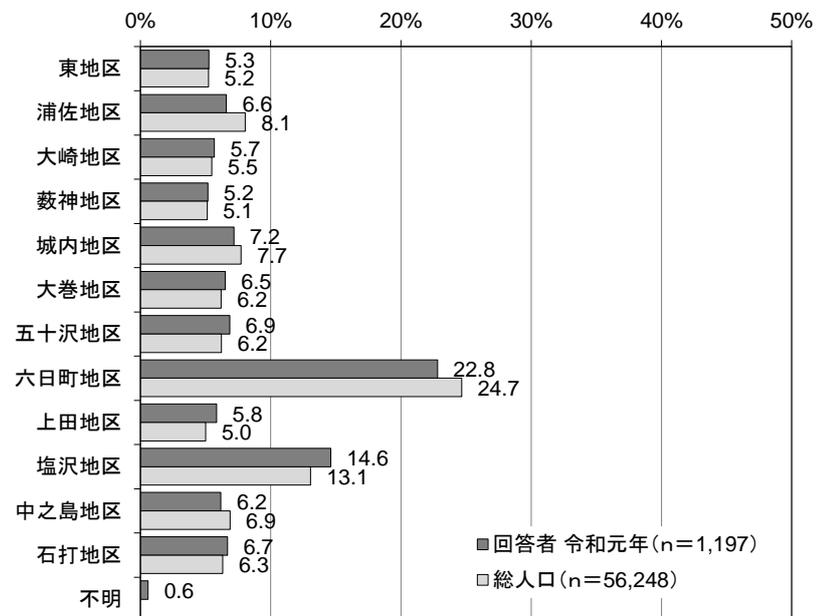
60歳代(28.4%)が約3割で最も高く、次いで70歳以上(24.3%)が2割以上、40歳代(15.8%)、50歳代(14.2%)、30歳代(11.0%)がそれぞれ1割以上となっています。

性別で見ると、男女とも60歳代(男性28.5%、女性28.4%)が最も高く、ほぼ同値となっています。次いで、男女とも70歳以上(男性26.9%、女性22.3%)が高くなっています。



(3) 居住地

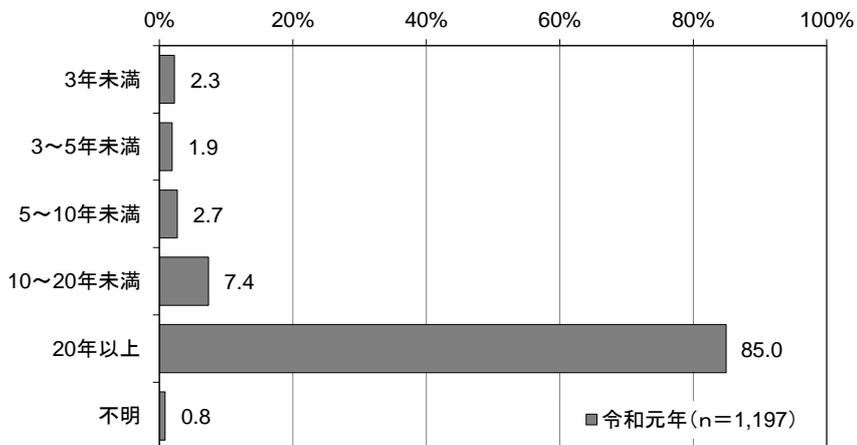
居住地について、12 地区別及び大和、六日町、塩沢の 3 地域別の割合は、行政区別総人口（令和元年 7 月末日・外国人住民を含む）による人口割合と同程度となっており、回答者の居住地は、市民の居住地の状況と概ね一致しています。



※総人口は南魚沼市行政区別人口集計表（外国人住民を含む）令和元年 7 月末日より

(4) 居住年数

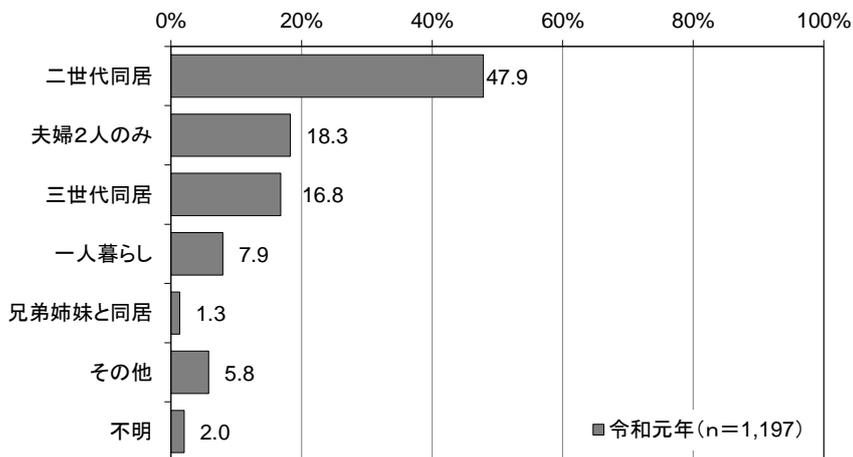
20年以上（85.0%）が8割以上で特に高くなっています。



(5) 家族構成

二世世代同居（47.9%）が約5割で最も高く、次いで夫婦2人のみ（18.3%）、三世世代同居（16.8%）がそれぞれ約2割となっています。

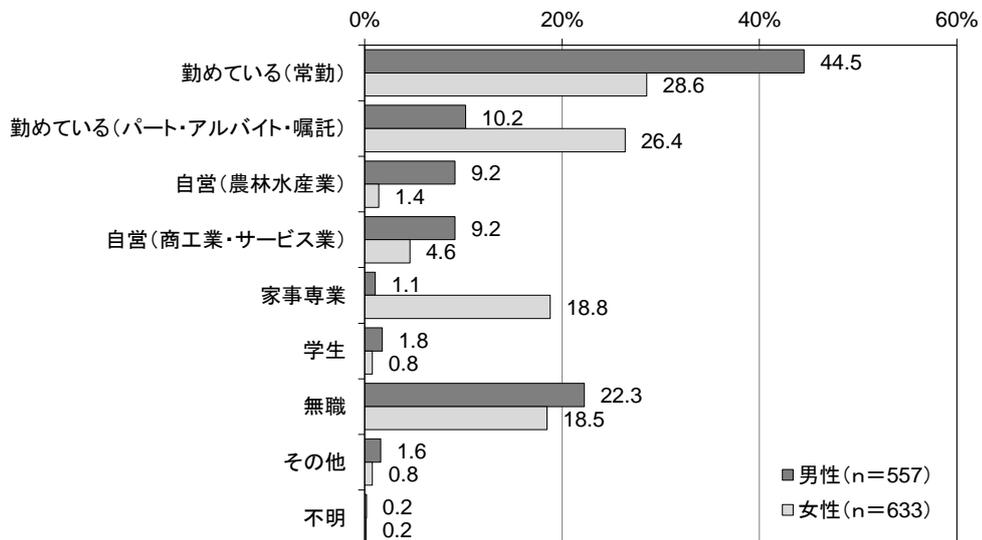
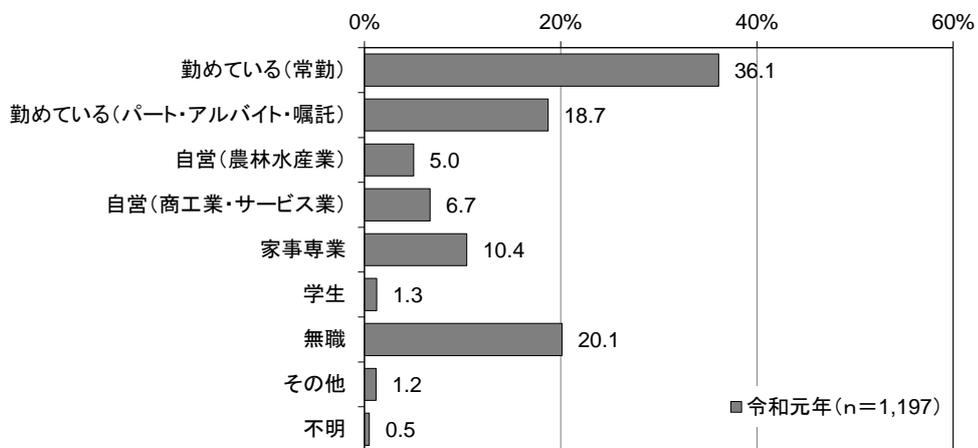
その他（5.8%）には、四世代同居（8件）が比較的多く見られます。



(6) 職業

勤めている(常勤)(以下「常勤」)(36.1%)が3割以上で最も高く、次いで無職(20.1%)が2割以上、勤めている(パート・アルバイト・嘱託)(以下「非常勤」)(18.7%)がそれぞれ約2割となっています。常勤と非常勤の合計値「勤めている」(54.8%)は5割以上となっており、回答者の半数以上が何らかの形態で雇用されています。

性別で見ると、男女とも常勤(男性44.5%、女性28.6%)が最も高く、男性は4割以上、女性は約3割となっています。次いで男性は無職(22.3%)、女性は非常勤(26.4%)がそれぞれ2割以上となっています。常勤と非常勤の合計値「勤めている」(男性54.7%、女性55.0%)は男女とも5割以上で同程度となっています。

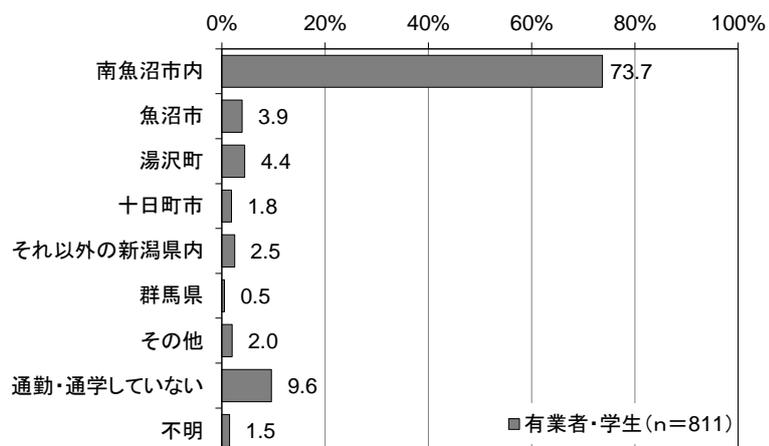
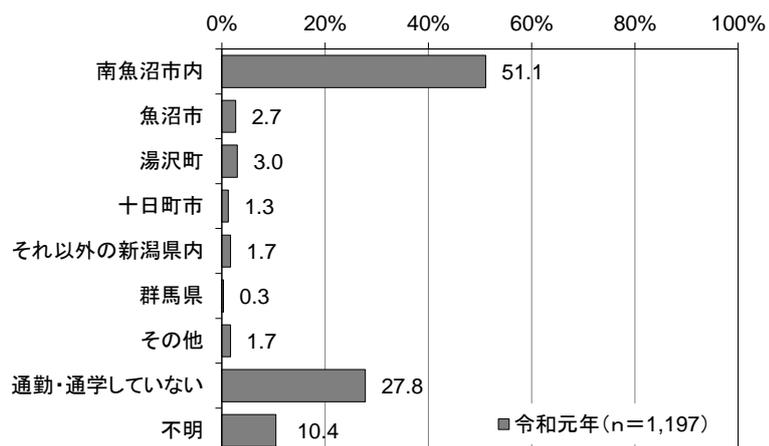


※以下、「勤めている(常勤)」は「常勤」、「勤めている(パート・アルバイト・嘱託)」は「非常勤」、「自営(農林水産業)」は「農林自営」、「自営(商工業・サービス業)」は「商工自営」と表示

(7) 通勤・通学先

「南魚沼市内」(51.1%) が5割以上で最も高く、それ以外の通勤先はいずれも1割未満となっています。

有業者（職業別で常勤、非常勤、自営）と学生を合わせて見てみると、「南魚沼市内」(73.7%) が7割以上となっています。



Ⅲ 調査の結果と分析

1. まちづくりの現状評価

問1 南魚沼市では、平成28年度に策定した「第2次南魚沼市総合計画」により6つの政策分野ごとにまちづくりを進めています。
あなたは、それぞれについて十分に取組が進められていると思いますか。(それぞれ1つずつ選択)

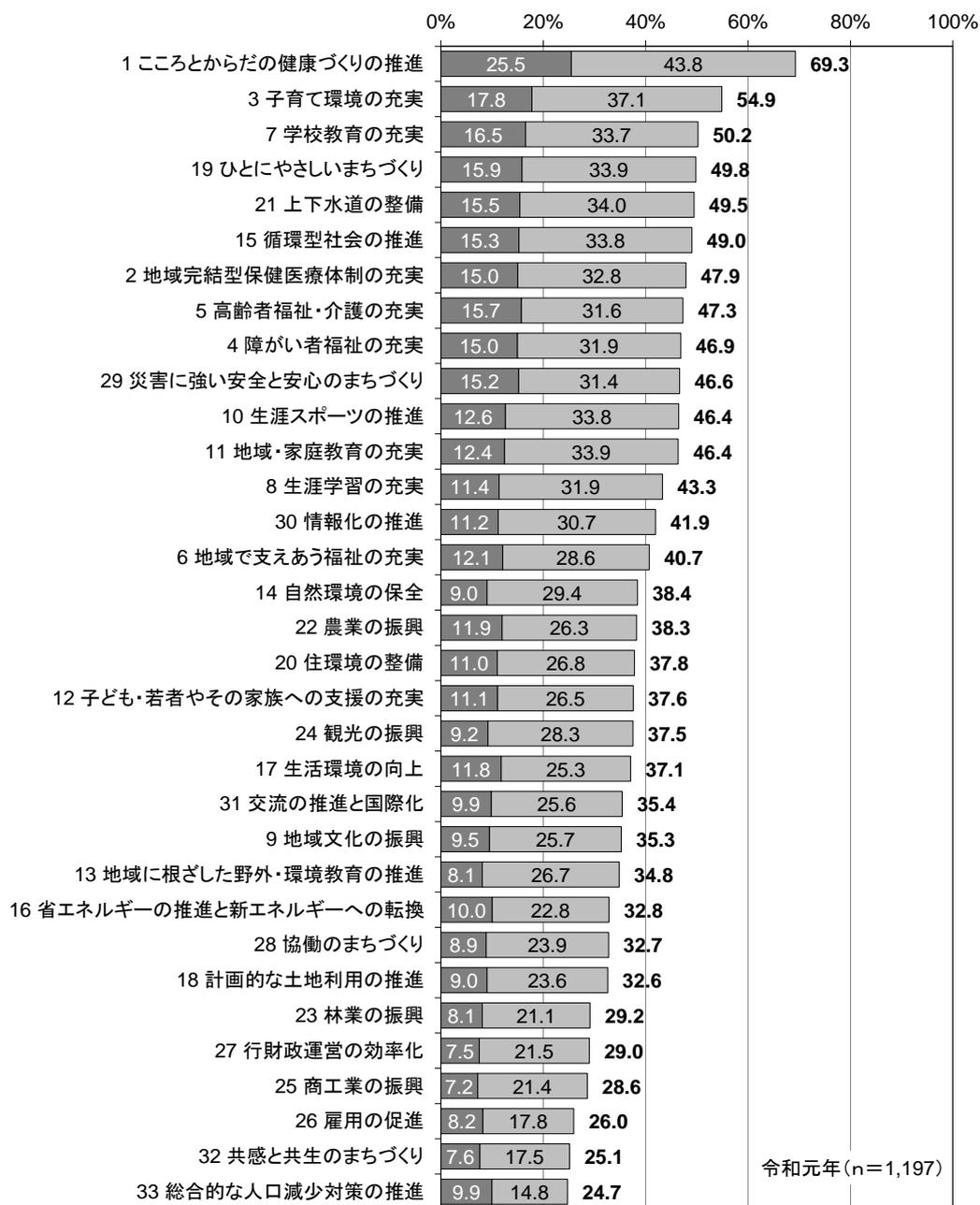
- 「こころとからだの健康づくりの推進」の評価が最も高い
- 「総合的な人口減少対策」の評価が最も低い
- 「健康づくり」の評価が高い傾向は過去2回の調査と同様
- 前回調査からの変動が大きいのは「上下水道の整備」「地域・家庭教育の充実」で、「上下水道の整備」は低く、「地域・家庭教育の充実」は高くなっている

「そう思う」は「1 こころとからだの健康づくりの推進」(25.5%)が最も高く、33項目の中で唯一2割以上となっています。

「そう思う」と「どちらかというと思う」の合計値『思う』を見ると、「1 こころとからだの健康づくりの推進」(69.3%)が約7割で最も高く、次いで「3 子育て環境の充実」(54.9%)、「7 学校教育の充実」(50.2%)の2項目がそれぞれ5割以上となっています。一方、「33 総合的な人口減少対策の推進」(24.7%)が最も低くなっています。

過去の調査とは項目によって項目名の表現が大きく異なるため、参考として見てみると、過去2回の調査でも合計値『思う』は「健康づくり」に関する項目が最も高くなっています。また、前回と比較して、「21 上下水道の整備」と「11 地域・家庭教育の充実」の変動が大きく、「21 上下水道の整備」(49.5%)は前回(60.6%・選択肢表現同じ)から約11ポイント低く、「11 地域・家庭教育の充実」(46.4%)は前回(32.7%・選択肢表現同じ)から約14ポイント高くなっています。

Ⅲ 調査の結果と分析 1. まちづくりの現状評価



■ そう思う □ どちらかというと思う

※ 「そう思う」「どちらかというと思う」の合計値『思う』(太数字)が高い順に表示

※ 項目名冒頭の数字は調査時の項目番号

※ 小数点第1位までを表示しているため、内訳と合計値『思う』(太数字)が一致しない場合がある

まちづくりの現状評価 取組が進められていると思うか(それぞれ1つずつ選択)

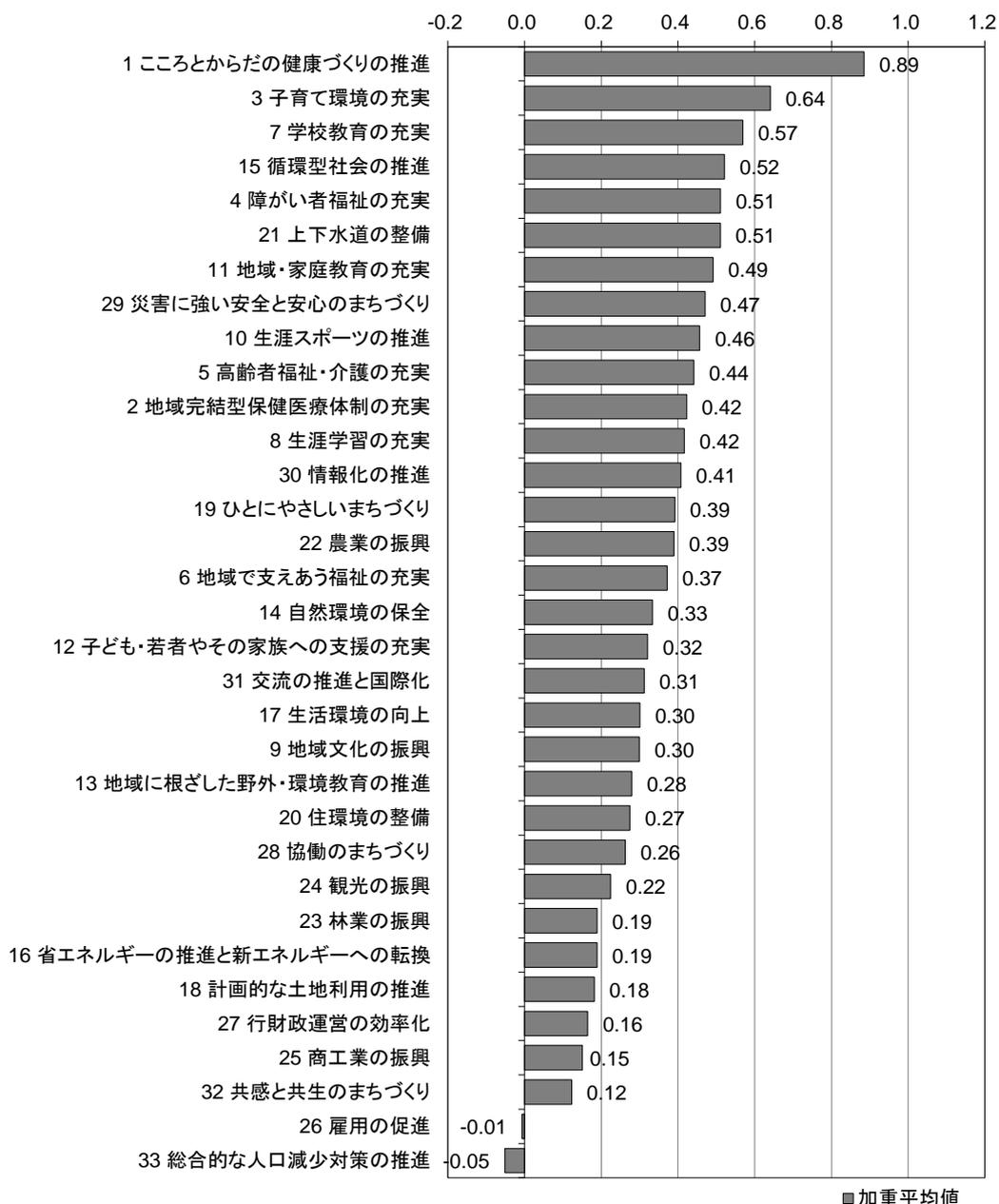
【参考】まちづくりの現状評価 取り組みが進められていると思うか_合計値『思う』（経年比較）

令和元年(n=1,197)	%	平成 26 年(n=1,029)	%	平成 24 年(n=1,121)	%
1 ころとからだの健康づくりの推進	69.3	健康づくりと予防医療の推進	74.3	健康づくりと予防医療の体制が充実したまち	64.6
3 子育て環境の充実	54.9	子育て支援の充実	57.3	子育て支援が充実したまち	47.5
7 学校教育の充実	50.2	学校教育の充実	51.2	学校の教育内容や施設整備が充実したまち	42.0
19 ひとにやさしいまちづくり	49.8	ひとにやさしいまちづくり	50.6	バスなどの公共交通が利用しやすいまち	32.9
21 上下水道の整備	49.5	上下水道の整備	60.6	上下水道・浄化槽や排水施設などが整備されたまち	57.4
15 循環型社会の推進	49.0	循環型社会の創造	52.5	ごみの減量化やリサイクルが進んだまち	48.1
2 地域完結型保健医療体制の充実	47.9	地域完結型保健医療体制の構築	51.2	医療機関が利用しやすいまち	43.5
5 高齢者福祉・介護の充実	47.3	高齢者福祉の充実	52.5	高齢者福祉が充実したまち	45.3
4 障がい者福祉の充実	46.9	障がい者福祉の充実	48.6	障がい者福祉が充実したまち	36.3
29 災害に強い安全と安心のまちづくり	46.6	災害に強い安全と安心のまちづくり	43.4	防災体制が整備された災害に強いまち	33.8
10 生涯スポーツの推進	46.4	生涯スポーツの推進	46.2	誰もがスポーツに親しめるまち	31.7
11 地域・家庭教育の充実	46.4	地域・家庭教育の充実	32.7	家庭の教育力向上や地域に密着した教育が進んだまち	24.2
8 生涯学習の充実	43.3	生涯学習の充実	41.9	公民館や図書館など生涯学習の機会や施設が充実したまち	31.0
30 情報化の推進	41.9	高度情報化の推進	27.9	情報通信ネットワークが整備されたまち	18.8
6 地域で支えあう福祉の充実	40.7	地域福祉の推進	41.7	地域福祉が盛んなまち	32.5
14 自然環境の保全	38.4	自然環境の保全と活用	32.6	自然環境の保全・活用が進んだまち	26.0
22 農業の振興	38.3	農業の振興	34.7	農業が盛んなまち	57.5
20 住環境の整備	37.8	住環境の整備	41.8	安心・快適な住宅・住環境が整備されたまち	31.7
12 子ども・若者やその家族への支援の充実	37.6	-	-	-	-
24 観光の振興	37.5	観光の振興	38.9	観光が盛んなまち	31.0
17 生活環境の向上	37.1	生活環境の向上	32.8	地盤沈下や悪臭、騒音等、公害への対策が充実したまち	21.1
31 交流の推進と国際化	35.4	交流の推進	28.4	他都市・地域との交流や国際交流が盛んなまち	23.1
9 地域文化の振興	35.3	地域文化の振興	37.2	地域の文化や伝統の保護・継承・活用が盛んなまち	32.1
13 地域に根ざした野外・環境教育の推進	34.8	野外・環境教育の推進	31.4	環境教育や環境活動が盛んなまち	20.6
16 省エネルギーの推進と新エネルギーへの転換	32.8	省エネルギーの推進と新エネルギーへの転換	27.1	省エネルギーや新エネルギーの活用が進んだまち	14.1
28 協働のまちづくり	32.7	市民主体のまちづくり	33.0	市民主体のまちづくり活動が盛んなまち	21.9
18 計画的な土地利用の推進	32.6	計画的な土地利用の推進	33.4	自然環境と都市環境の均衡・調和がとれたまち	28.7
23 林業の振興	29.2	林業の振興	24.6	林業が盛んなまち	15.7
27 行財政運営の効率化	29.0	行財政運営の効率化	25.0	効率的な行財政運営がされているまち	17.9
25 商工業の振興	28.6	商工業の振興	28.5	商工業が盛んなまち	15.4
26 雇用の促進	26.0	雇用の促進	22.8	雇用対策が充実したまち	11.9
32 共感と共生のまちづくり	25.1	共感と共生のまちづくり	25.6	人権尊重や男女共同参画の意識が高いまち	17.0
33 総合的な人口減少対策の推進	24.7	-	-	-	-

※各年とも「そう思う」「どちらかというと思う」の合計値『思う』で、令和元年の値が高い順に表示
 ※各年で表現が異なる項目は、同様の内容の項目を当てはめて整理。「12 子ども・若者やその家族への支援の充実」「33 総合的な人口減少対策の推進」は新規項目

各項目の加重平均値※を見ると、「1 ところとからだの健康づくりの推進」(0.89 ポイント)が特に高くなっています。次いで「3 子育て環境の充実」(0.64 ポイント)、「7 学校教育の充実」(0.57 ポイント)などとなっています。

一方、「33 総合的な人口減少対策の推進」(-0.05 ポイント)が最も低く、次いで低い「26 雇用の促進」(-0.01 ポイント)とともにマイナスの値となっています。また、すべての項目が1.0 ポイント未満となっています。



※値が高い順に表示 ※項目名冒頭の数字は調査時の項目番号

まちづくりの現状評価 取り組みが進められていると思うか (加重平均値)

※加重平均値:「そう思う」に+2点、「どちらかというと思う」に+1点、「どちらともいえない」に0点、「どちらかというと思うわない」に-1点、「そう思わない」に-2点の加重値を与え、「不明」を除く回答者数で平均値を算出したもの。基準値を0として、プラスの値の場合は肯定的な評価、マイナスの値の場合は否定的な評価と考えられる

- 新規項目を除く 31 項目中 16 項目の評価が前回より向上
- 「地域・家庭教育の充実」「情報化の推進」の 2 項目の評価が比較的向上
- 「上下水道の整備」の評価が前回より最も低下
- 加重平均値上位 6 項目はいずれも評価が前回より低下

加重平均値について、過去の調査とは項目によって項目名の表現が大きく異なるため、参考として見てみると、新規項目を除く 31 項目中 16 項目が前回より高くなっています。

前回とのポイント差は「11 地域・家庭教育の充実」（選択肢表現同じ）、「30 情報化の推進」（前回「高度情報化の推進」）の 2 項目で大きく、いずれも前回より 0.25 ポイント高くなっています。一方、「21 上下水道の整備」は上記 2 項目に次いでポイント差が大きく（0.24 ポイント・選択肢表現同じ）、前回より低くなっています。

また、「1 ころとからだの健康づくりの推進」（前回「健康づくりと予防医療の推進」）をはじめ、加重平均値の上位 6 項目はいずれも前回より低くなっています。

Ⅲ 調査の結果と分析 1. まちづくりの現状評価

【参考】まちづくりの現状評価 取組が進められていると思うか（経年比較 加重平均値）

令和元年(n=1,197)		平成 26 年(n=1,029)		平成 24 年(n=1,121)	
1 ところからだの健康づくりの推進	0.89	健康づくりと予防医療の推進	1.06	健康づくりと予防医療の体制が充実したまち	0.75
3 子育て環境の充実	0.64	子育て支援の充実	0.68	子育て支援が充実したまち	0.38
7 学校教育の充実	0.57	学校教育の充実	0.59	学校の教育内容や施設整備が充実したまち	0.35
15 循環型社会の推進	0.52	循環型社会の創造	0.56	ごみの減量化やリサイクルが進んだまち	0.36
4 障がい者福祉の充実	0.51	障がい者福祉の充実	0.55	障がい者福祉が充実したまち	0.22
21 上下水道の整備	0.51	上下水道の整備	0.75	上下水道・浄化槽や排水施設などが整備されたまち	0.57
11 地域・家庭教育の充実	0.49	地域・家庭教育の充実	0.24	家庭の教育力向上や地域に密着した教育が進んだまち	-0.08
29 災害に強い安全と安心のまちづくり	0.47	災害に強い安全と安心のまちづくり	0.40	防災体制が整備された災害に強いまち	0.10
10 生涯スポーツの推進	0.46	生涯スポーツの推進	0.46	誰もがスポーツに親しめるまち	0.03
5 高齢者福祉・介護の充実	0.44	高齢者福祉の充実	0.59	高齢者福祉が充実したまち	0.33
2 地域完結型保健医療体制の充実	0.42	地域完結型保健医療体制の構築	0.53	医療機関が利用しやすいまち	0.20
8 生涯学習の充実	0.42	生涯学習の充実	0.37	公民館や図書館など生涯学習の機会や施設が充実したまち	0.07
30 情報化の推進	0.41	高度情報化の推進	0.16	情報通信ネットワークが整備されたまち	-0.15
19 ひとにやさしいまちづくり	0.39	ひとにやさしいまちづくり	0.49	バスなどの公共交通が利用しやすいまち	-0.08
22 農業の振興	0.39	農業の振興	0.26	農業が盛んなまち	0.60
6 地域で支えあう福祉の充実	0.37	地域福祉の推進	0.43	地域福祉が盛んなまち	0.14
14 自然環境の保全	0.33	自然環境の保全と活用	0.26	自然環境の保全・活用が進んだまち	0.00
12 子ども・若者やその家族への支援の充実	0.32	-	-	-	-
31 交流の推進と国際化	0.31	交流の推進	0.16	他都市・地域との交流や国際交流が盛んなまち	-0.09
17 生活環境の向上	0.30	生活環境の向上	0.15	地盤沈下や悪臭、騒音等、公害への対策が充実したまち	-0.23
9 地域文化の振興	0.30	地域文化の振興	0.32	地域の文化や伝統の保護・継承・活用が盛んなまち	0.09
13 地域に根ざした野外・環境教育の推進	0.28	野外・環境教育の推進	0.26	環境教育や環境活動が盛んなまち	-0.07
20 住環境の整備	0.27	住環境の整備	0.35	安心・快適な住宅・住環境が整備されたまち	0.06
28 協働のまちづくり	0.26	市民主体のまちづくり	0.22	市民主体のまちづくり活動が盛んなまち	-0.18
24 観光の振興	0.22	観光の振興	0.24	観光が盛んなまち	-0.04
23 林業の振興	0.19	林業の振興	0.01	林業が盛んなまち	-0.31
16 省エネルギーの推進と新エネルギーへの転換	0.19	省エネルギーの推進と新エネルギーへの転換	-0.02	省エネルギーや新エネルギーの活用が進んだまち	-0.44
18 計画的な土地利用の推進	0.18	計画的な土地利用の推進	0.15	自然環境と都市環境の均衡・調和がとれたまち	-0.02
27 行財政運営の効率化	0.16	行財政運営の効率化	0.08	効率的な行財政運営がされているまち	-0.29
25 商工業の振興	0.15	商工業の振興	0.10	商工業が盛んなまち	-0.37
32 共感と共生のまちづくり	0.12	共感と共生のまちづくり	0.12	人権尊重や男女共同参画の意識が高いまち	-0.19
26 雇用の促進	-0.01	雇用の促進	-0.11	雇用対策が充実したまち	-0.59
33 総合的な人口減少対策の推進	-0.05	-	-	-	-

※各年とも、令和元年の値が高い順に表示

※各年で表現が異なる項目は、同様の内容の項目を当てはめて整理。「12 子ども・若者やその家族への支援の充実」「33 総合的な人口減少対策の推進」は新規項目

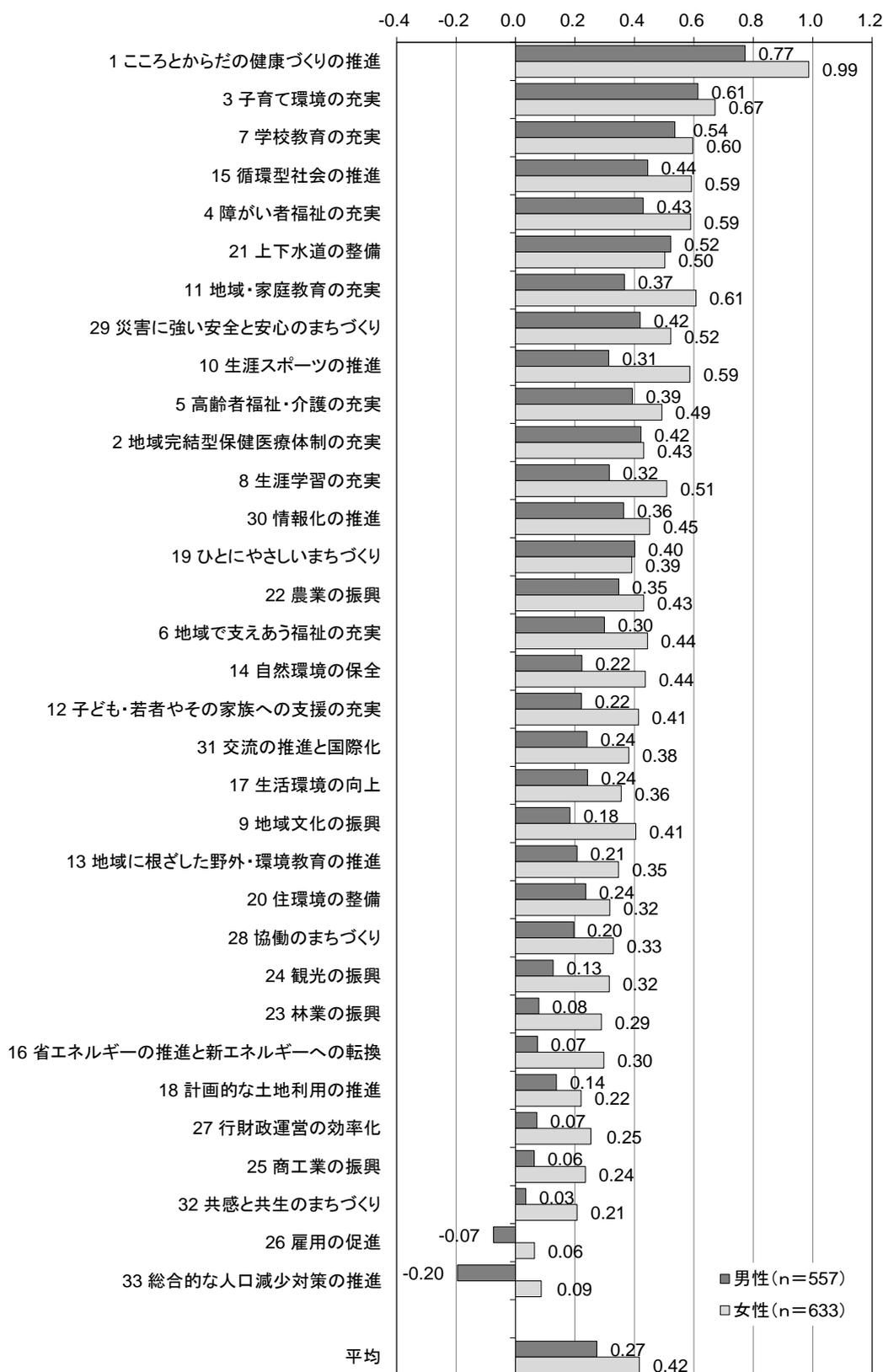
- 男女とも「こころとからだの健康づくりの推進」の評価が最も高い
- 次いで男女とも「子育て環境の充実」の評価が高い
- ほとんどの項目で女性が男性より高く、女性はすべての項目がプラス値
- 男女差は「総合的な人口減少対策」「生涯スポーツ推進」で比較的大きく、いずれも女性が男性より高い

性別で加重平均値を見ると、男女とも「1 こころとからだの健康づくりの推進」(男性 0.77 ポイント、女性 0.99 ポイント) が最も高く、次いで「3 子育て環境の充実」(男性 0.61 ポイント、女性 0.67 ポイント) となっています。

一方、最も低い項目は、男性は「33 総合的な人口減少対策の推進」(-0.20 ポイント)、女性は「26 雇用の促進」(0.06 ポイント) となっており、女性は「33 総合的な人口減少対策の推進」(0.09 ポイント) も同程度となっています。また、男性は「26 雇用の促進」(-0.07 ポイント)、「33 総合的な人口減少対策の推進」の 2 項目がマイナスの値となっていますが、女性はすべての項目がプラスの値となっています。

「21 上下水道の整備」「19 ひとにやさしいまちづくり」の 2 項目を除き、女性が男性より高くなっています。男女差は「33 総合的な人口減少対策の推進」「10 生涯スポーツの推進」で比較的大きく、女性が男性よりそれぞれ 0.29 ポイント、0.28 ポイント高くなっています。

Ⅲ 調査の結果と分析 1. まちづくりの現状評価



※全体値が高い順に表示 ※項目名冒頭の数字は調査時の項目番号

まちづくりの現状評価 取組が進められていると思うか（性別 加重平均値）

- すべての年代で「こころとからだの健康づくりの推進」の評価が最も高い
- 70 歳代以上のみすべての項目がプラス値
- 年代差は「上下水道の整備」「雇用促進」「総合的な人口減少対策」で大きく、いずれも 70 歳以上で評価が高い

年代別で加重平均値を見ると、すべての年代で「1 こころとからだの健康づくりの推進」が最も高く、次いで 30 歳代以上は「3 子育て環境の充実」、20 歳代は「29 災害に強い安全と安心のまちづくり」(0.63 ポイント)となっています(30 歳代は「11 地域・家庭教育の充実」(0.47 ポイント)、50 歳代は「7 学校教育の充実」(0.49 ポイント)と同値)。

一方、最も低い項目は、20 歳代、70 歳以上を除き「33 総合的な人口減少対策の推進」、20 歳代、70 歳以上は「26 雇用の促進」(それぞれ-0.32 ポイント、0.28 ポイント)となっています。また、70 歳以上のみすべての項目がプラスの値となっています。

年代差は「21 上下水道の整備」「26 雇用の促進」「33 総合的な人口減少対策の推進」で大きく、「21 上下水道の整備」「33 総合的な人口減少対策の推進」は 30 歳代、「26 雇用の促進」は 20 歳代が最も低く、いずれも 70 歳以上が最も高くなっています。

加重平均値の平均を見ると、70 歳以上 (0.54 ポイント) が最も高く、50 歳代 (0.19 ポイント) が最も低くなっています。

まちづくりの現状評価 取組が進められていると思うか（年代別 加重平均値）

	加重平均値	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
1 ところからだの健康づくりの推進	0.74	0.61	0.92	0.71	0.92	1.09	
3 子育て環境の充実	0.47	0.47	0.55	0.49	0.68	0.89	
7 学校教育の充実	0.53	0.34	0.48	0.49	0.56	0.80	
15 循環型社会の推進	0.52	0.37	0.34	0.33	0.56	0.80	
4 障がい者福祉の充実	0.45	0.36	0.40	0.33	0.57	0.74	
21 上下水道の整備	0.38	0.16	0.42	0.30	0.63	0.76	
11 地域・家庭教育の充実	0.48	0.47	0.53	0.35	0.48	0.59	
29 災害に強い安全と安心のまちづくり	0.63	0.37	0.45	0.17	0.46	0.71	
10 生涯スポーツの推進	0.26	0.33	0.49	0.38	0.46	0.60	
5 高齢者福祉・介護の充実	0.44	0.29	0.33	0.25	0.51	0.63	
2 地域完結型保健医療体制の充実	0.55	0.14	0.30	0.28	0.47	0.67	
8 生涯学習の充実	0.47	0.41	0.39	0.30	0.36	0.57	
30 情報化の推進	0.30	0.28	0.29	0.24	0.48	0.59	
19 ひとにやさしいまちづくり	0.32	0.29	0.39	0.09	0.42	0.62	
22 農業の振興	0.44	0.35	0.41	0.30	0.36	0.48	
6 地域で支えあう福祉の充実	0.35	0.29	0.28	0.21	0.42	0.54	
14 自然環境の保全	0.48	0.33	0.33	0.23	0.27	0.46	
12 子ども・若者やその家族への支援の充実	0.08	0.11	0.25	0.21	0.42	0.51	
31 交流の推進と国際化	0.32	0.28	0.27	0.17	0.36	0.39	
17 生活環境の向上	0.42	0.17	0.21	0.13	0.31	0.52	
9 地域文化の振興	0.24	0.22	0.27	0.21	0.27	0.47	
13 地域に根ざした野外・環境教育の推進	0.21	0.20	0.19	0.22	0.28	0.44	
20 住環境の整備	0.09	0.13	0.23	0.12	0.36	0.42	
28 協働のまちづくり	0.33	0.16	0.15	0.05	0.31	0.47	
24 観光の振興	0.17	0.09	0.21	0.07	0.23	0.42	
23 林業の振興	0.29	0.29	0.21	0.01	0.13	0.29	
16 省エネルギーの推進と新エネルギーへの転換	0.36	0.10	0.16	0.08	0.17	0.32	
18 計画的な土地利用の推進	0.21	0.14	0.06	0.00	0.20	0.38	
27 行財政運営の効率化	0.23	0.02	0.07	0.01	0.17	0.40	
25 商工業の振興	0.12	0.11	0.07	-0.05	0.16	0.38	
32 共感と共生のまちづくり	0.11	0.07	0.04	-0.01	0.12	0.31	
26 雇用の促進	-0.32	-0.12	-0.13	-0.18	0.06	0.28	
33 総合的な人口減少対策の推進	-0.03	-0.28	-0.14	-0.26	-0.05	0.29	
平均	0.32	0.23	0.29	0.19	0.37	0.54	

※全体値が高い順に表示

※項目名冒頭の数字は調査時の項目番号

※濃色網掛け表示は最も高い値、淡色網掛け表示は次いで高い値

- すべての地域で「こころとからだの健康づくりの推進」の評価が最も高い
- 次いですべての地域で「子育て環境の充実」の評価が高い
- 六日町地域のみすべての項目がプラス値
- 地域差は「地域完結型保健医療体制」で最も大きく、大和地域が高い

地域別で加重平均値を見ると、すべての地域で「1 こころとからだの健康づくりの推進」が最も高く、次いで「3 子育て環境の充実」が高くなっています。

一方、最も低い項目は、すべての地域で「33 総合的な人口減少対策の推進」となっています。また、六日町地域のみすべての項目がプラスの値となっています。

地域差は「2 地域完結型保健医療体制の充実」で最も大きく、最も高い大和地域（0.54 ポイント）と最も低い塩沢地域（0.29 ポイント）では 0.25 ポイントの差が見られます。

加重平均値の平均を見ると、大和地域（0.37 ポイント）と六日町地域（0.38 ポイント）は同程度に高く、塩沢地域（0.29 ポイント）が最も低くなっています。

まちづくりの現状評価 取組が進められていると思うか（地域別 加重平均値）

	加重平均値	大和地域	六日町地域	塩沢地域
1 ところとからだの健康づくりの推進		0.89	0.95	0.80
3 子育て環境の充実		0.66	0.70	0.56
7 学校教育の充実		0.60	0.59	0.51
15 循環型社会の推進		0.46	0.57	0.50
4 障がい者福祉の充実		0.49	0.58	0.43
21 上下水道の整備		0.56	0.53	0.44
11 地域・家庭教育の充実		0.49	0.53	0.44
29 災害に強い安全と安心のまちづくり		0.49	0.46	0.46
10 生涯スポーツの推進		0.43	0.48	0.44
5 高齢者福祉・介護の充実		0.50	0.48	0.35
2 地域完結型保健医療体制の充実		0.54	0.46	0.29
8 生涯学習の充実		0.35	0.49	0.37
30 情報化の推進		0.46	0.44	0.34
19 ひとにやさしいまちづくり		0.41	0.41	0.35
22 農業の振興		0.46	0.41	0.31
6 地域で支えあう福祉の充実		0.36	0.44	0.30
14 自然環境の保全		0.38	0.34	0.30
12 子ども・若者やその家族への支援の充実		0.33	0.36	0.27
31 交流の推進と国際化		0.31	0.34	0.27
17 生活環境の向上		0.38	0.29	0.27
9 地域文化の振興		0.27	0.33	0.27
13 地域に根ざした野外・環境教育の推進		0.32	0.31	0.21
20 住環境の整備		0.35	0.31	0.19
28 協働のまちづくり		0.30	0.28	0.20
24 観光の振興		0.26	0.18	0.26
23 林業の振興		0.20	0.24	0.10
16 省エネルギーの推進と新エネルギーへの転換		0.25	0.19	0.15
18 計画的な土地利用の推進		0.28	0.15	0.15
27 行財政運営の効率化		0.18	0.19	0.12
25 商工業の振興		0.14	0.16	0.15
32 共感と共生のまちづくり		0.15	0.18	0.04
26 雇用の促進		-0.03	0.07	-0.08
33 総合的な人口減少対策の推進		-0.07	0.03	-0.13
	平均	0.37	0.38	0.29

※全体値が高い順に表示

※項目名冒頭の数字は調査時の項目番号

※濃色網掛け表示は最も高い値、淡色網掛け表示は次いで高い値

- 自営農林を除き「こころとからだの健康づくりの推進」の評価が最も高い
- 家事専業、無職はすべての項目がプラス値
- 職業差は「上下水道の整備」で最も高く、自営農林が高い

職業別で加重平均値を見ると、農林自営を除き「1 こころとからだの健康づくりの推進」が最も高く、次いで「3 子育て環境の充実」が高くなっています（商工自営は「7 学校教育の充実（0.53 ポイント）と同値）。農林自営は「21 上下水道の整備」（0.98 ポイント）が最も高く、次いで「1 こころとからだの健康づくりの推進」（0.85 ポイント）となっています。

一方、最も低い項目は、家事専業を除き「33 総合的な人口減少対策の推進」となっており、家事専業は「26 雇用の促進」（0.09 ポイント）となっています（商工自営は上記2項目が-0.09 ポイントで同値）。また、家事専業、無職はすべての項目がプラスの値となっています。

職業差は「21 上下水道の整備」で最も大きく、最も高い農林自営と最も低い商工自営（0.37 ポイント）では 0.61 ポイントの差が見られます。

加重平均値の平均を見ると、無職（0.45 ポイント）、農林自営（0.44 ポイント）、家事専業（0.43 ポイント）が同程度で比較的高く、常勤（0.25 ポイント）が最も低くなっています。

Ⅲ 調査の結果と分析 1. まちづくりの現状評価

まちづくりの現状評価 取組が進められていると思うか（職業別 加重平均値）

	加重平均値	常勤	非常勤	農林自営	商工自営	家事専業	無職
1 ところとからだの健康づくりの推進		0.75	0.96	0.85	0.94	1.04	1.01
3 子育て環境の充実		0.52	0.65	0.69	0.53	0.77	0.83
7 学校教育の充実		0.45	0.61	0.81	0.53	0.56	0.69
15 循環型社会の推進		0.38	0.50	0.66	0.46	0.66	0.72
4 障がい者福祉の充実		0.38	0.57	0.57	0.51	0.65	0.65
21 上下水道の整備		0.39	0.50	0.98	0.37	0.53	0.67
11 地域・家庭教育の充実		0.41	0.64	0.51	0.28	0.57	0.54
29 災害に強い安全と安心のまちづくり		0.36	0.49	0.54	0.36	0.58	0.63
10 生涯スポーツの推進		0.41	0.55	0.41	0.34	0.51	0.49
5 高齢者福祉・介護の充実		0.33	0.42	0.68	0.37	0.49	0.61
2 地域完結型保健医療体制の充実		0.30	0.46	0.75	0.35	0.54	0.49
8 生涯学習の充実		0.35	0.50	0.41	0.35	0.41	0.48
30 情報化の推進		0.31	0.43	0.56	0.32	0.48	0.53
19 ひとにやさしいまちづくり		0.36	0.26	0.63	0.42	0.43	0.49
22 農業の振興		0.34	0.38	0.33	0.36	0.48	0.42
6 地域で支えあう福祉の充実		0.29	0.44	0.47	0.18	0.47	0.46
14 自然環境の保全		0.29	0.31	0.45	0.23	0.46	0.35
12 子ども・若者やその家族への支援の充実		0.21	0.46	0.30	0.10	0.40	0.44
31 交流の推進と国際化		0.24	0.35	0.30	0.17	0.41	0.37
17 生活環境の向上		0.24	0.24	0.50	0.18	0.29	0.44
9 地域文化の振興		0.23	0.38	0.38	0.18	0.34	0.37
13 地域に根ざした野外・環境教育の推進		0.22	0.38	0.26	0.18	0.33	0.31
20 住環境の整備		0.19	0.28	0.49	0.13	0.34	0.39
28 協働のまちづくり		0.13	0.32	0.46	0.13	0.39	0.38
24 観光の振興		0.16	0.19	0.16	0.34	0.34	0.30
23 林業の振興		0.12	0.21	0.25	0.12	0.25	0.25
16 省エネルギーの推進と新エネルギーへの転換		0.15	0.20	0.24	-0.08	0.31	0.24
18 計画的な土地利用の推進		0.10	0.22	0.40	0.08	0.16	0.25
27 行財政運営の効率化		0.07	0.21	0.35	0.01	0.28	0.26
25 商工業の振興		0.03	0.21	0.16	0.10	0.32	0.26
32 共感と共生のまちづくり		0.02	0.17	0.04	0.09	0.23	0.23
26 雇用の促進		-0.15	0.04	0.20	-0.09	0.09	0.20
33 総合的な人口減少対策の推進		-0.21	-0.02	-0.09	-0.09	0.15	0.15
	平均	0.25	0.38	0.44	0.26	0.43	0.45

※全体値が高い順に表示

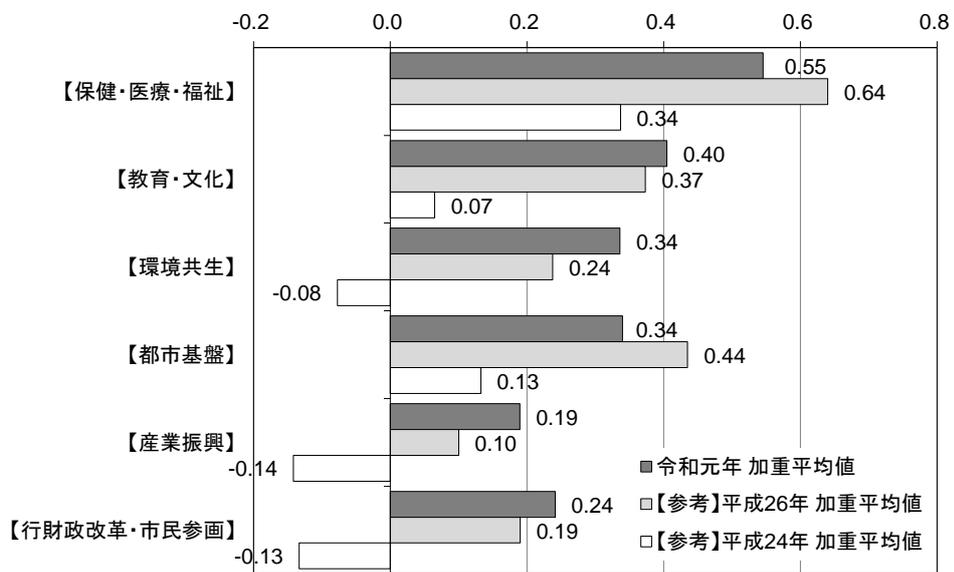
※項目名冒頭の数字は調査時の項目番号

※濃い網掛け表示は最も高い値、淡色網掛け表示は次いで高い値

- 政策分野別で評価が最も高いのは「保健・医療・福祉」、最も低いのは「産業振興」
- 過去 2 回の調査も同様の傾向

33 項目の加重平均値について、第 2 次総合計画における 6 つの政策分野に分類した平均※を見ると、「保健・医療・福祉」(0.55 ポイント) が最も高く、次いで「教育・文化」(0.40 ポイント)、「環境共生」「都市基盤」(0.34 ポイントで同値) となっています。

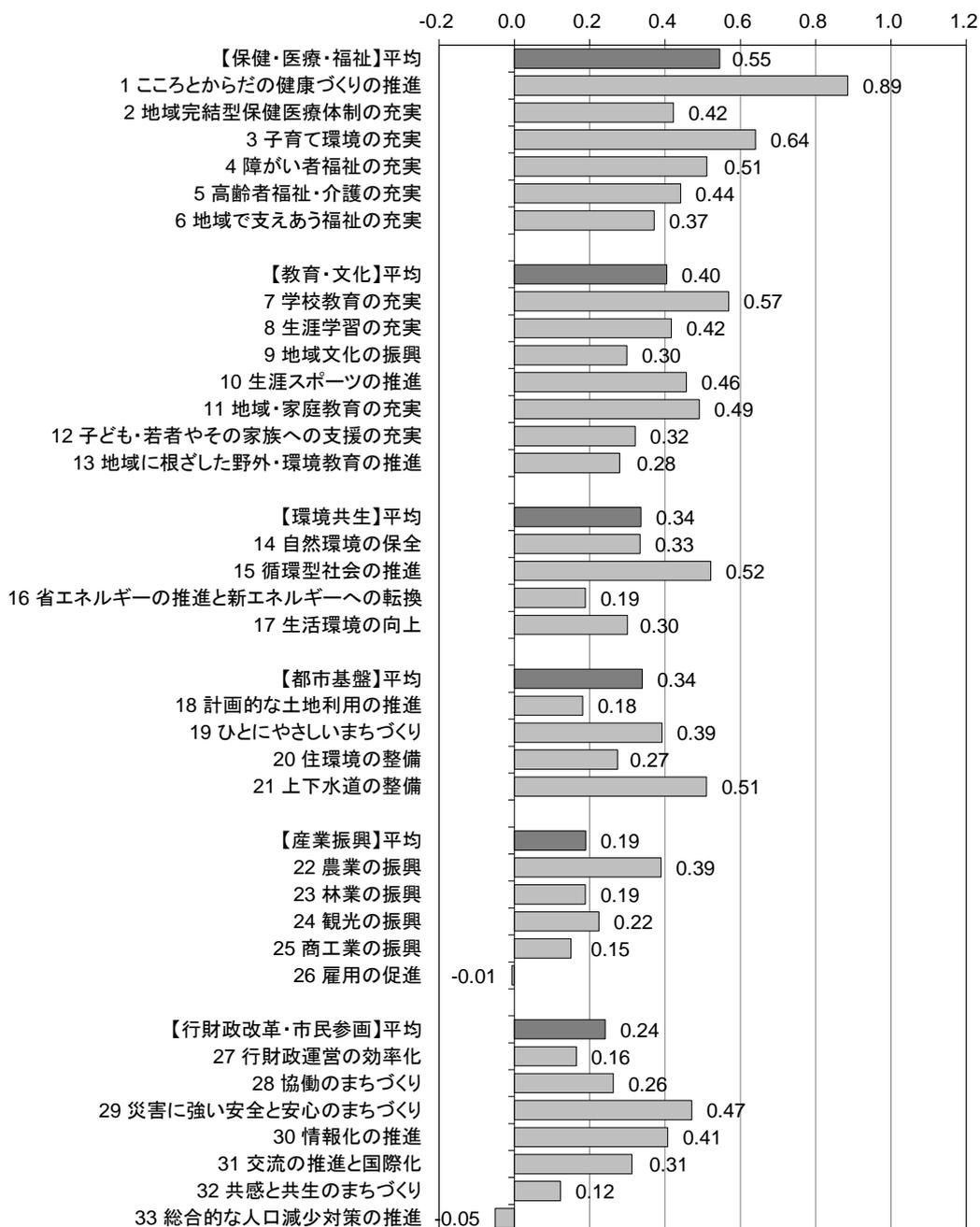
過去 2 回の調査とは項目によって項目名の表現が大きく異なるため、参考として見てみると、政策分野別の値の順位はいずれの年も「保健・医療・福祉」が最も高く、「産業振興」が最も低くなっています。



※各加重平均値を政策分野別に分類し、分類ごとに全値を足し合わせ、項目数で除した値
 前回、前々回の値は、本調査とは項目数や項目内容が異なるため、本調査の項目に合わせて再集計
 ※第 2 次総合計画における表示順に表示

まちづくりの現状評価 取組が進められていると思うか (政策分野別 経年比較 加重平均値)

各政策に分類される項目それぞれの加重平均値を見ると、「保健・医療・福祉」の項目は「1 ところとからだの健康づくりの推進」をはじめ、いずれの項目も比較的值が高くなっています。一方、「産業振興」の項目は「農業の振興」を除きいずれも比較的值が低くなっています。



※【 】内は政策分野名
※項目名冒頭の数字は調査時の項目番号

まちづくりの現状評価 取組が進められていると思うか（政策分野別項目 加重平均値）

2. 今後特に力を入れて取り組むべきこと

問2 「問1」の項目の中で、今後、特に南魚沼市が力を入れて取り組むべきことはどれですか。(5つまで選択)

- 「総合的な人口減少対策」の要望が最も高い
- 「高齢者福祉・介護」「ひとにやさしいまちづくり」も重視
- 「ひとにやさしいまちづくり」は前回調査より高い

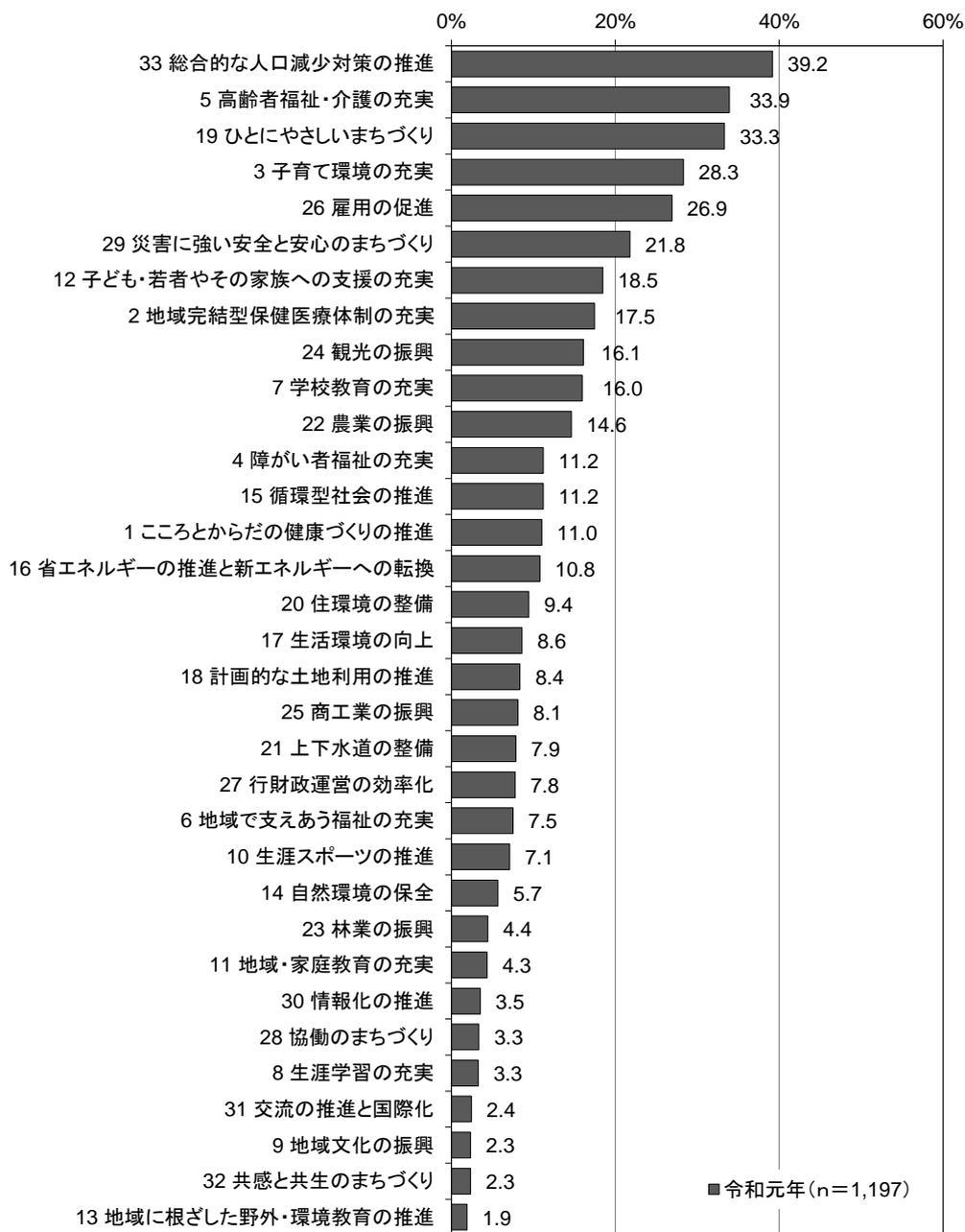
「33 総合的な人口減少対策の推進」(39.2%)が約4割で最も高く、次いで「5 高齢者福祉・介護の充実」(33.9%)、「19 ひとにやさしいまちづくり」(33.3%)の2項目がそれぞれ3割以上となっています。

一方、「13 地域に根ざした野外・環境教育の推進」(1.9%)が最も低くなっています。

過去の調査とは項目によって項目名の表現が大きく異なるため、参考として見てみると、新規項目を除く31項目中9項目が前回より高く、その中でも「19 ひとにやさしいまちづくり」は前回(17.5%)より約16ポイント高くなっています。

一方、21項目が前回より低くなっており、その中でも「26 雇用の促進」(26.9%)は前回(34.2%)より約7ポイント低くなっています。

Ⅲ 調査の結果と分析 2. 今後特に力を入れて取り組むべきこと



※値が高い順に表示

※項目名冒頭の数字は調査時の項目番号

今後力を入れて取り組むべきこと (5つまで選択)

【参考】今後力を入れて取り組むべきこと（経年比較）

令和元年(n=1,197)	%	平成26年(n=1,029)	%	平成24年(n=1,121)	%
33 総合的な人口減少対策の推進	39.2	-	-	-	-
5 高齢者福祉・介護の充実	33.9	高齢者福祉の充実	30.3	高齢者福祉が充実したまち	29.0
19 ひとにやさしいまちづくり	33.3	ひとにやさしいまちづくり	17.5	バスなどの公共交通が利用しやすいまち	16.7
3 子育て環境の充実	28.3	子育て支援の充実	27.1	子育て支援が充実したまち	22.7
26 雇用の促進	26.9	雇用の促進	34.2	雇用対策が充実したまち	38.2
29 災害に強い安全と安心のまちづくり	21.8	災害に強い安全と安心のまちづくり	25.1	防災体制が整備された災害に強いまち	20.4
12 子ども・若者やその家族への支援の充実	18.5	-	-	-	-
2 地域完結型保健医療体制の充実	17.5	地域完結型保健医療体制の構築	22.6	医療機関が利用しやすいまち	33.4
24 観光の振興	16.1	観光の振興	18.2	観光が盛んなまち	16.1
7 学校教育の充実	16.0	学校教育の充実	16.4	学校の教育内容や施設整備が充実したまち	12.7
22 農業の振興	14.6	農業の振興	18.6	農業が盛んなまち	11.6
4 障がい者福祉の充実	11.2	障がい者福祉の充実	8.7	障がい者福祉が充実したまち	9.6
15 循環型社会の推進	11.2	循環型社会の創造	7.5	ごみの減量化やリサイクルが進んだまち	7.7
1 ころからだの健康づくりの推進	11.0	健康づくりと予防医療の推進	16.2	健康づくりと予防医療の体制が充実したまち	10.4
16 省エネルギーの推進と新エネルギーへの転換	10.8	省エネルギーの推進と新エネルギーへの転換	17.2	省エネルギーや新エネルギーの活用が進んだまち	21.0
20 住環境の整備	9.4	住環境の整備	11.1	安心・快適な住宅・住環境が整備されたまち	11.2
17 生活環境の向上	8.6	生活環境の向上	12.8	地盤沈下や悪臭、騒音等、公害への対策が充実したまち	13.1
18 計画的な土地利用の推進	8.4	計画的な土地利用の推進	8.6	自然環境と都市環境の均衡・調和がとれたまち	8.1
25 商工業の振興	8.1	商工業の振興	10.9	商工業が盛んなまち	13.4
21 上下水道の整備	7.9	上下水道の整備	5.0	上下水道・浄化槽や排水施設などが整備されたまち	3.3
27 行財政運営の効率化	7.8	行財政運営の効率化	10.5	効率的な行財政運営がされているまち	14.7
6 地域で支えあう福祉の充実	7.5	地域福祉の推進	6.8	地域福祉が盛んなまち	8.4
10 生涯スポーツの推進	7.1	生涯スポーツの推進	5.7	誰もがスポーツに親しめるまち	7.7
14 自然環境の保全	5.7	自然環境の保全と活用	6.7	自然環境の保全・活用が進んだまち	5.4
23 林業の振興	4.4	林業の振興	5.3	林業が盛んなまち	3.9
11 地域・家庭教育の充実	4.3	地域・家庭教育の充実	9.8	家庭の教育力向上や地域に密着した教育が進んだまち	12.9
30 情報化の推進	3.5	高度情報化の推進	2.9	情報通信ネットワークが整備されたまち	4.6
28 協働のまちづくり	3.3	市民主体のまちづくり	7.9	市民主体のまちづくり活動が盛んなまち	8.7
8 生涯学習の充実	3.3	生涯学習の充実	4.1	公民館や図書館など生涯学習の機会や施設が充実したまち	8.4
31 交流の推進と国際化	2.4	交流の推進	4.3	他都市・地域との交流や国際交流が盛んなまち	3.4
9 地域文化の振興	2.3	地域文化の振興	2.5	地域の文化や伝統の保護・継承・活用が盛んなまち	6.4
32 共感と共生のまちづくり	2.3	共感と共生のまちづくり	2.4	人権尊重や男女共同参画の意識が高いまち	3.9
13 地域に根ざした野外・環境教育の推進	1.9	野外・環境教育の推進	1.9	環境教育や環境活動が盛んなまち	2.7

※令和元年の値が高い順に表示

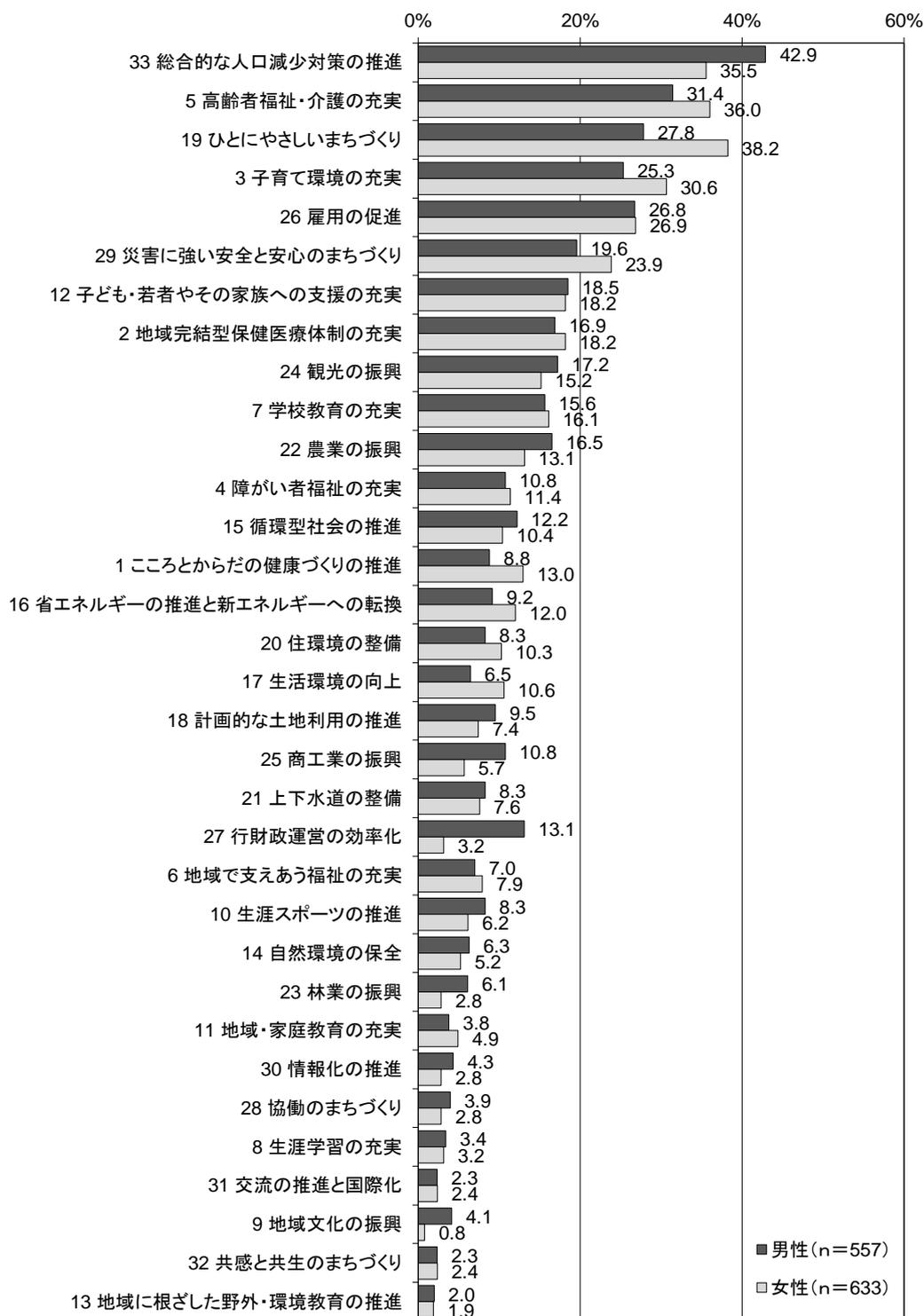
※各年で表現が異なる項目は、同様の内容の項目を当てはめて整理。「12 子ども・若者やその家族への支援の充実」「33 総合的な人口減少対策の推進」は新規項目

- 男性は「総合的な人口減少対策」、女性は「ひとにやさしいまちづくり」が最も高い
- 男女差は「行財政運営の効率化」「ひとにやさしいまちづくり」で大きく、「行財政運営の効率化」は男性、「ひとにやさしいまちづくり」は女性が高い

性別では、男性は「33 総合的な人口減少対策の推進」(42.9%)、女性は「19 ひとにやさしいまちづくり」(38.2%) がそれぞれ約4割で最も高く、次いで男女とも「5 高齢者福祉・介護の充実」(男性31.4%、女性36.0%) が高くなっています。

一方、最も低い項目は、男性は「13 地域に根ざした野外・環境教育の推進」(2.0%)、女性は「9 地域文化の振興」(0.8%) となっています。

男女差は「19 ひとにやさしいまちづくり」(男性27.8%、女性38.2%)、「27 行財政運営の効率化」(男性13.1%、女性3.2%) で大きく、「19 ひとにやさしいまちづくり」は女性、「27 行財政運営の効率化」は男性がそれぞれ約10ポイント高くなっています。



※全体値が高い順に表示

※項目名冒頭の数字は調査時の項目番号

今後力を入れて取り組むべきこと（性別）

- いずれの年代も「総合的な人口減少対策」の要望が比較的高い
- 30歳代は「子育て環境の充実」が特に高く、年代差が最も大きい

年代別では、20・40・60歳代は「33 総合的な人口減少対策の推進」、30歳代は「3 子育て環境の充実」(50.0%)、50歳代、70歳以上は「5 高齢者福祉・介護の充実」(それぞれ38.8%、35.7%)がそれぞれ最も高く、いずれの年代も「33 総合的な人口減少対策の推進」が比較的高くなっています。また、30歳代は「3 子育て環境の充実」が5割で特に高くなっています。

一方、最も低い項目は年代によって異なり、その中でも20歳代は「23 林業の振興」「8 生涯学習の充実」の回答が見られませんでした。

年代差は「3 子育て支援の充実」で最も大きく、30歳代が最も高く、70歳以上(17.5%)が最も低くなっています。

今後力を入れて取り組むべきこと（年代別）

(%)	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上
n	68	132	189	170	340	291
33 総合的な人口減少対策の推進	48.5	43.9	40.2	38.2	40.0	33.0
5 高齢者福祉・介護の充実	29.4	19.7	30.7	38.8	37.6	35.7
19 ひとにやさしいまちづくり	35.3	31.8	34.4	36.5	32.4	32.0
3 子育て環境の充実	38.2	50.0	31.7	25.9	26.2	17.5
26 雇用の促進	25.0	25.0	29.1	34.1	30.0	18.6
29 災害に強い安全と安心のまちづくり	4.4	17.4	20.6	24.1	25.3	23.4
12 子ども・若者やその家族への支援の充実	20.6	30.3	23.8	18.2	14.1	14.1
2 地域完結型保健医療体制の充実	13.2	15.9	15.3	22.9	22.1	12.4
24 観光の振興	26.5	26.5	21.2	18.8	10.6	10.3
7 学校教育の充実	22.1	25.0	22.2	10.0	15.9	10.0
22 農業の振興	7.4	8.3	9.5	16.5	19.7	15.8
4 障がい者福祉の充実	11.8	9.8	11.6	15.3	10.0	9.6
15 循環型社会の推進	5.9	6.8	8.5	10.0	13.2	14.8
1 ころとからだの健康づくりの推進	16.2	20.5	9.0	8.2	9.4	10.3
16 省エネルギーの推進と新エネルギーへの転換	8.8	9.8	7.9	10.0	12.9	11.3
20 住環境の整備	8.8	12.1	10.1	8.8	9.1	8.2
17 生活環境の向上	5.9	10.6	7.4	8.2	7.9	10.3
18 計画的な土地利用の推進	2.9	6.1	8.5	11.2	7.1	10.7
25 商工業の振興	4.4	7.6	10.6	11.8	6.8	6.9
21 上下水道の整備	7.4	6.1	7.9	10.0	7.4	8.2
27 行財政運営の効率化	5.9	6.1	6.3	9.4	9.1	7.6
6 地域で支えあう福祉の充実	8.8	4.5	5.3	8.8	7.4	9.3
10 生涯スポーツの推進	10.3	11.4	13.8	4.7	4.4	4.5
14 自然環境の保全	1.5	1.5	2.1	6.5	7.6	8.2
23 林業の振興	0.0	2.3	1.6	3.5	6.8	6.2
11 地域・家庭教育の充実	7.4	9.8	4.8	2.9	3.5	2.7
30 情報化の推進	5.9	4.5	4.2	4.1	2.6	2.7
28 協働のまちづくり	1.5	2.3	1.6	2.9	5.3	3.4
8 生涯学習の充実	0.0	4.5	4.8	4.1	2.9	2.4
31 交流の推進と国際化	10.3	6.1	2.6	2.4	0.9	0.7
9 地域文化の振興	2.9	1.5	1.6	1.8	2.1	3.8
32 共感と共生のまちづくり	5.9	3.0	2.6	2.4	1.8	1.7
13 地域に根ざした野外・環境教育の推進	2.9	1.5	2.6	2.9	1.2	1.7
平均	12.3	13.4	12.6	13.2	12.5	11.2

※全体値が高い順に表示

※項目名冒頭の数字は調査時の項目番号

※濃色網掛け表示は最も高い値、淡色網掛け表示は次いで高い値

- すべての地域で「総合的な人口減少対策」が最も高い
- 大きな地域差は見られない

地域別では、すべての地域で「33 総合的な人口減少対策の推進」が最も高く、次いで大和地域、六日町地域は「19 ひとにやさしいまちづくり」（それぞれ 35.7%、33.5%）、塩沢地域は「5 高齢者福祉・介護の充実」（37.6%）が高くなっています。

一方、最も低い項目は、大和地域は「9 地域文化の振興」（0.7%）、六日町地域は「31 交流の推進と国際化」（1.7%）、塩沢地域は「13 地域に根ざした野外・環境教育の推進」（1.8%）となっています。

大きな地域差は見られませんが、その中で「3 子育て環境の充実」は比較的地域差が大きく、六日町地域（31.8%）が最も高く、大和地域（23.5%）が最も低くなっています。

今後力を入れて取り組むべきこと（地域別）

(%)	大和地域	六日町地域	塩沢地域
n	272	519	399
33 総合的な人口減少対策の推進	37.9	39.7	39.1
5 高齢者福祉・介護の充実	33.8	31.0	37.6
19 ひとにやさしいまちづくり	35.7	33.5	31.6
3 子育て環境の充実	23.5	31.8	26.8
26 雇用の促進	30.1	23.9	28.3
29 災害に強い安全と安心のまちづくり	20.6	23.1	21.1
12 子ども・若者やその家族への支援の充実	16.5	20.2	17.0
2 地域完結型保健医療体制の充実	15.4	16.0	20.8
24 観光の振興	13.2	18.5	15.3
7 学校教育の充実	13.6	17.9	15.0
22 農業の振興	13.2	14.6	15.5
4 障がい者福祉の充実	9.6	12.5	10.0
15 循環型社会の推進	9.9	10.6	12.8
1 ことろからだの健康づくりの推進	12.5	13.1	7.0
16 省エネルギーの推進と新エネルギーへの転換	10.7	9.6	12.3
20 住環境の整備	7.7	10.2	9.3
17 生活環境の向上	8.8	8.9	8.3
18 計画的な土地利用の推進	7.0	11.0	6.0
25 商工業の振興	9.2	6.9	8.8
21 上下水道の整備	7.4	8.3	7.8
27 行財政運営の効率化	6.6	8.5	7.8
6 地域で支えあう福祉の充実	7.0	7.9	7.3
10 生涯スポーツの推進	5.1	7.9	7.5
14 自然環境の保全	5.1	5.6	6.3
23 林業の振興	4.8	3.9	4.8
11 地域・家庭教育の充実	2.2	5.8	4.0
30 情報化の推進	3.3	4.0	3.0
28 協働のまちづくり	1.8	3.9	3.8
8 生涯学習の充実	3.7	3.5	2.8
31 交流の推進と国際化	2.6	1.7	3.3
9 地域文化の振興	0.7	3.1	2.5
32 共感と共生のまちづくり	2.6	2.1	2.5
13 地域に根ざした野外・環境教育の推進	2.2	1.9	1.8
平均	11.6	12.8	12.3

※全体値が高い順に表示

※項目名冒頭の数字は調査時の項目番号

※濃色網掛け表示は最も高い値、淡色網掛け表示は次いで高い値

- ほとんどの職業で「総合的な人口減少対策」が最も高い
- 家事専業は「ひとにやさしいまちづくり」、無職は「高齢者福祉・介護」がそれぞれ最も高い
- 職業差は「農業の振興」で大きく、農林自営が最も高い

職業別では、家事専業、無職を除き「33 総合的な人口減少対策の推進」が最も高く、家事専業は「19 ひとにやさしいまちづくり」(44.0%)、無職は「5 高齢者福祉・介護の充実」(38.6%)が最も高くなっています。

また、農林自営は「22 農業の振興」(35.0%)、商工自営は「25 商工業の振興」(26.3%)がそれぞれ比較的高くなっています。

一方、最も低い項目は職業によって異なり、その中で農林自営は「11 地域・家庭教育の充実」「31 交流の推進と国際化」、商工自営は「8 生涯学習の充実」、家事専業は「9 地域文化の振興」の回答が見られませんでした。

職業差は「22 農業の振興」で最も大きく、農林自営が最も高く、商工自営(6.3%)が最も低くなっています。

今後力を入れて取り組むべきこと（職業別）

(%)	常勤	非常勤	農林自営	商工自営	家事専業	無職
n	432	224	60	80	125	241
33 総合的な人口減少対策の推進	47.9	36.2	38.3	36.3	33.6	31.1
5 高齢者福祉・介護の充実	33.3	32.6	18.3	21.3	43.2	38.6
19 ひとにやさしいまちづくり	31.3	37.1	18.3	26.3	44.0	34.9
3 子育て環境の充実	35.2	31.3	15.0	23.8	25.6	20.3
26 雇用の促進	29.4	33.9	11.7	22.5	20.8	24.5
29 災害に強い安全と安心のまちづくり	20.6	20.5	23.3	15.0	29.6	25.3
12 子ども・若者やその家族への支援の充実	23.4	19.6	8.3	18.8	12.0	13.7
2 地域完結型保健医療体制の充実	17.4	18.3	21.7	25.0	19.2	13.3
24 観光の振興	20.1	16.1	11.7	20.0	12.8	10.0
7 学校教育の充実	18.3	15.2	15.0	16.3	17.6	11.6
22 農業の振興	13.2	10.3	35.0	6.3	24.8	14.9
4 障がい者福祉の充実	11.3	13.4	6.7	5.0	7.2	14.1
15 循環型社会の推進	8.8	9.8	13.3	13.8	18.4	12.0
1 心ころとからだの健康づくりの推進	11.6	11.6	15.0	7.5	14.4	8.7
16 省エネルギーの推進と新エネルギーへの転換	8.6	12.5	10.0	12.5	12.0	11.6
20 住環境の整備	8.6	12.1	5.0	5.0	10.4	10.4
17 生活環境の向上	7.2	8.5	11.7	7.5	11.2	10.8
18 計画的な土地利用の推進	7.4	8.5	8.3	10.0	6.4	11.6
25 商工業の振興	9.3	4.9	6.7	26.3	4.8	5.8
21 上下水道の整備	8.3	8.0	6.7	10.0	7.2	7.5
27 行財政運営の効率化	9.5	2.7	20.0	10.0	2.4	9.1
6 地域で支えあう福祉の充実	6.5	8.5	10.0	7.5	8.8	7.9
10 生涯スポーツの推進	9.5	7.1	1.7	7.5	6.4	4.6
14 自然環境の保全	4.4	4.0	11.7	3.8	6.4	8.3
23 林業の振興	3.7	2.7	6.7	3.8	6.4	5.8
11 地域・家庭教育の充実	5.3	4.0	0.0	5.0	4.8	3.7
30 情報化の推進	4.4	4.0	1.7	3.8	1.6	2.5
28 協働のまちづくり	2.1	3.1	5.0	5.0	3.2	5.4
8 生涯学習の充実	4.4	1.8	5.0	0.0	1.6	4.6
31 交流の推進と国際化	3.0	3.6	0.0	2.5	0.8	0.4
9 地域文化の振興	1.9	1.3	5.0	6.3	0.0	2.9
32 共感と共生のまちづくり	2.8	1.8	3.3	1.3	2.4	2.1
13 地域に根ざした野外・環境教育の推進	1.6	2.2	3.3	1.3	1.6	1.2
平均	13.0	12.3	11.3	11.7	12.8	11.8

※全体値が高い順に表示

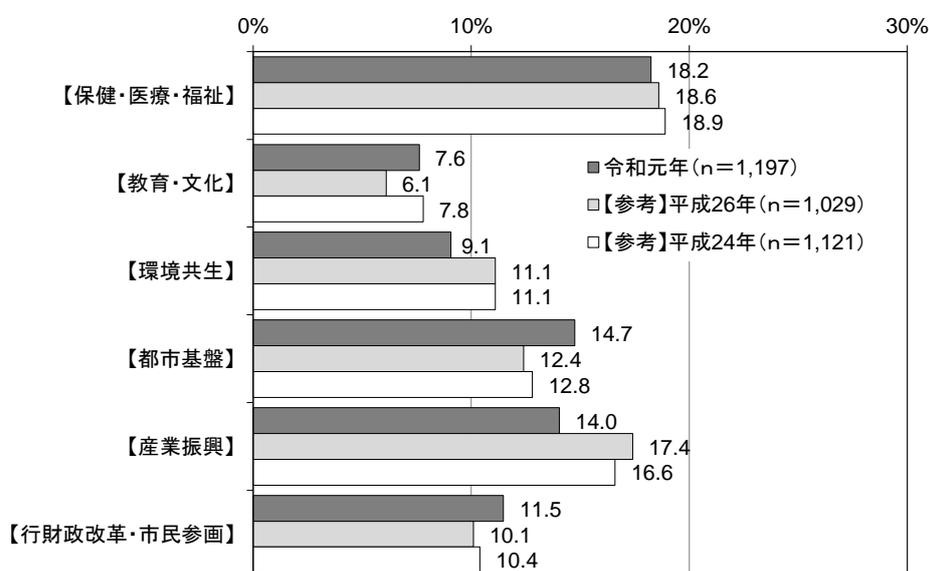
※項目名冒頭の数字は調査時の項目番号

※濃色網掛け表示は最も高い値、淡色網掛け表示は次いで高い値

- 政策分野別で要望が最も高いのは「保健・医療・福祉」、最も低いのは「教育・文化」
- 過去2回の調査も同様の傾向

33項目について、第2次総合計画における6つの政策分野の平均※を見ると、「保健・医療・福祉」(18.2%)が最も高く、次いで「都市基盤」(14.7%)、「産業振興」(14.0%)となっています。

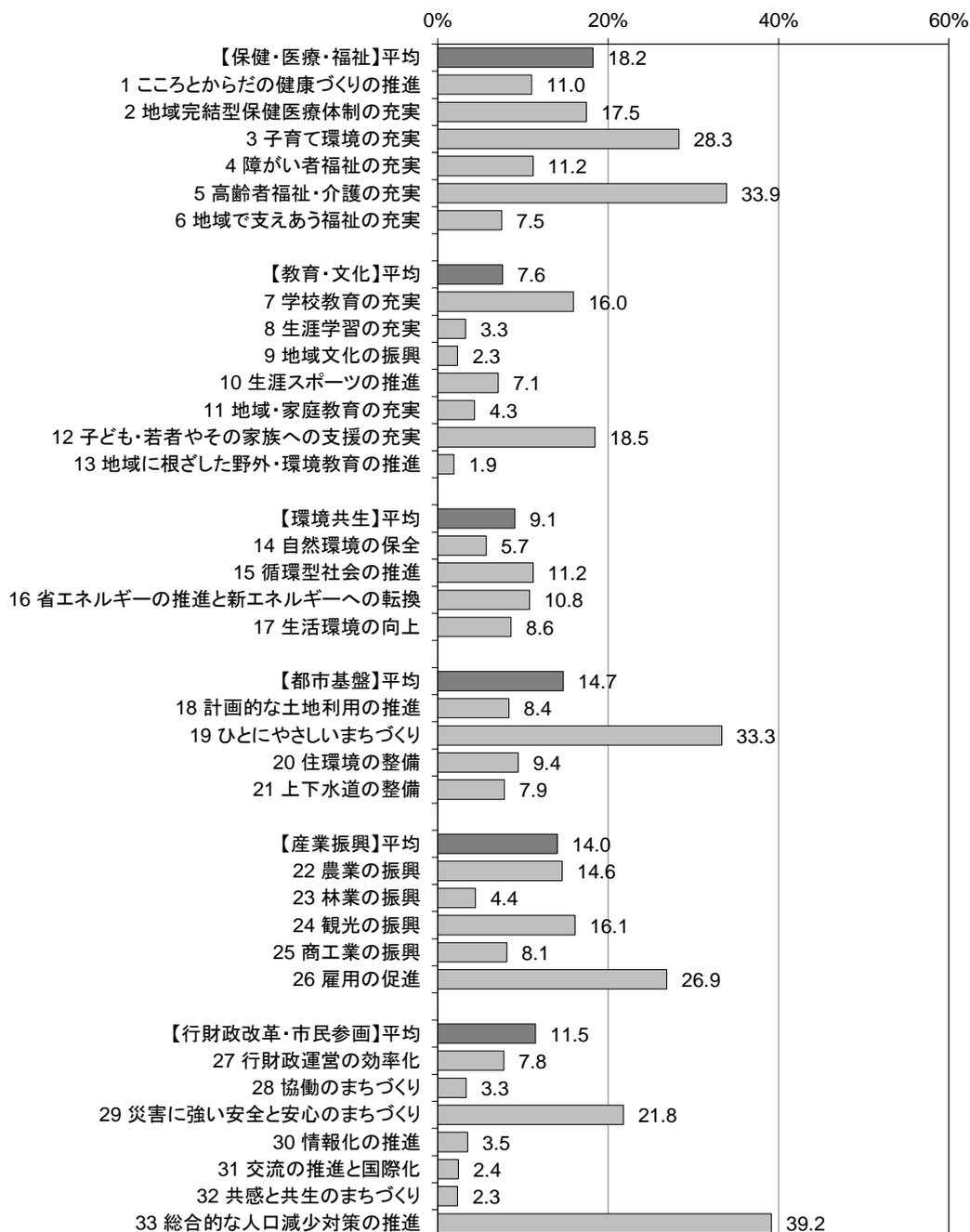
過去の調査とは項目によって項目名の表現が大きく異なるため、参考として見てみると、政策分野別の値の順位はいずれの年も「保健・医療・福祉」が最も高く、「教育・文化」が最も低くなっています。



※政策別に分類し、分類ごとに全値を足し合わせ、項目数で除した値
 前回、前々回の値は、本調査とは項目数や項目内容が異なるため、本調査の項目に合わせて再集計
 ※第2次総合計画における表示順に表示

今後力を入れて取り組むべきこと (政策分野別 経年比較)

各政策に分類される項目それぞれの値を見ると、「教育・文化」「環境共生」では特に高い項目は見られず、いずれも2割未満となっています。



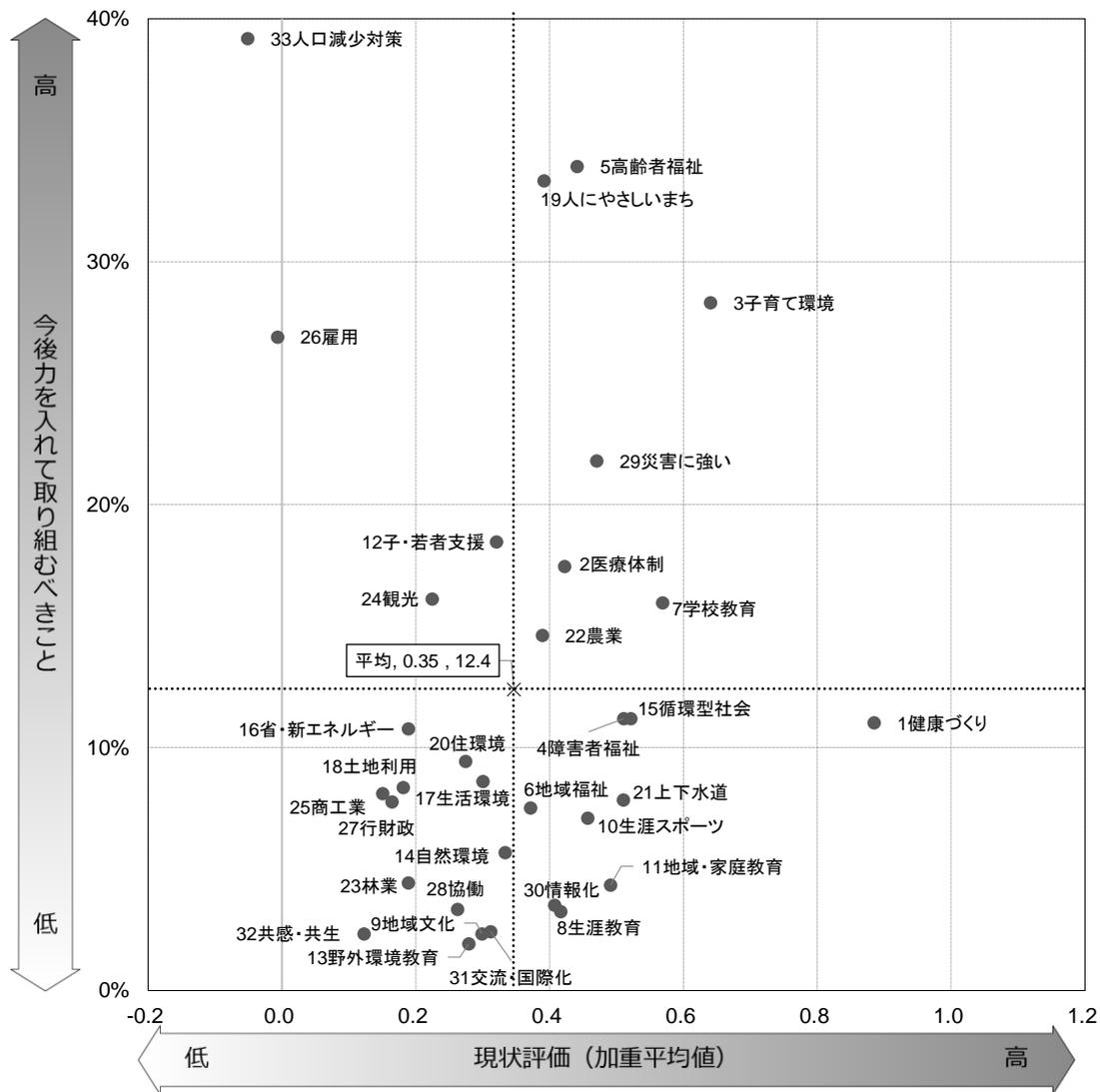
※【 】内は政策分野名

※項目名冒頭の数字は調査時の項目番号

今後力を入れて取り組むべきこと（政策分野別項目）

●「雇用の促進」「総合的な人口減少対策」が強く求められている

問1「まちづくりの現状評価」と問2「今後力を入れて取り組むべきこと」を合わせて見てみると、33項目は概ね以下の5つに分類できます。



※図中の各項目は表現を省略して表示

まちづくりの「現状評価」(加重平均値)と「今後力を入れて取り組むべきこと」の関係(全33項目)

① 高評価・高要望： 現状評価【高】×今後力を入れて取り組むべきこと【高】

現状の取組が高く評価されており、現在の取組をさらに推進することが求められています。特に以下の項目がこれに該当すると考えられます。

項 目	現状評価 (加重平均値)	今後取り組む べきこと(%)
3 子育て環境の充実	0.64	28.3

② 早急な対応が必要： 現状評価【低】×今後力を入れて取り組むべきこと【高】

現状の取組の評価が低く、今後力を入れて取り組むべきこととしての重要性が強く認識されており、早急な改善・充実が求められています。特に以下の項目がこれに該当すると考えられます。

項 目	現状評価 (加重平均値)	今後取り組む べきこと(%)
26 雇用の促進	-0.01	26.9
33 総合的な人口減少対策の推進	-0.05	39.2

③ 低評価・低要望： 現状評価【低】×今後力を入れて取り組むべきこと【低】

現状の取組の評価が低く、今後力を入れて取り組むべきこととしての重要性もあまり強く認識されていません。必要性の周知を含めた、中・長期的視点による施策の見直しが求められています。特に以下の項目がこれに該当すると考えられます。

項 目	現状評価 (加重平均値)	今後取り組む べきこと(%)
32 共感と共生のまちづくり	0.12	2.3

④ 現状維持： 現状評価【高】×今後力を入れて取り組むべきこと【低】

現状の取組が高く評価されており、今後力を入れて取り組むべきこととしての重要性はあまり強く認識されていません。現状の取組を維持しつつ、必要な見直しやさらなる周知を進めることが求められています。特に該当する項目は見られません。

⑤ 上記以外の項目： 現状評価【中】または今後力を入れて取り組むべきこと【中】

現状の取組が一定の評価を得ている、または今後力を入れて取り組むべきこととして重要性がある程度認識されています。

現状評価と今後力を入れて取り組むべきことの関係から、さらに以下の3タイプに分類できます。

1) 現状評価【高】×今後力を入れて取り組むべきこと【中】

項目	現状評価 (加重平均値)	今後取り組む べきこと(%)
1 ころとからだの健康づくりの推進	0.89	11.0

2) 現状評価【中】×今後力を入れて取り組むべきこと【高】

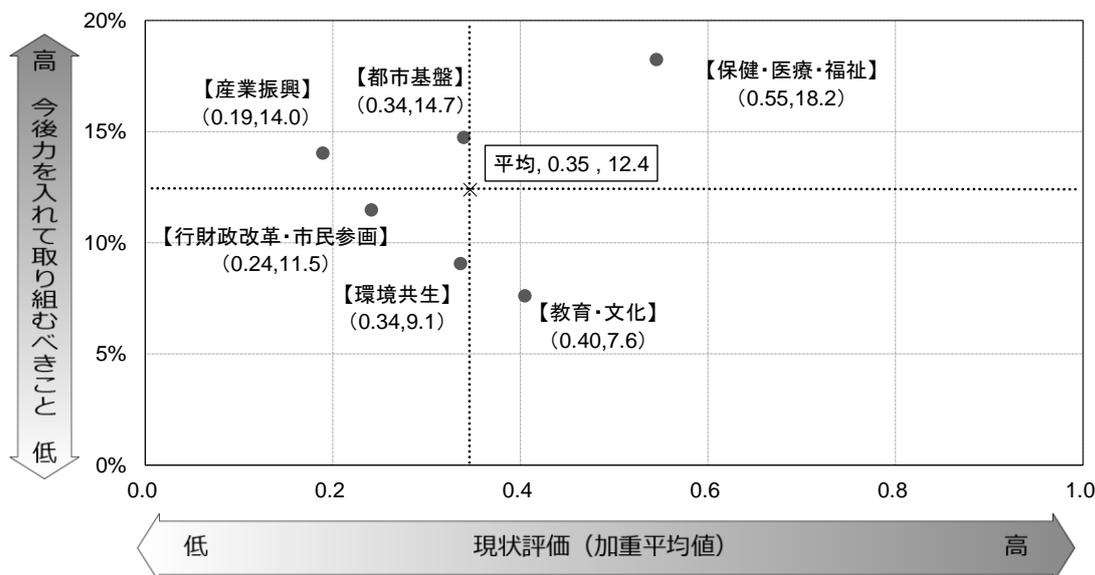
項目	現状評価 (加重平均値)	今後取り組む べきこと(%)
5 高齢者福祉・介護の充実	0.44	33.9
19 ひとにやさしいまちづくり	0.39	33.3
29 災害に強い安全と安心のまちづくり	0.47	21.8

3) 現状評価【中】×今後力を入れて取り組むべきこと【低】

項目	現状評価 (加重平均値)	今後取り組む べきこと(%)
9 地域文化の振興	0.30	2.3
13 地域に根ざした野外・環境教育の推進	0.28	1.9
31 交流の推進と国際化	0.31	2.4

問1「まちづくりの現状評価」と問2「今後力を入れて取り組むべきこと」の関係について、政策分野別に整理します。

下図は、「現状評価」については、該当する各項目の加重平均値の平均、「今後力を入れて取り組むべきこと」については、各項目の割合の平均を用い、政策分野ごとにプロットしたものです。



まちづくりの「現状評価」(加重平均値) と「今後力を入れて取り組むべきこと」の関係 (政策分野別)

これにより、政策分野ごとに概ね以下の傾向を指摘できます。

保健・医療・福祉	現状の取組が高く評価されており、取組をさらに推進することが強く求められている。
教育・文化	現状の取組が一定の評価を得ているが、今後取り組むべきこととしての重要性はあまり強く認識されていない。現状の取組を維持しつつ、必要性の周知や施策の中・長期的視点による見直しが求められている。
環境共生	現状の取組の評価があまり高くなく、今後取り組むべきこととして重要性もあまり強く認識されていない。必要性の周知や、中・長期的視点による見直しが求められている。
都市基盤	現状の取組の評価はあまり高くないものの、今後取り組むべきこととしての重要性が比較的強く認識されている。現在よりも強い施策展開やその周知が求められている。
産業振興	現状の取組の評価が低く、今後取り組むべきこととしての重要性が強く認識されている。現在の取組の早急な見直しを踏まえ、現在よりも強い施策展開やその周知が求められている。
行財政改革・市民参画	現状の取組の評価が低く、今後取り組むべきこととしての重要性もあまり強く認識されていない。現在の取組の見直し、必要性の周知を含めた新たな施策展開が求められている。

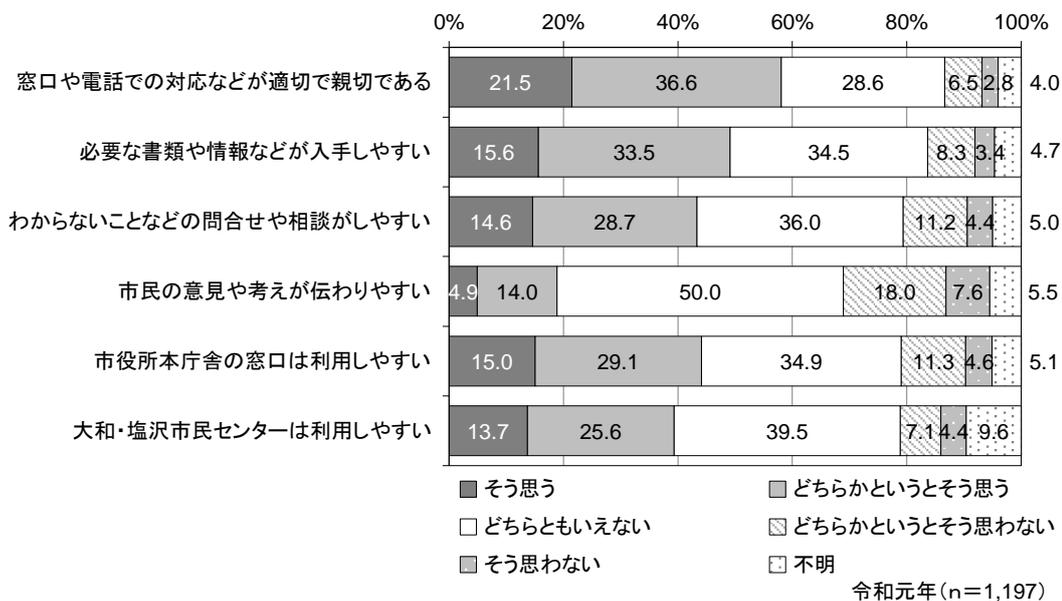
3. 市民サービスの評価

問3 あなたは、南魚沼市の住民サービスについてどう思いますか。
(それぞれ1つずつ選択)

- 「窓口や電話での対応などが適切で親切」の評価が最も高い
- 「市民の意見や考えが伝わりやすい」の評価が最も低い

「そう思う」は「窓口や電話での対応などが適切で親切である」(21.5%)が2割以上で最も高くなっています。

「そう思う」と「どちらかというと思う」の合計値『思う』を見ると、「窓口や電話での対応などが適切で親切である」(58.1%)が約6割で最も高く、次いで「必要な書類や情報などが入手しやすい」(49.1%)、「市役所本庁舎の窓口は利用しやすい」(44.1%)、「わからないことなどの問合せや相談がしやすい」(43.3%)、「大和・塩沢市民センターは利用しやすい」(39.3%)となっています。一方、「市民の意見や考えが伝わりやすい」(18.9%)は2割未満で最も低くなっています。



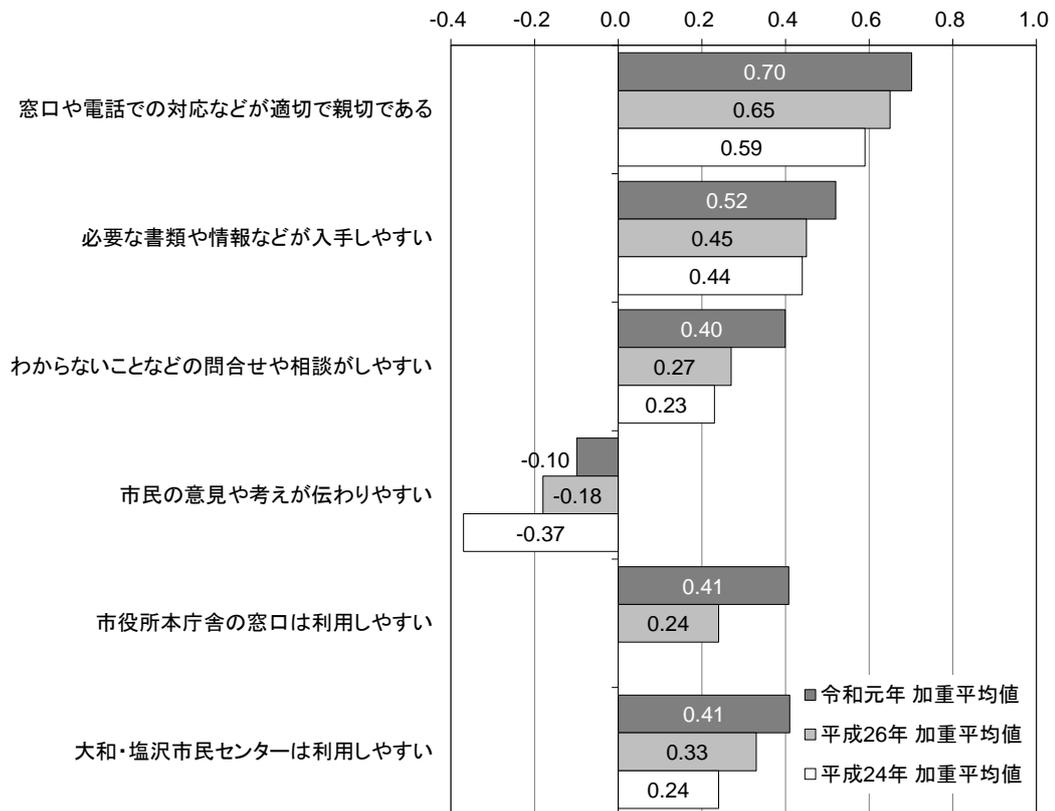
南魚沼市の市民サービスについてどう思うか (それぞれ1つずつ選択)

- すべての項目の評価が高くなる傾向
- 「市役所本庁舎の窓口は利用しやすい」の評価が最も向上

各項目の加重平均値※を見ると、「窓口や電話での対応などが適切で親切である」(0.70ポイント)が最も高く、次いで「必要な書類や情報などが入手しやすい」(0.52ポイント)、「市役所本庁舎の窓口は利用しやすい」「大和・塩沢市民センターは利用しやすい」(0.41ポイントで同値)、「わからないことなどの問合せや相談がしやすい」(0.40ポイント)となっています。

一方、「市民の意見や考えが伝わりやすい」(-0.10ポイント)が最も低く、6項目の中で唯一マイナスの値となっています。

加重平均値について、過去2回の調査と比較すると、いずれの項目も評価が高くなる傾向が見られ、その中でも「市役所本庁舎の窓口は利用しやすい」(前回0.24ポイント)は前回より0.17ポイント高くなっています。



※「市役所本庁舎の窓口は利用しやすい」は平成26年からの項目

南魚沼市の市民サービスについてどう思うか（経年比較 加重平均値）

※加重平均値：「そう思う」に+2点、「どちらかというと思う」に+1点、「どちらともいえない」に0点、「どちらかというと思うわない」に-1点、「そう思わない」に-2点の加重値を与え、「不明」を除く回答者数で平均値を算出したもの。基準値を0として、プラス値の場合は肯定的な評価、マイナス値の場合は否定的な評価といえる

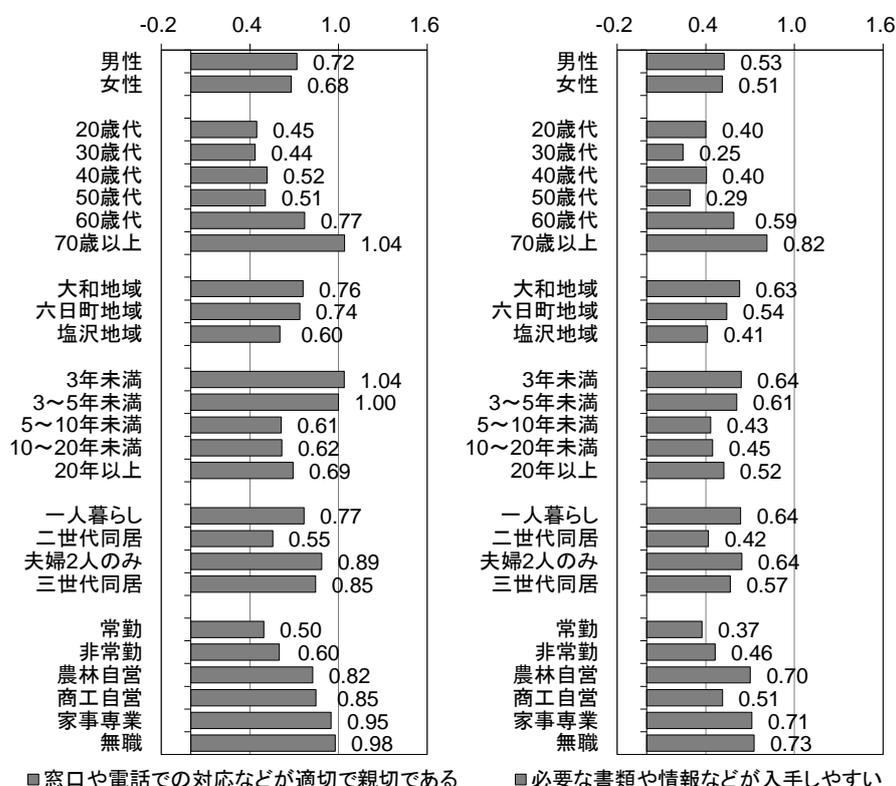
- いずれの項目も、高い年代、農林自営、商工自営、家事専業、無職が比較的高い
- 「市役所本庁舎の窓口は利用しやすい」「大和・塩沢市民センターは利用しやすい」は居住地域で評価が異なる

属性別に見ると、年代別では高い年代、職業別では農林自営、商工自営、家事専業、無職などが比較的高くなっています。また、全体傾向で値が低い「市民の意見や考えが伝わりやすい」を除く項目で、いずれの属性もプラスの値となっています。

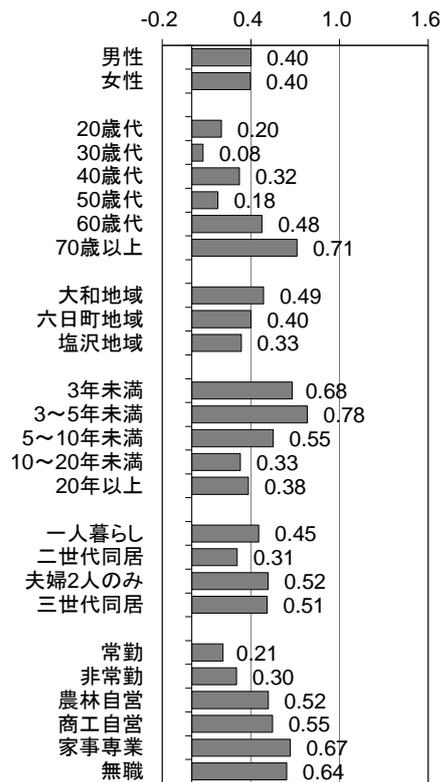
全体傾向で値が最も高い「窓口や電話での対応などが適切で親切である」は、70歳以上（1.04ポイント）と居住年数5年未満が1.0ポイント以上で比較的高い一方、50歳代以下、塩沢地域（0.60ポイント）、居住年数5年以上、二世世代同居（0.55ポイント）、常勤（0.50ポイント）などが比較的低くなっています。

一方、全体傾向で値が最も低い「市民の意見や考えが伝わりやすい」は、70歳以上（0.19点）、居住年数3～5年未満（0.00ポイント）、夫婦2人のみ（0.04ポイント）、農林自営（0.07ポイント）、家事専業（0.09ポイント）、無職（0.13ポイント）を除くいずれの属性もマイナスの値となっており、その中で30歳代（-0.37ポイント）が特に低くなっています。

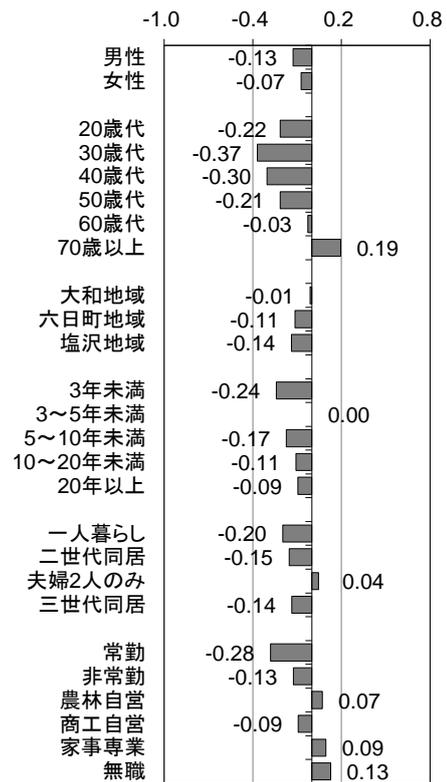
また、地域別では、大和地域や塩沢地域は「市役所本庁舎の窓口は利用しやすい」（それぞれ0.22、0.28ポイント）、六日町地域は「大和・塩沢市民センターは利用しやすい」（0.08ポイント）がそれぞれ低くなっています。



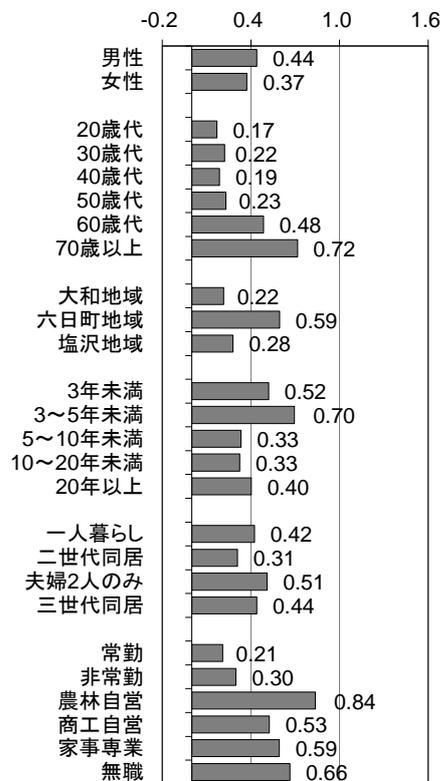
南魚沼市の市民サービスについてどう思うか（属性別 加重平均値 1/2）



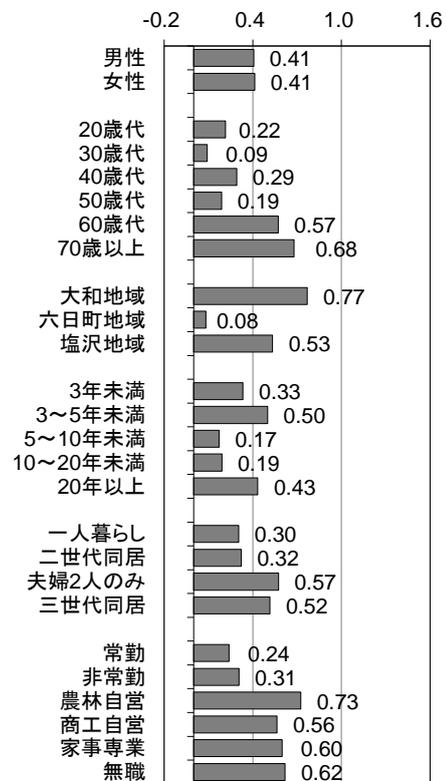
■ わからないことなどの問合せや相談がしやすい



■ 市民の意見や考えが伝わりやすい



■ 市役所本庁舎の窓口は利用しやすい



■ 大和・塩沢市民センターは利用しやすい

南魚沼市の市民サービスについてどう思うか（属性別 加重平均値 2/2）

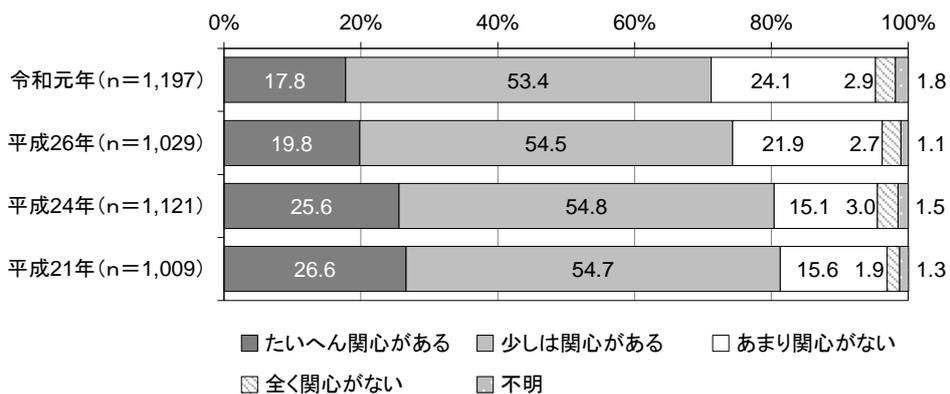
4. 市政への関心

問4 あなたは、市政に関心がありますか。(1つだけ選択)

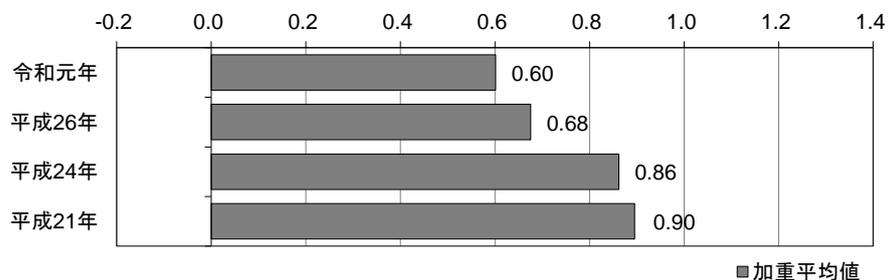
●「関心がある」は7割以上だが、関心度は低下傾向

「少しは関心がある」(53.4%)が5割以上で最も高く、次いで「あまり関心がない」(24.1%)、「たいへん関心がある」(17.8%)となっています。「たいへん関心がある」と「少しは関心がある」の合計値『関心がある』(71.2%)は7割以上となっています。

関心の程度について加重平均値※を見ると、本調査(0.60ポイント)は前回(0.68ポイント)や前々回(0.86ポイント)より低くなっており、関心度が低下している傾向が見られます。



市政に関心があるか(1つだけ選択)



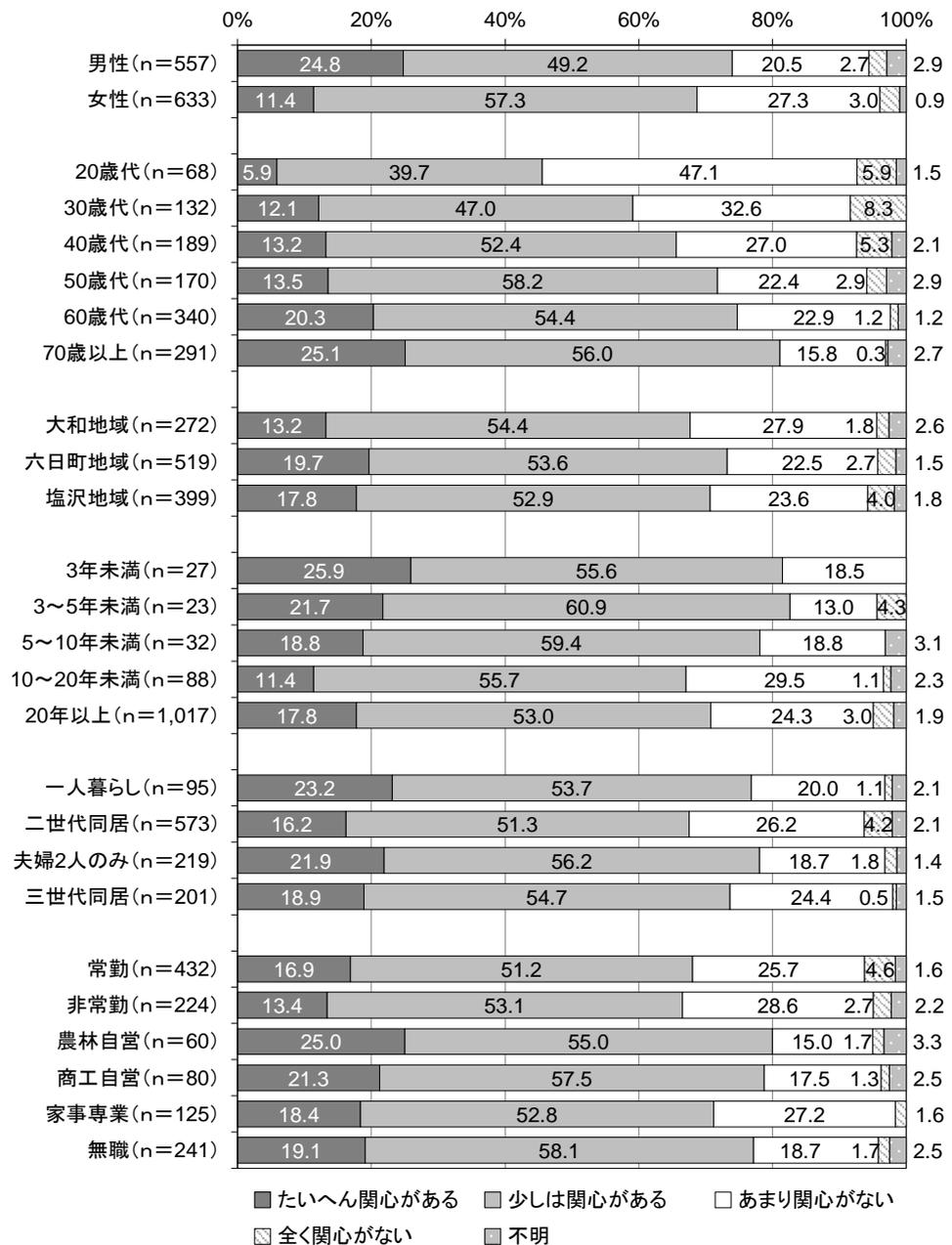
市政に関心があるか(経年比較 加重平均値)

※加重平均値:「たいへん関心がある」に+2点、「少しは関心がある」に+1点、「あまり関心がない」に-1点、「全く関心がない」に-2点の加重値を与え、「不明」を除く回答者数で平均値を算出したもの。基準値を0として、プラス値の場合は肯定的な評価、マイナス値の場合は否定的な評価といえる

- 男性、高い年代、居住年数 10 年未満、農林自営、商工自営、無職などは関心度が比較的高い
- 20 歳代の関心度が低い

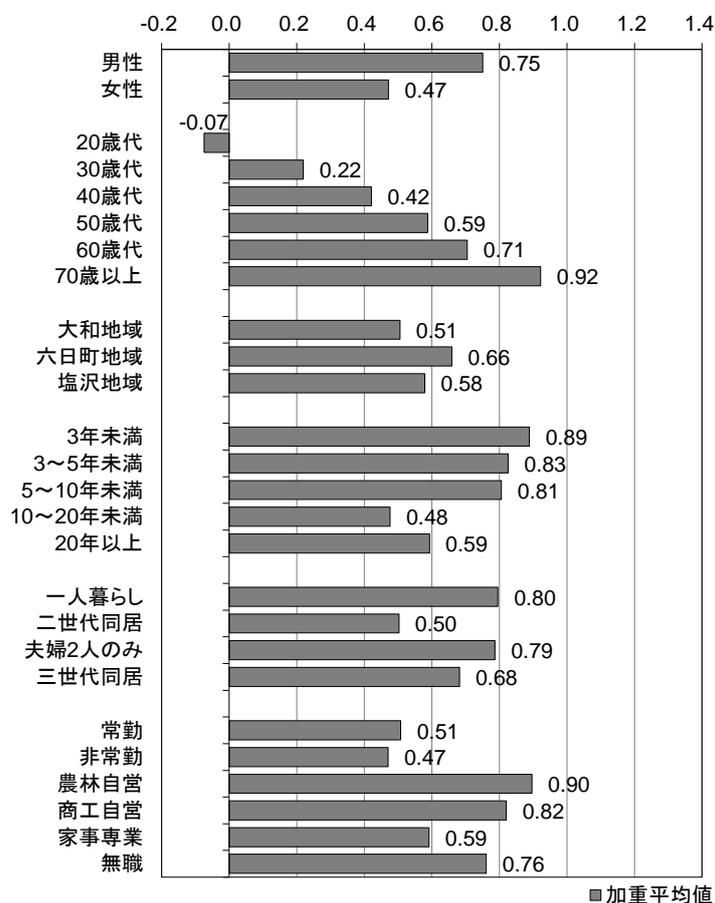
属性別に見ると、20 歳代を除きいずれの属性も「少しは関心がある」が最も高く、20 歳代は「あまり関心がない」(47.1%) が最も高くなっています。

合計値『関心がある』は、男性 (74.0%)、高い年代、居住年数 10 年未満、農林自営、商工自営、無職などが比較的高い一方、20 歳代 (45.6%) が特に低くなっています。



市政に関心があるか (属性別)

加重平均値を見ても同様の傾向となっており、特に 70 歳以上 (0.92 ポイント)、居住年数 3 年未満 (0.89 ポイント)、農林自営 (0.90 ポイント) などが比較的高い一方、20 歳代 (-0.07 ポイント) は唯一マイナスの値となっています。



市政に関心があるか (属性別 加重平均値)

5. 市政情報の入手方法

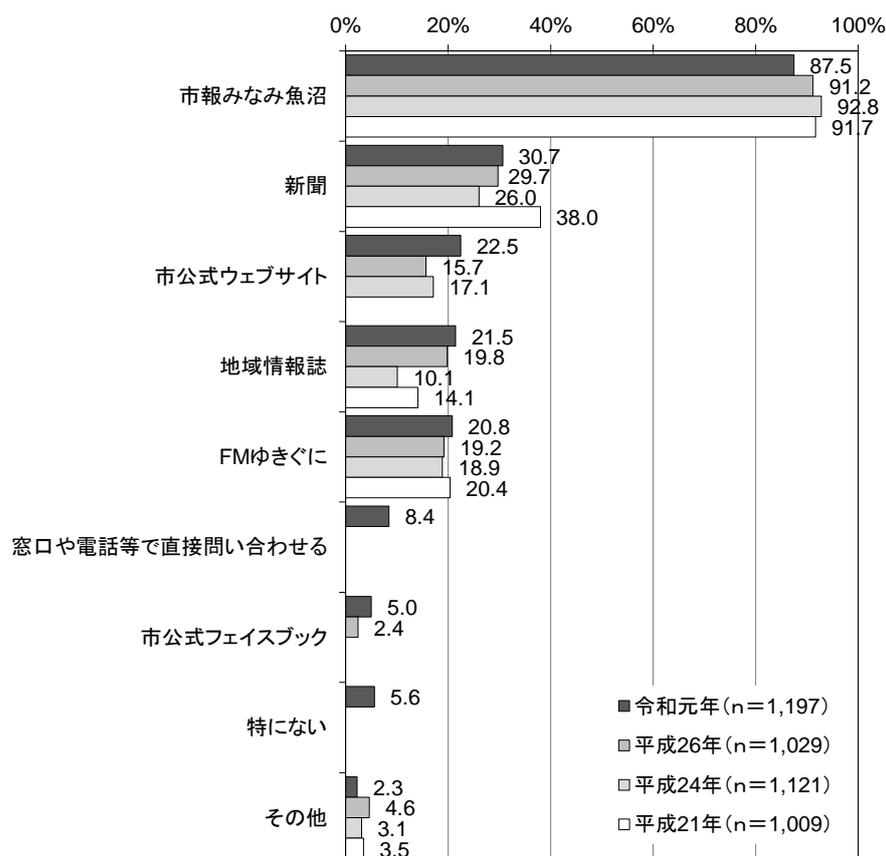
問5 あなたは、市政に関する情報を何から得ていますか。(すべて選択)

- 市政情報の入手元は「市報みなみ魚沼」が約9割
- 過去3回の調査と比較して大きな変化は見られない
- 「市公式ウェブサイト」が若干増加

「市報みなみ魚沼」(87.5%)が約9割で特に高くなっています。次いで「新聞」(30.7%)、が3割以上、「市公式ウェブサイト」(22.5%)、「地域情報誌」(21.5%)、「FMゆきぐに」(20.8%)の3項目がそれぞれ2割以上となっています。

一方、新たに設けた項目「窓口や電話等で直接問い合わせる」(8.4%)、「特にない」(5.6%)はいずれも1割未満となっています。

過去3回の調査と比較すると、大きな変化は見られませんが、その中で「市公式ウェブサイト」は前回(15.7%)より約7ポイント高くなっています。



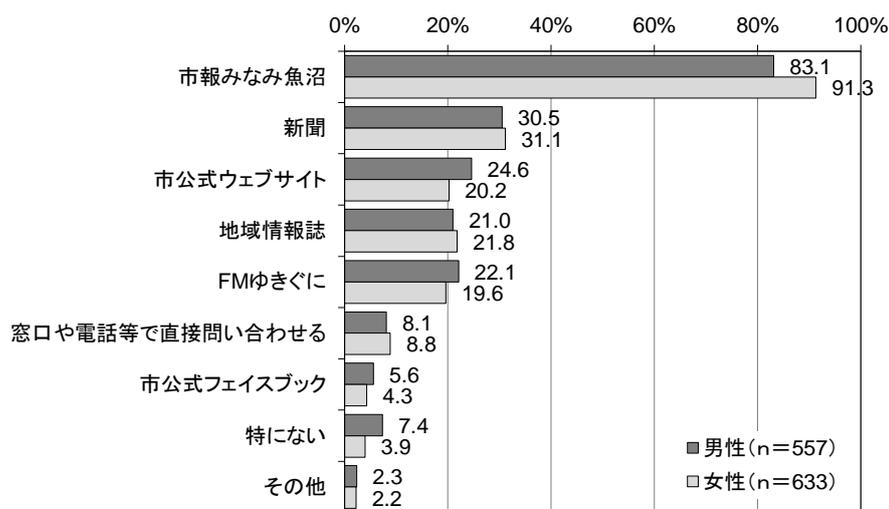
※「新聞」は平成24年、平成21年では「地元新聞」、「全国紙地方版」の合計、平成24年までの「市以外のホームページ」は「その他」に含む。「市公式ウェブサイト」は平成24年、「市公式フェイスブック」は平成26年、「窓口や電話で直接問い合わせる」、「特にない」は本調査の新規項目

市政に関する情報を何から得ているか (すべて選択)

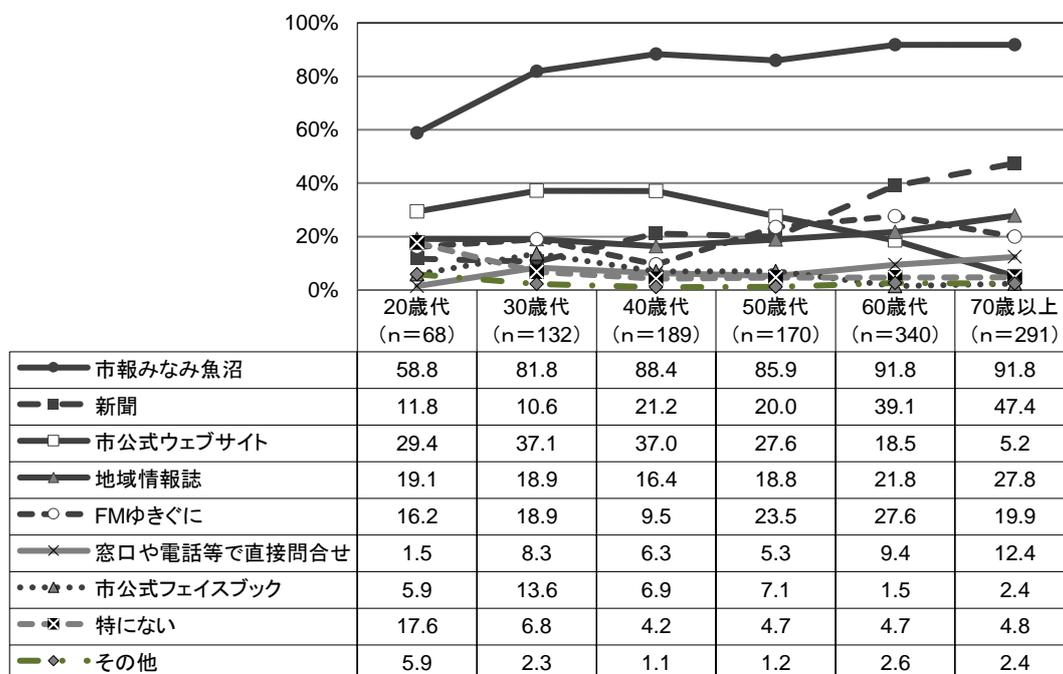
- 「市報みなみ魚沼」は20歳代が低い
- 50歳代以下は「市公式ウェブサイト」、60歳以上は「新聞」が比較的高い

属性別に見ると、性別による大きな差は見られませんが、男女とも「市報みなみ魚沼」が特に高く、女性（91.3%）が男性（83.1%）より若干高くなっています。

年代別に見ると、すべての年代で「市報みなみ魚沼」が特に高く、20歳代（58.8%）を除き8割以上となっています。次いで50歳代以下は「市公式ウェブサイト」、60歳代以上は「新聞」が高くなっています。



市政に関する情報を何から得ているか（性別）



※ 「窓口や電話等で直接問い合わせる」は「窓口や電話等で直接問合せ」に省略して表示

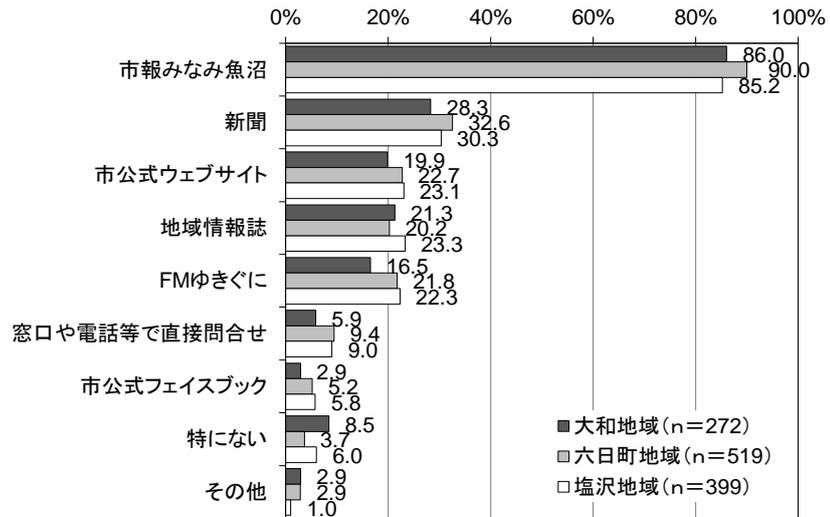
市政に関する情報を何から得ているか（年代別）

● 常勤は「市公式ウェブサイト」が比較的高い

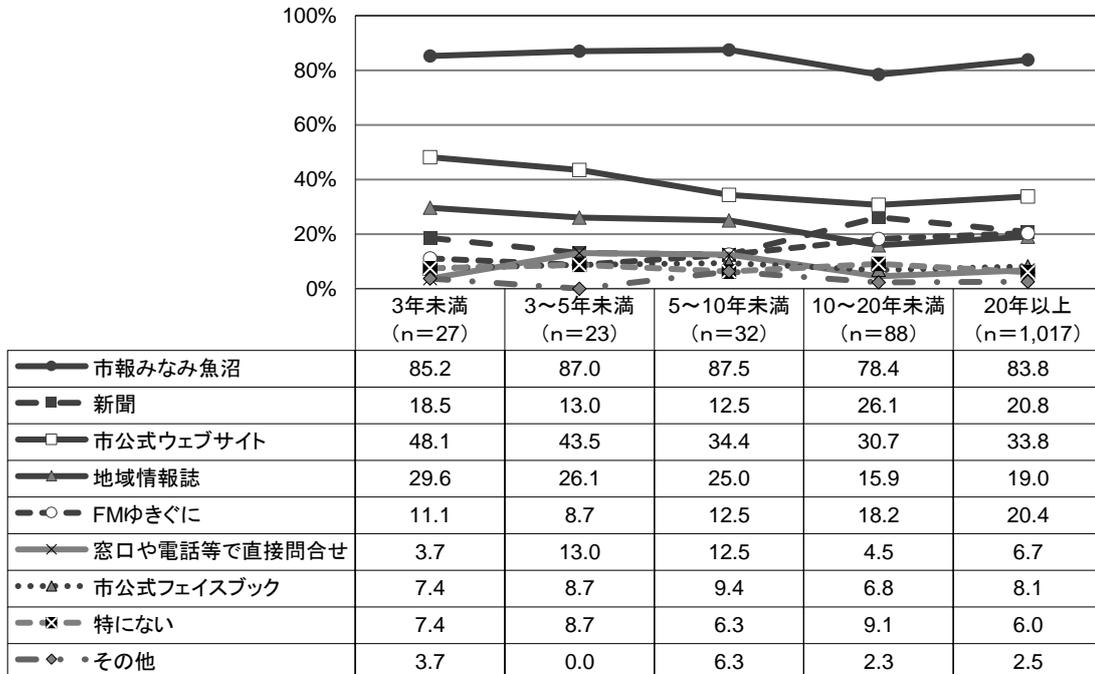
地域別や居住年数別による大きな差は見られません。

家族構成別でも大きな差は見られませんが、夫婦2人のみは「窓口や電話等で直接問い合わせる」(16.4%)が比較的高くなっています。

職業別に見ると、常勤以外では「市報みなみ魚沼」に次いで「新聞」が高く、常勤は「市公式ウェブサイト」(33.8%)が高くなっています。

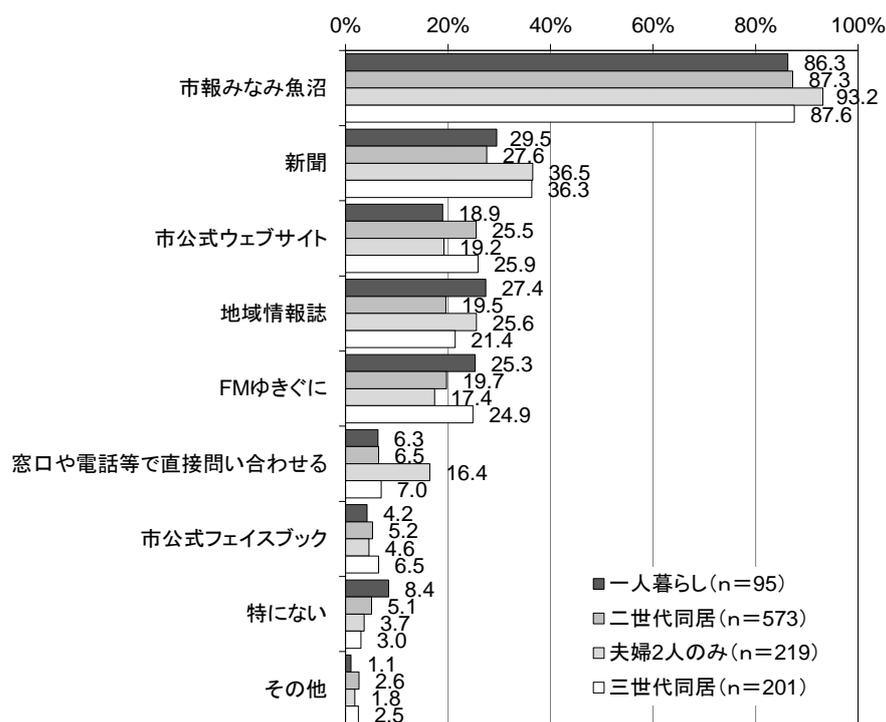


市政に関する情報を何から得ているか (地域別)

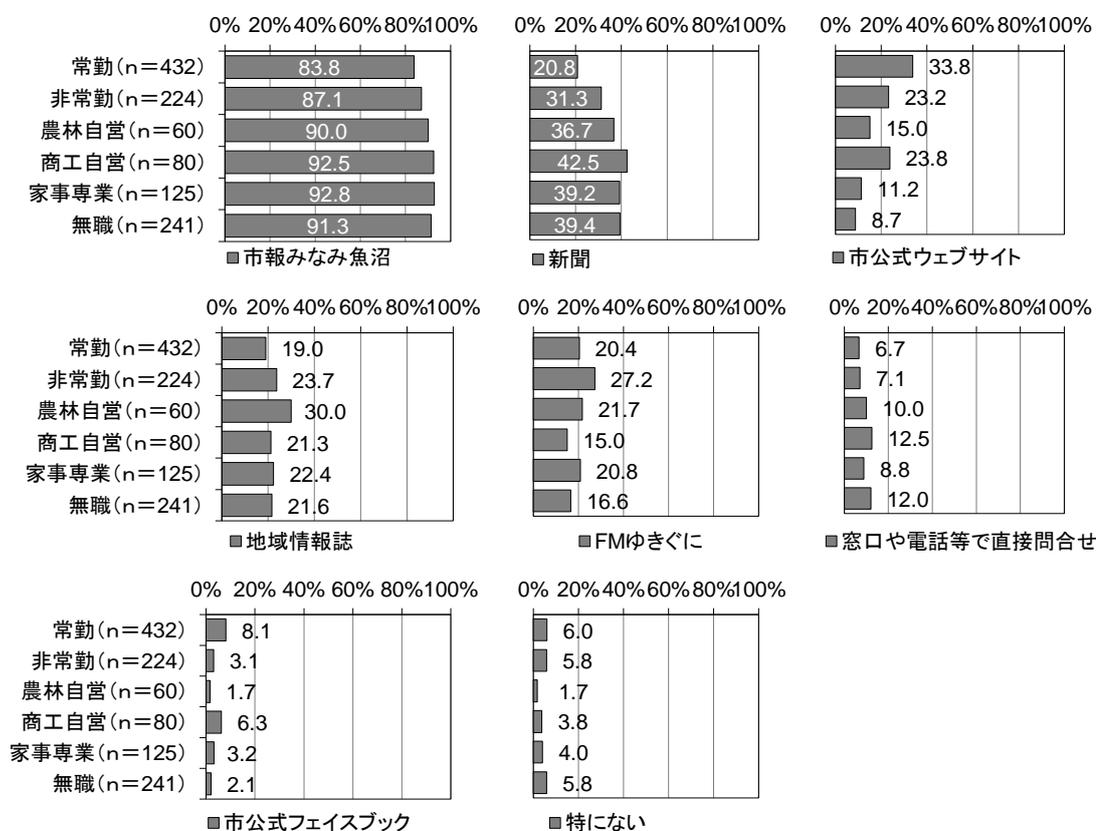


※「窓口や電話等で直接問い合わせる」は「窓口や電話等で直接問合せ」に省略して表示

市政に関する情報を何から得ているか (居住年数別)



市政に関する情報を何から得ているか（家族構成別）



※「窓口や電話で直接問い合わせる」は「窓口や電話等で直接問合せ」に省略して表示。

市政に関する情報を何から得ているか（職業別）

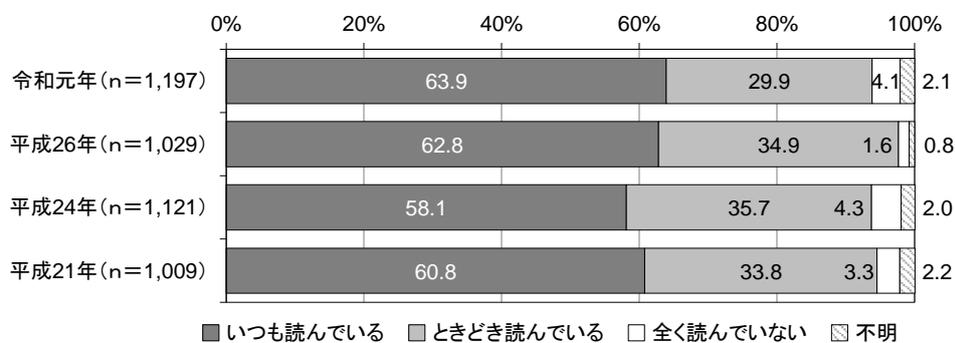
6. 「市報みなみ魚沼」を読んでいるか・評価

問 6① あなたは、「市報みなみ魚沼」を読んでいますか。(1つだけ選択)

- 「読んでいる」が9割以上
- 過去3回の調査と比較して大きな変化は見られない

「いつも読んでいる」(63.9%)が6割以上で最も高く、次いで高い「ときどき読んでいる」(29.9%)との合計値『読んでいる』(93.8%)は9割以上となっています。

過去3回の調査と比較すると、大きな変化は見られません。

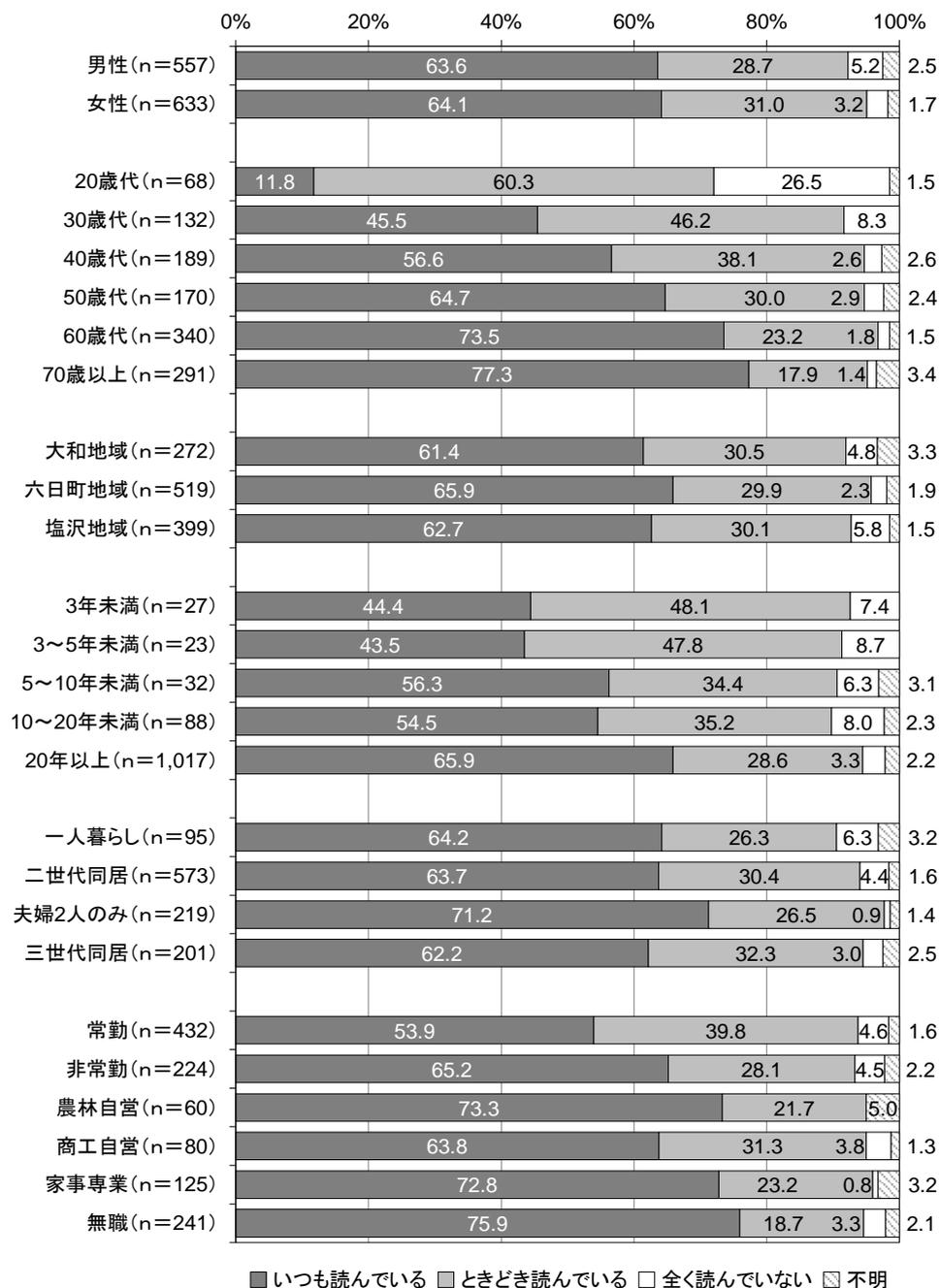


※平成26年までは、「よく読んでいる」「ときどき読んでいる」「ほとんど読んでいない」「全く読んでいない」の4択。上記「ときどき読んでいる」は平成26年では「ときどき読んでいる」「ほとんど読んでいない」の合計値

「市報みなみ魚沼」を読んでいるか (1つだけ選択)

- 「いつも読んでいる」は60歳代以上、夫婦2人のみ、農林自営、家事専業、無職が比較的高く、20歳代が特に低い

属性別に見ると、合計値『読んでいる』は、年代別の20歳代(72.1%)を除き大きな差は見られません。しかしその中で、「いつも読んでいる」は、年代別では高い年代ほど高く、夫婦2人のみ(71.2%)、農林自営(73.3%)、家事専業(72.8%)、無職(75.9%)も7割以上で比較的高い一方、20歳代(11.8%)が特に低くなっています。



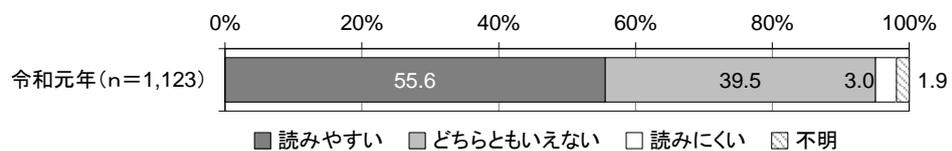
「市報みなみ魚沼」を読んでいるか(属性別)

問 6② 「市報みなみ魚沼」についてどう感じていますか。(それぞれ1つだけ選択)

(1) 読みやすさ

- 「読みやすい」が5割以上、次いで「どちらともいえない」が約4割
- 居住年数5～10年未満は「どちらともいえない」が最も高い

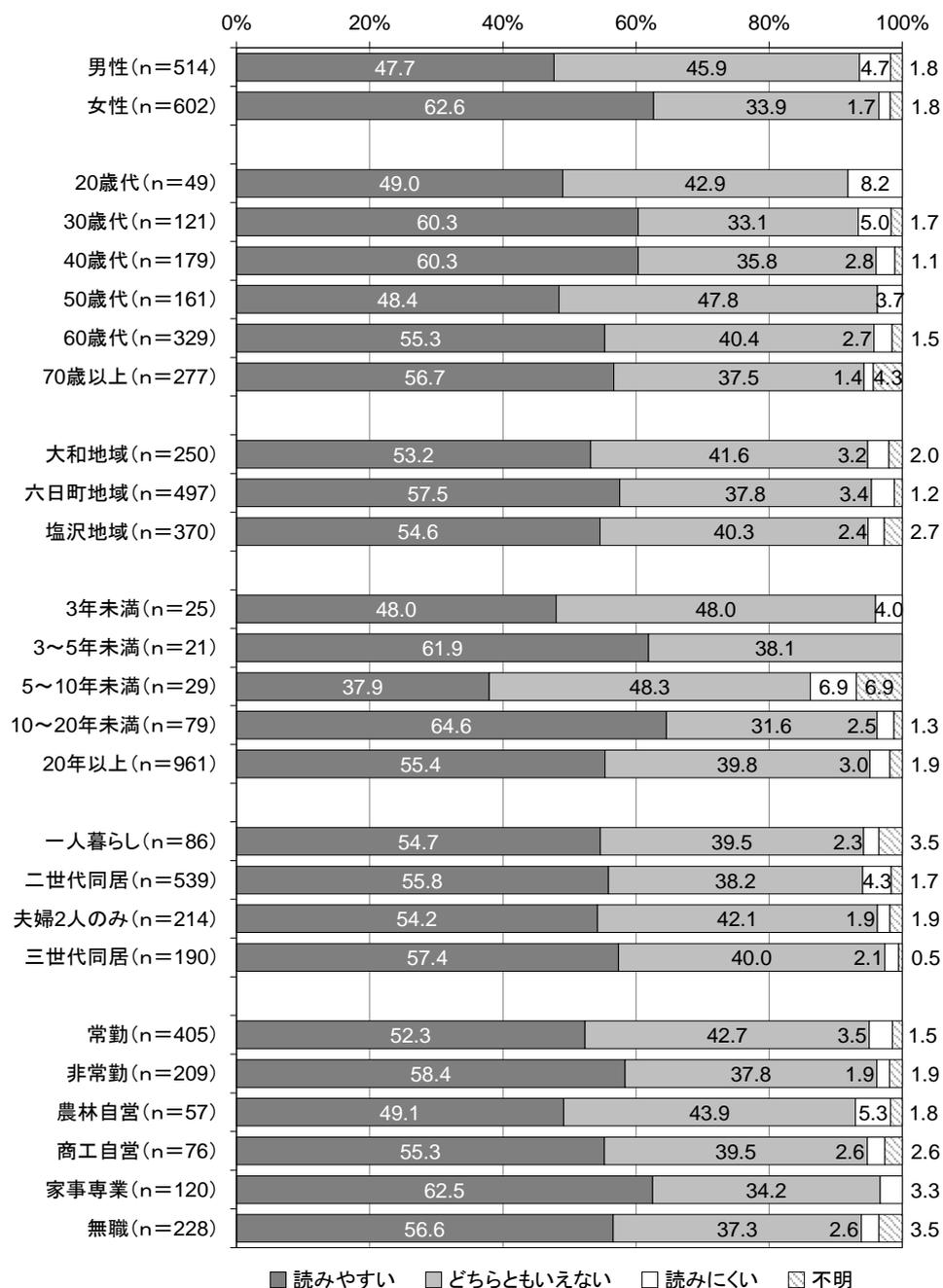
「読みやすい」(55.6%)が5割以上で最も高く、次いで「どちらともいえない」(39.5%)が約4割となっています。



「市報みなみ魚沼」の(1)読みやすさ(1つだけ選択)

属性別に見ると、居住年数5～10年未満を除き、いずれの属性も「読みやすい」が最も高く、居住年数5～10年未満は「どちらともいえない」(48.3%)が約5割で最も高くなっています(居住年数3年未満は「どちらともいえない」(48.0%)と同値)。

「読みやすい」は、女性(62.6%)、30・40歳代(60.3%と同値)、居住年数3～5年未満(61.9%)や10～20年未満(64.6%)、家事専業(62.5%)が6割以上で比較的高くなっています。

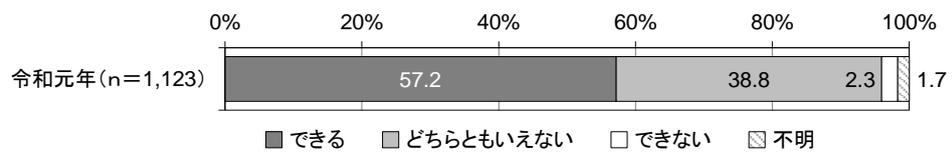


「市報みなみ魚沼」の(1)読みやすさ(属性別)

(2) 必要な情報を得ることができるか

- 「できる」が約6割、次いで「どちらともいえない」が約4割
- 居住年数5～10年未満は「できる」「どちらともいえない」が同値

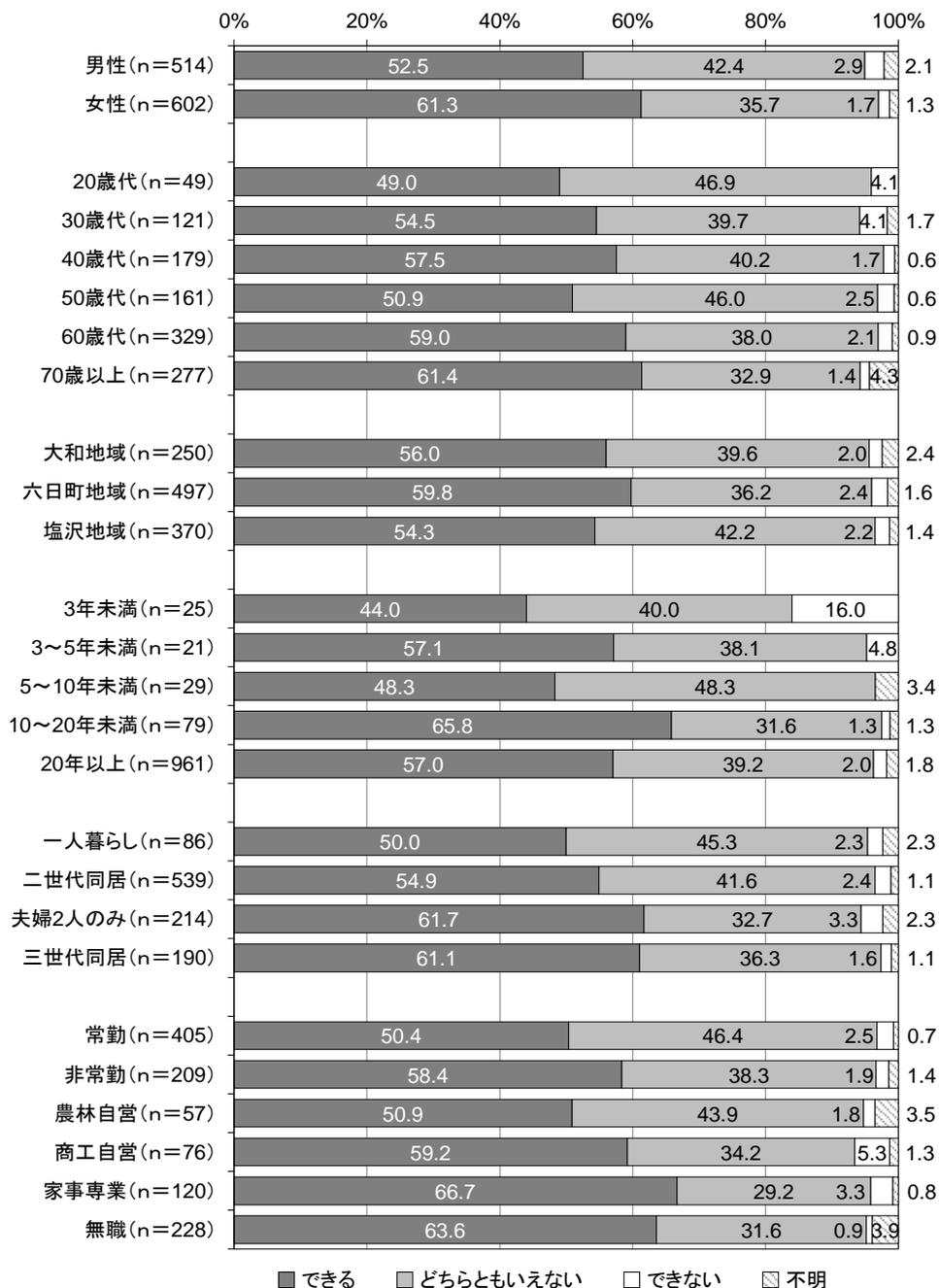
「できる」(57.2%)が約6割で最も高く、次いで「どちらともいえない」(38.8%)が約4割となっています。



「市報みなみ魚沼」の(2) 必要な情報を得ることができるか (1つだけ選択)

属性別に見ると、いずれの属性も「できる」が最も高くなっています（居住年数5～10年未満は「どちらともいえない」（48.3%）と同値）。

「できる」は、女性（61.3%）、70歳以上（61.4%）、居住年数10～20年未満（65.8%）、夫婦2人のみ（61.7%）や三世帯同居（61.1%）、家事専業（66.7%）や無職（63.6%）が6割以上で比較的高くなっています。

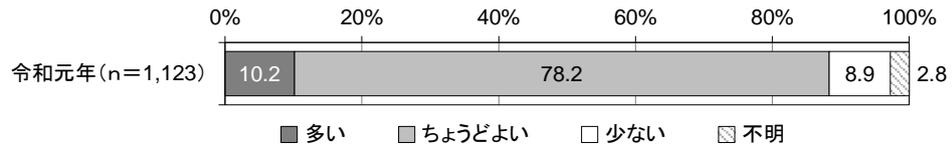


「市報みなみ魚沼」の（2）必要な情報を得ることができるか（属性別）

(3) 情報量の多さ

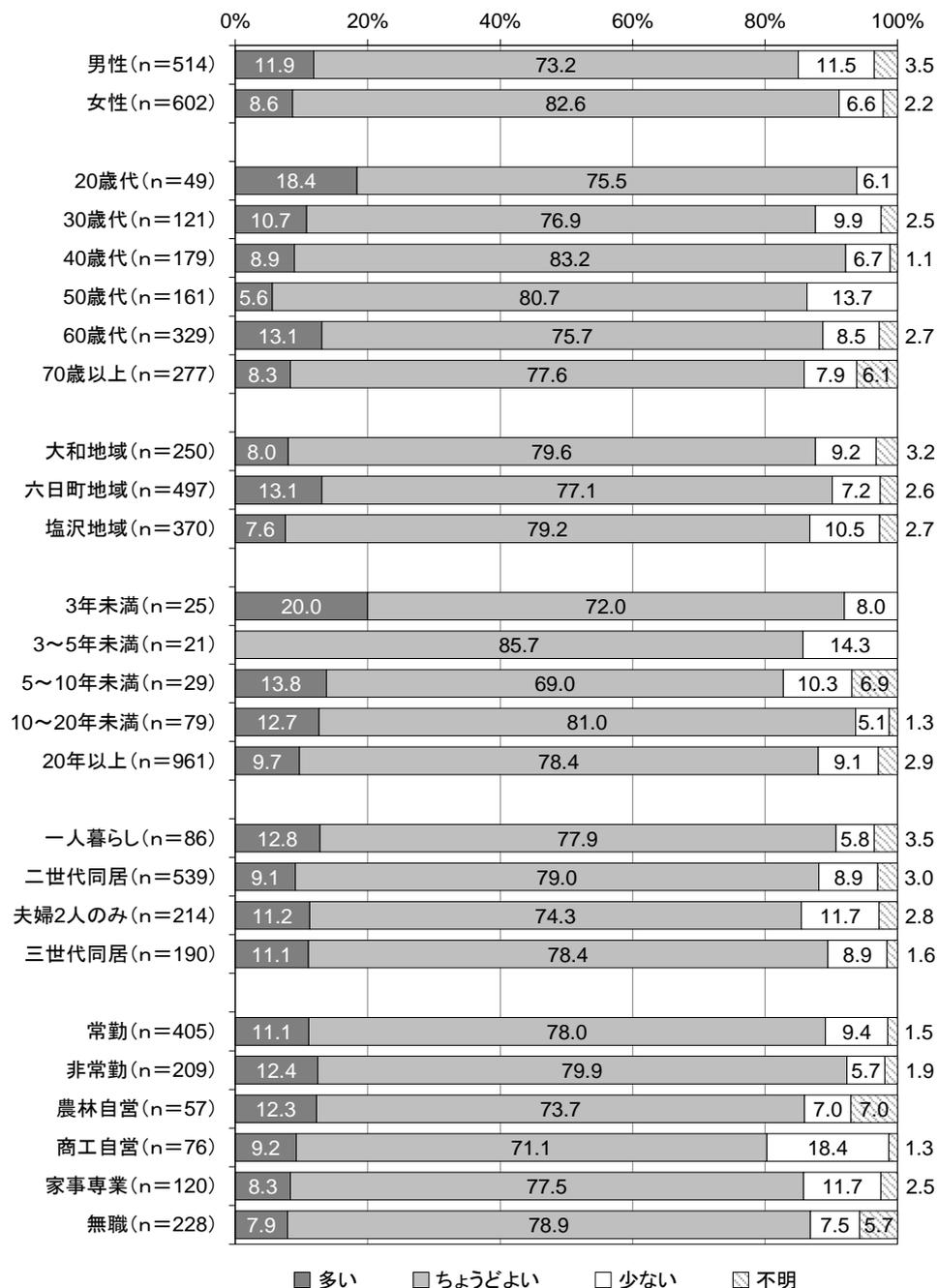
- 「ちょうどよい」が約8割、次いで「多い」「少ない」がいずれも約1割
- 20歳代、居住年数3年未満は「多い」、商工自営は「少ない」が比較的高い

「ちょうどよい」(78.2%)が約8割で特に高く、次いで「多い」(10.2%)、「少ない」(8.9%)が約1割で同程度となっています。



「市報みなみ魚沼」の(3)情報量の多さ(1つだけ選択)

属性別に見ると、いずれの属性も全体傾向と同様に「ちょうどよい」が最も高く、次いで「多い」と「少ない」が同程度となっています。その中で「多い」は居住年数3年未満（20.0%）や20歳代（18.4%）、「少ない」は商工自営（18.4%）がそれぞれ約2割で比較的高くなっています。

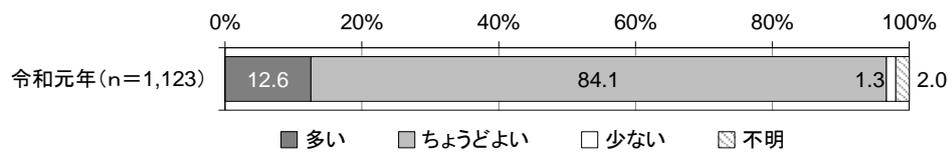


「市報みなみ魚沼」の（3）情報量の多さ（属性別）

(4) 現在の月2回の発行回数

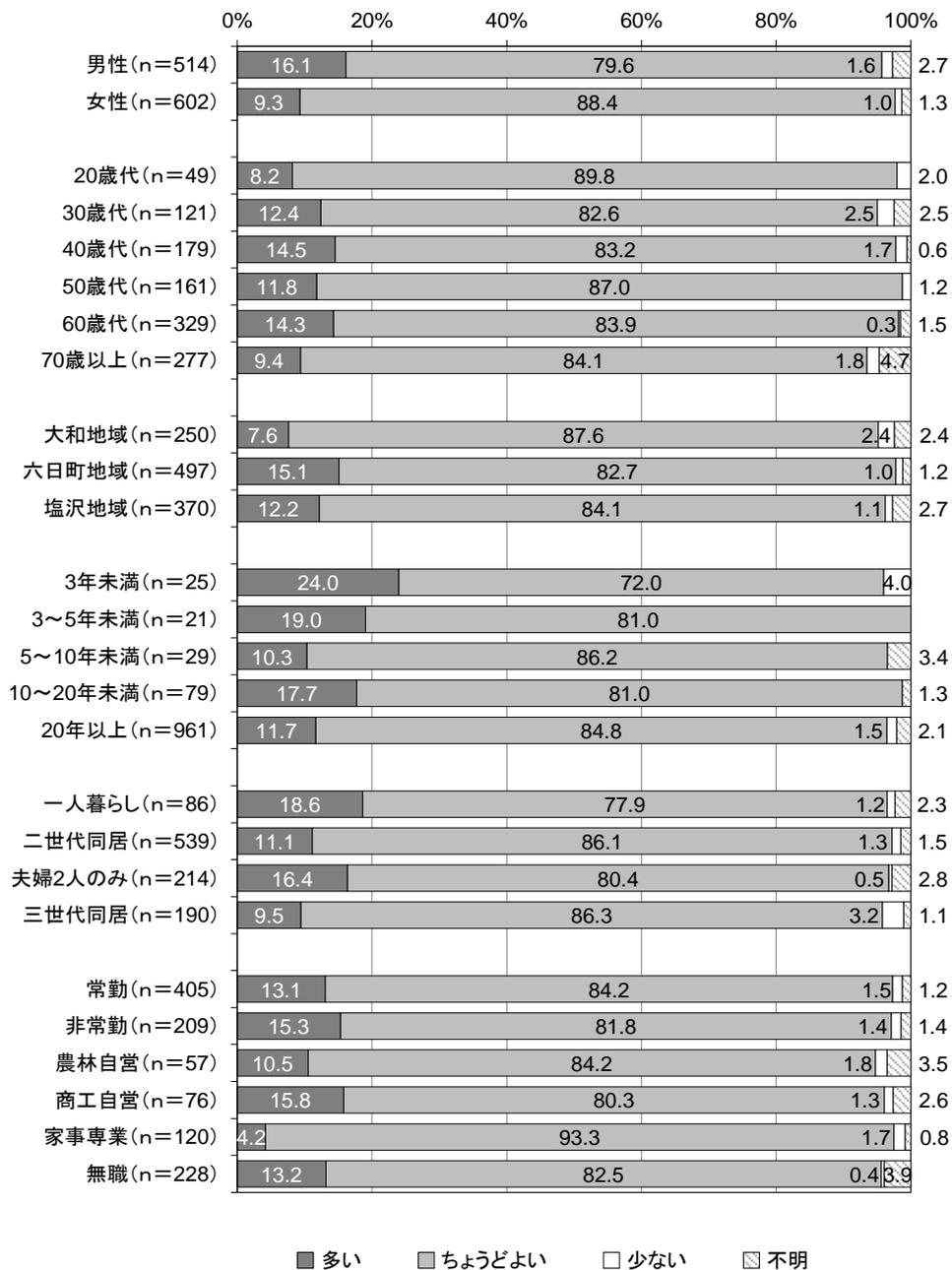
- 「ちょうどよい」が8割以上、次いで「多い」が1割以上
- 居住年数3年未満は「多い」が比較的高い

「ちょうどよい」(84.1%)が8割以上で特に高く、次いで「多い」(12.6%)が1割以上となっています。



「市報みなみ魚沼」の(4) 現在月2回の発行回数 (1つだけ選択)

属性別に見ると、いずれの属性も全体傾向と同様に「ちょうどよい」が最も高く、次いで「多い」が高くなっています。その中で「多い」は居住年数3年未満（24.0%）が2割以上で比較的高くなっています。

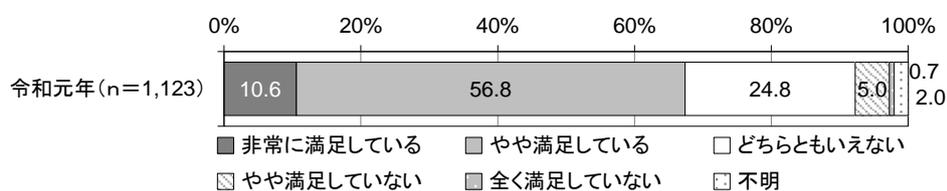


「市報みなみ魚沼」の（４）現在月2回の発行回数（属性別）

(5) 総合的な満足度

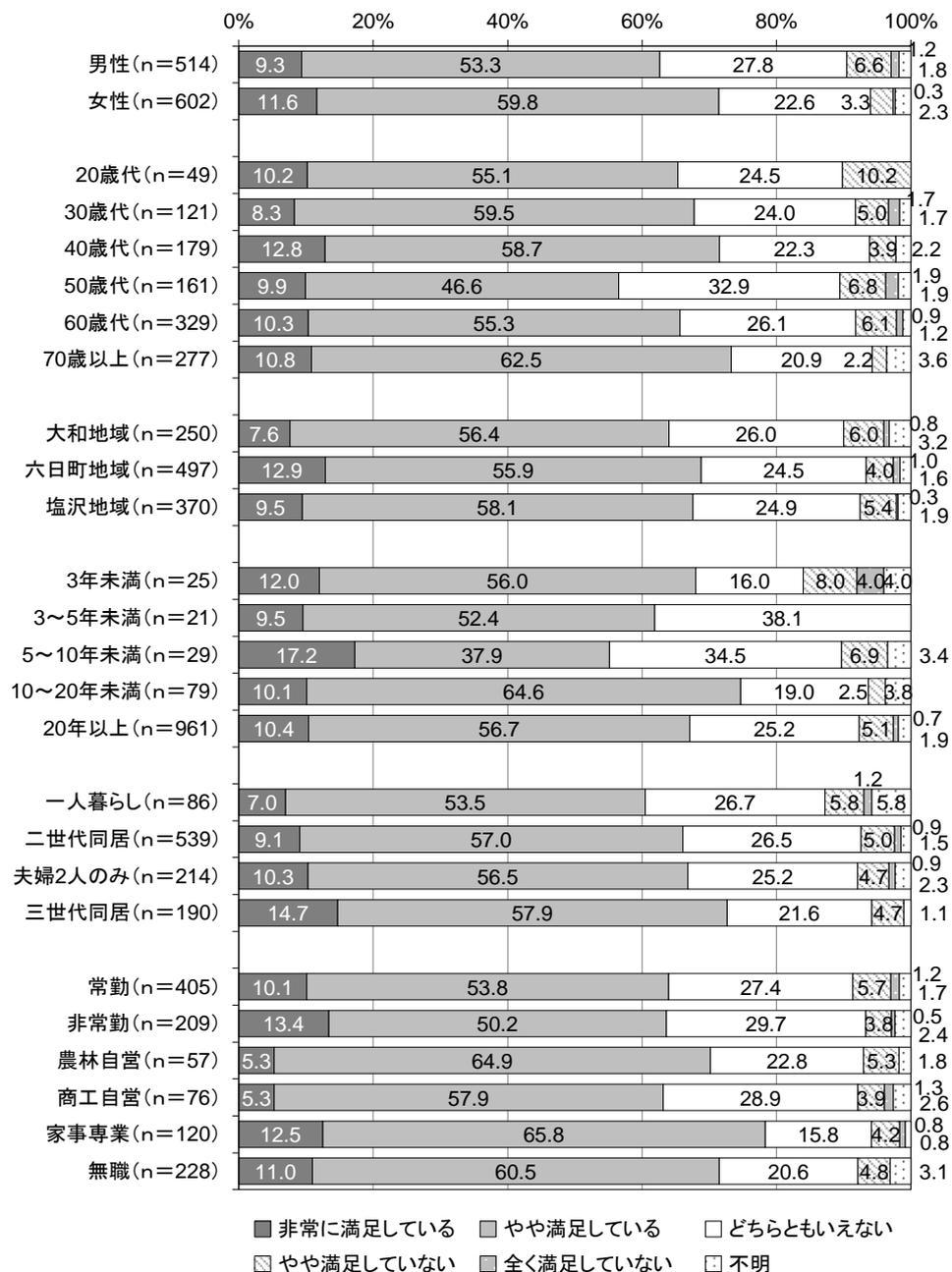
- 「やや満足している」が約6割、次いで「どちらともいえない」が2割以上
- 合計値『満足している』は約7割
- 女性、40歳代や70歳以上、居住年数10~20年未満、三世帯同居、家事専業や無職の満足度が比較的高い

「やや満足している」(56.8%)が約6割で最も高く、次いで「どちらともいえない」(24.8%)が2割以上、「非常に満足している」(10.6%)が1割以上となっています。「非常に満足している」と「やや満足している」の合計値『満足している』(67.4%)は約7割となっています。



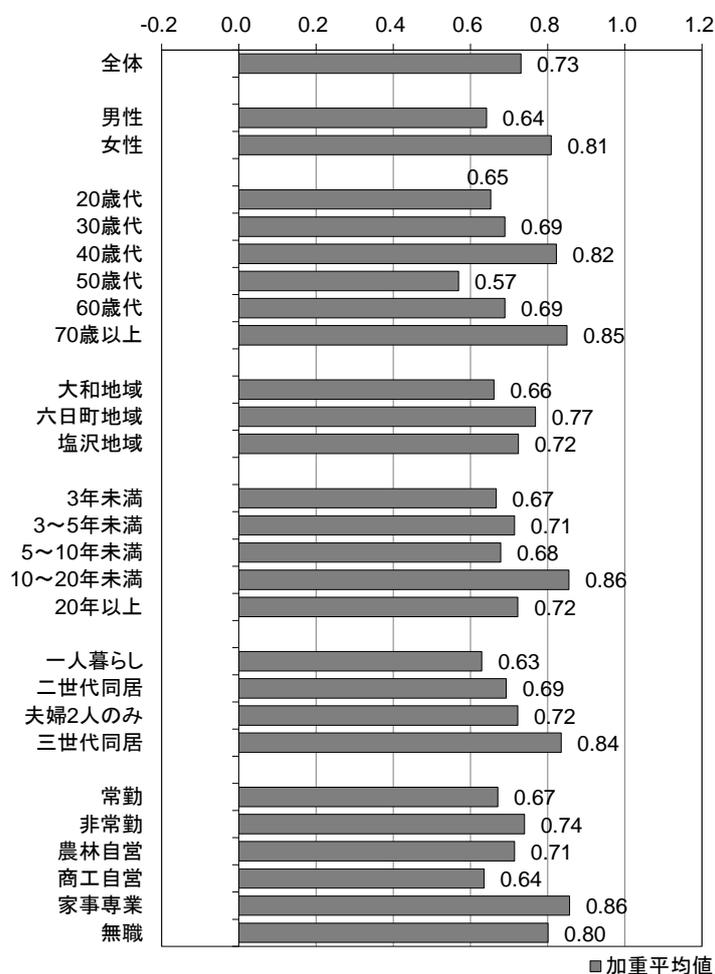
「市報みなみ魚沼」の(5)総合的な満足度(1つだけ選択)

属性別に見ると、いずれの属性も全体傾向と同様に「やや満足している」が最も高く、次いで「どちらともいえない」が高くなっています。合計値『満足している』は、女性（71.4%）、40歳代（71.5%）や70歳以上（73.3%）、居住年数10～20年未満（74.7%）、三世帯同居（72.6%）、農林自営（70.2%）や無職（71.5%）が7割以上、さらに家事専業（78.3%）が約8割で比較的高くなっています。



「市報みなみ魚沼」の（5）総合的な満足度（属性別）

属性別の加重平均値※を見ると、女性（0.81ポイント）、40歳代（0.82ポイント）や70歳以上（0.85ポイント）、居住年数10～20年未満（0.86ポイント）、三世帯同居（0.84ポイント）、家事専業（0.86ポイント）や無職（0.80ポイント）が比較的高くなっています。



「市報みなみ魚沼」の（5）総合的な満足度（加重平均値）

※加重平均値：「非常に満足している」に+2点、「やや満足している」に+1点、「どちらともいえない」に0点、「やや満足していない」に-1点、「全く満足していない」に-2点の加重値を与え、「不明」を除く回答者数で平均値を算出したもの。基準値を0として、プラス値の場合は肯定的な評価、マイナス値の場合は否定的な評価といえる。

7. 地域づくり協議会の認知度

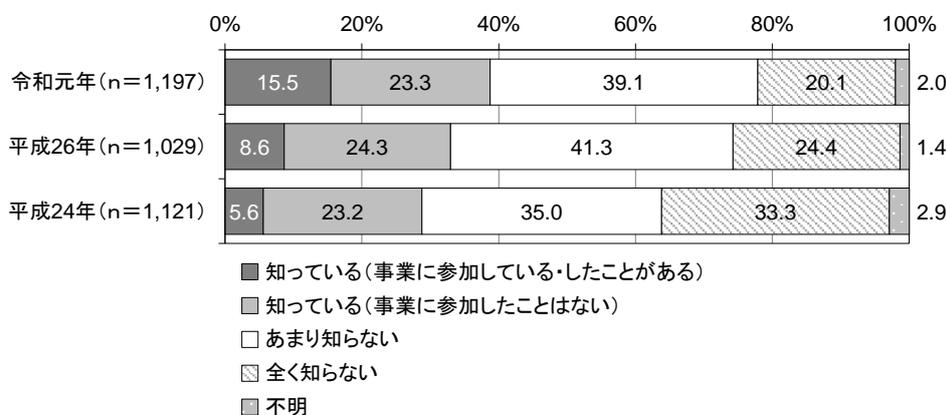
問7 あなたは、「地域づくり協議会」を知っていますか。(1つだけ選択)

- 「知っている」が約4割、「知らない」が約6割
- 認知度は高くなる傾向

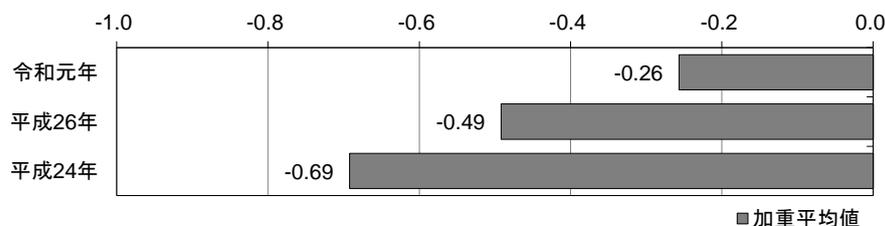
「あまり知らない」(39.1%)が約4割で最も高く、次いで「知っている(事業に参加したことはない)」(23.3%)、「全く知らない」(20.1%)がそれぞれ2割以上となっています。「あまり知らない」と「全く知らない」の合計値『知らない』(59.2%)は約6割、「知っている(事業に参加している・したことがある)」(15.5%)と「知っている(事業に参加したことはない)」の合計値『知っている』(38.8%)は約4割となっています。

過去2回の調査と比較すると、合計値『知っている』は、前回(32.9%)や前々回(28.8%)より高くなる傾向がうかがえます。

加重平均値※を見ても、マイナスの値ではあるものの、本調査(-0.26ポイント)は前回(-0.49ポイント)や前々回(-0.69ポイント)より毎回0.2ポイント以上高くなっています。



「地域づくり協議会」を知っているか (1つだけ選択)

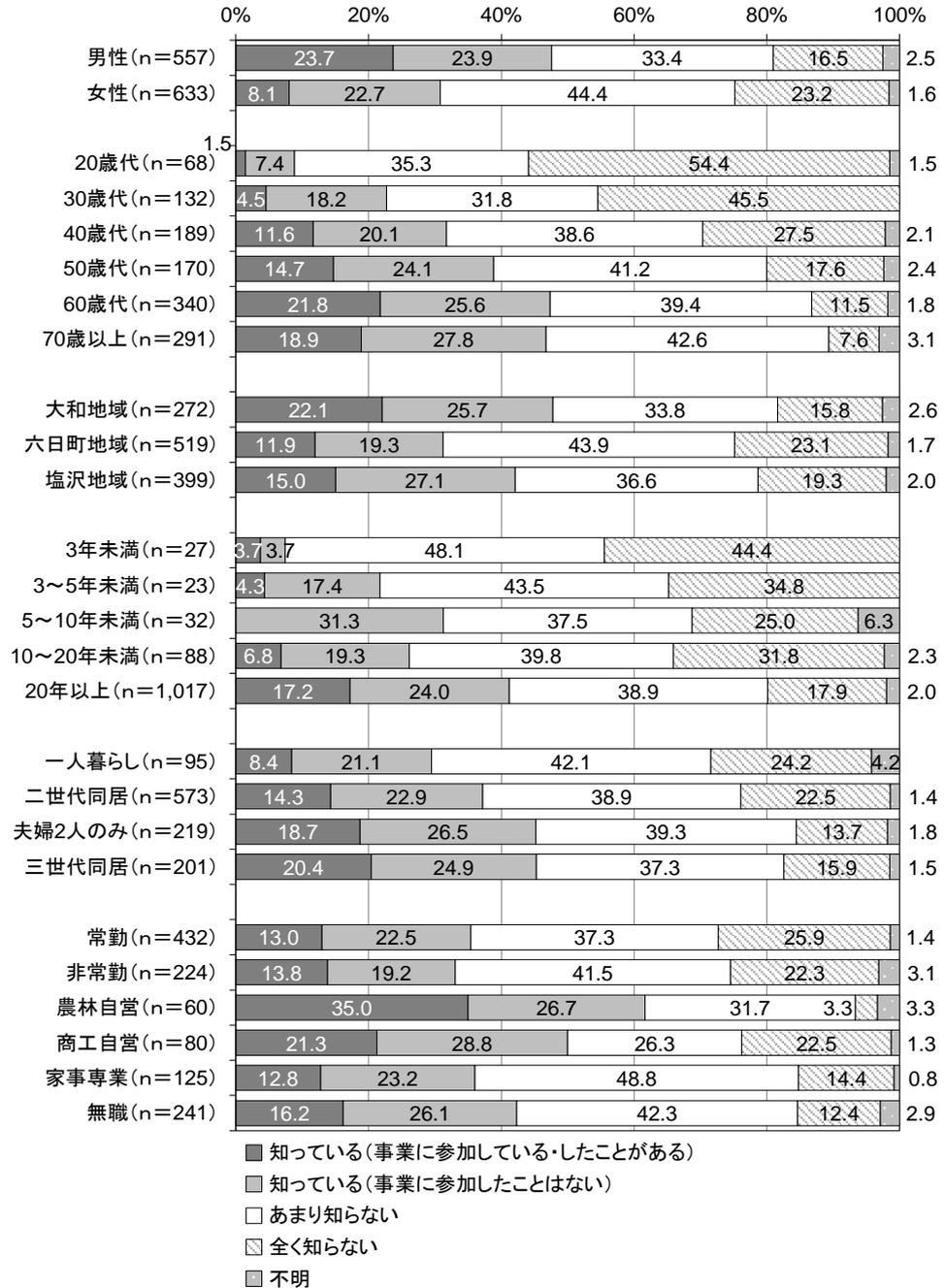


「地域づくり協議会」を知っているか (経年比較 加重平均値)

※加重平均値：「知っている(事業に参加している・したことがある)」に+2点、「知っている(事業に参加したことはない)」に+1点、「あまり知らない」に-1点、「全く知らない」に-2点の加重値を与え、「不明」を除く回答者数で平均値を算出したもの。基準値を0として、プラス値の場合は肯定的な評価、マイナス値の場合は否定的な評価といえる

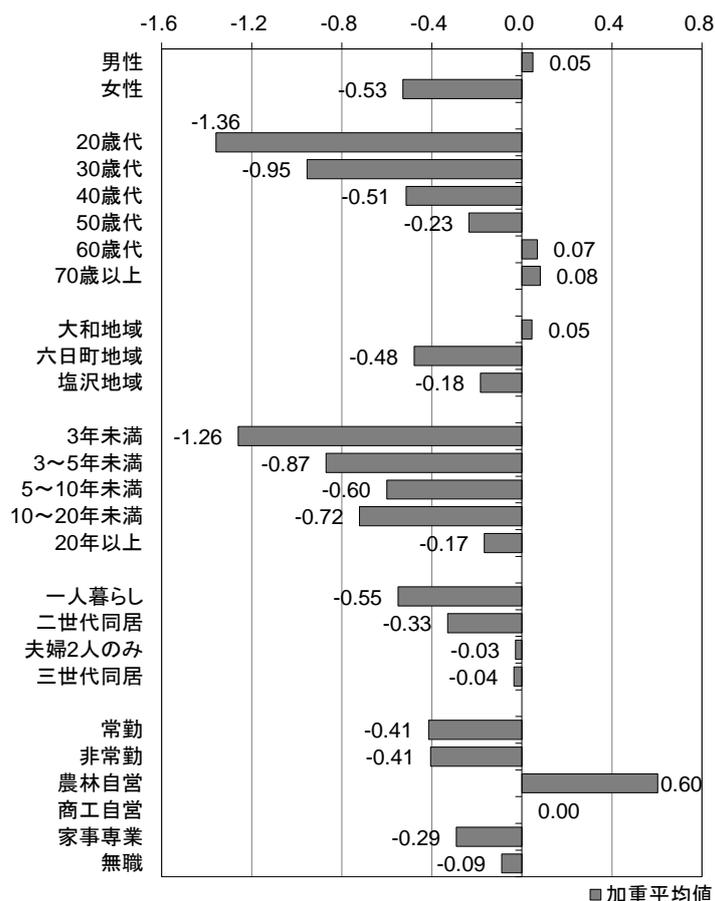
● 農林自営の認知度が比較的高い一方、若い年代、居住年数が短いほど認知度が低い

属性別に見ると、合計値『知っている』は、男性（47.6%）、60歳代（47.4%）や70歳以上（46.7%）、大和地域（47.8%）、居住年数20年以上（41.2%）、夫婦2人のみ（45.2%）や三世代同居（45.3%）、農林自営（61.7%）や商工自営（50.1%）などが比較的高くなっています。



「地域づくり協議会」を知っているか（属性別）

加重平均値を見ると、農林自営（0.60ポイント）が最も高く、次いで70歳以上（0.08ポイント）、60歳代（0.07ポイント）、男性（0.05ポイント）、大和地域（0.05ポイント）が同程度のプラス値となっており、商工自営も0.00ポイントとなっています。上記以外の属性はいずれもマイナスの値となっており、特に20歳代（-1.36ポイント）や居住年数3年未満（-1.26ポイント）は-1.0ポイントを下回っています。また、概ね若い年代や、居住年数が短いほど認知度が低い状況が見られます。



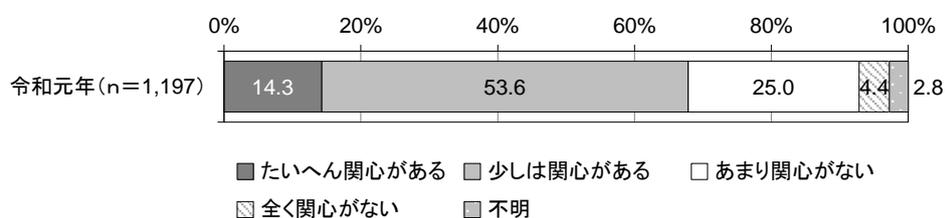
「地域づくり協議会」を知っているか（属性別 加重平均値）

8. 地域づくり活動への関心度

問8 あなたは、行政区や地域での行事や地域づくりの活動に関心がありますか
(1つだけ選択)

●「関心がある」約7割

「少しは関心がある」(53.6%)が5割以上で最も高く、次いで「あまり関心がない」(25.0%)が2割以上、「たいへん関心がある」(13.4%)が1割以上となっています。「たいへん関心がある」と「少しは関心がある」の合計値『関心がある』(67.9%)は約7割となっています。

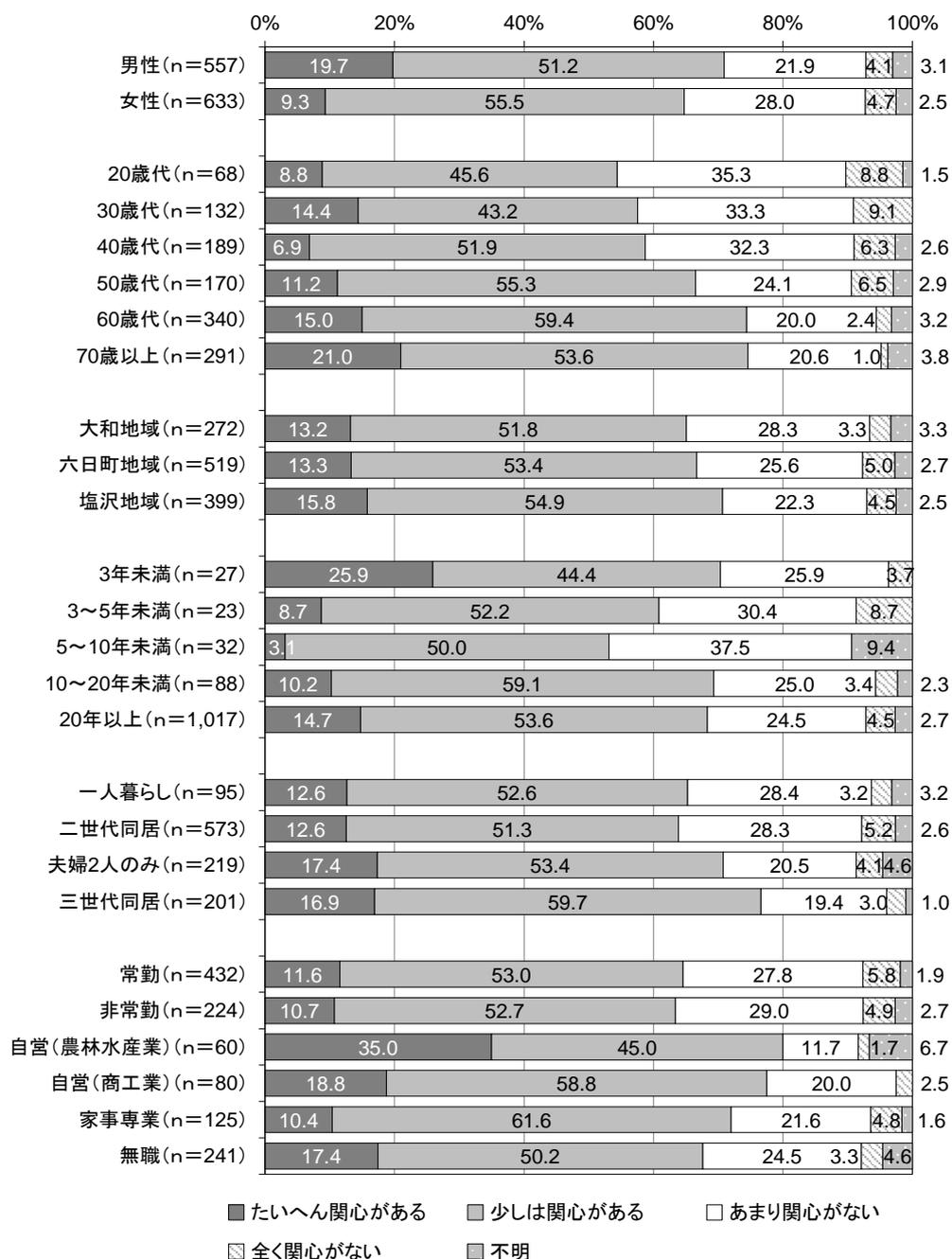


行政区や地域での行事や地域づくりの活動に関心があるか (1つだけ選択)

- 男性、高い年代、3年未満、夫婦2人のみ、三世帯同居、農林自営、商工自営などの関心度が比較的高く、農林自営が特に高い
- 20歳代の関心度が低い

属性別に見ると、いずれの属性も「少しは関心がある」が最も高くなっています。

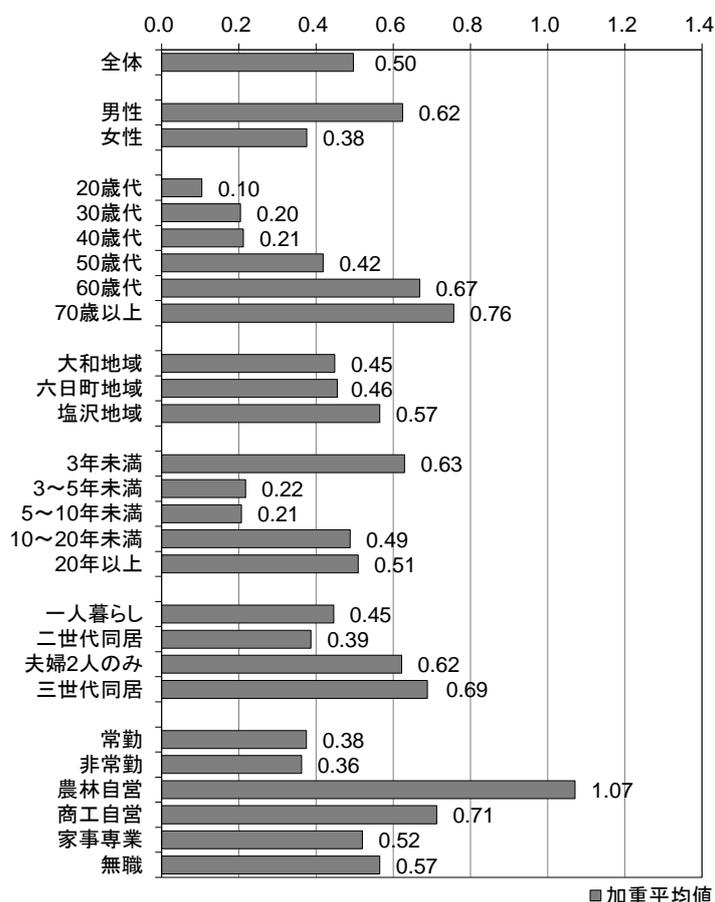
合計値『関心がある』は、男性（70.9%）、高い年代、夫婦2人のみ（70.8%）や三世帯同居（76.6%）、農林自営（80.0%）や商工自営（77.6%）などが比較的高い一方、20歳代（54.4%）や居住年数5～10年未満（53.1%）が比較的低くなっています。



行政区や地域での行事や地域づくりの活動に関心があるか（属性別）

加重平均値※を見ても同様の傾向となっていますが、その中で農林自営(1.07ポイント)が特に高く、次いで70歳以上(0.76ポイント)、商工自営(0.71ポイント)などが高くなっています。一方、20歳代(0.10ポイント)が特に低くなっています。

また、居住年数別では、3年未満(0.63ポイント)が比較的高くなっています。



行政区や地域での行事や地域づくりの活動に関心があるか（属性別 加重平均値）

※加重平均値：「たいへん関心がある」に+2点、「少しは関心がある」に+1点、「あまり関心がない」に-1点、「全く関心がない」に-2点の加重値を与え、「不明」を除く回答者数で平均値を算出したもの。基準値を0として、プラス値の場合は肯定的な評価、マイナス値の場合は否定的な評価といえる

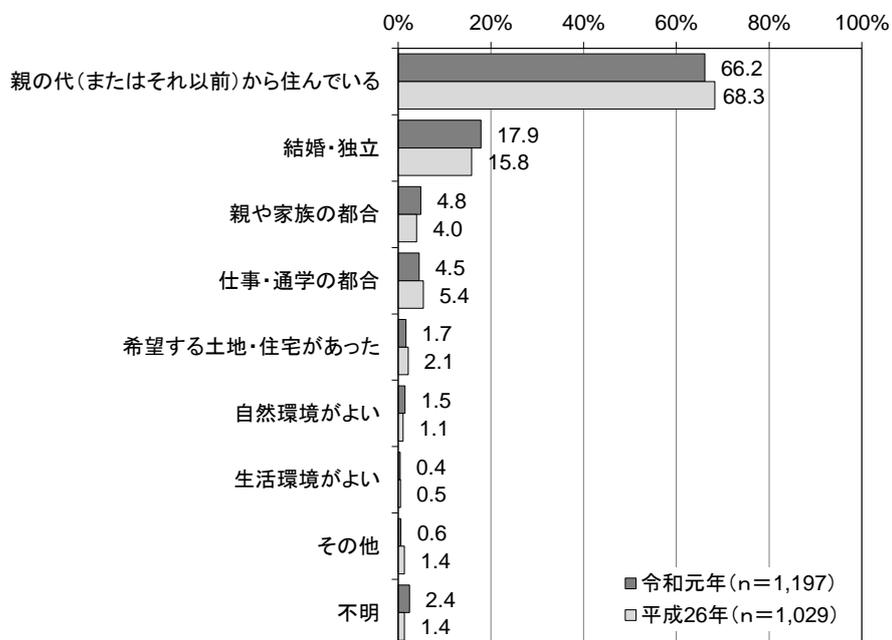
9. 南魚沼市に住むようになった理由・きっかけ

問9 南魚沼市に住むようになった理由・きっかけはどのようなことですか。
(1つだけ選択)

- 「親の代（またはそれ以前）から住んでいる」が約7割
- 前回調査と同様の傾向

「親の代（またはそれ以前）から住んでいる」（66.2%）が約7割で特に高く、次いで「結婚・独立」（17.9%）が約2割となっています。

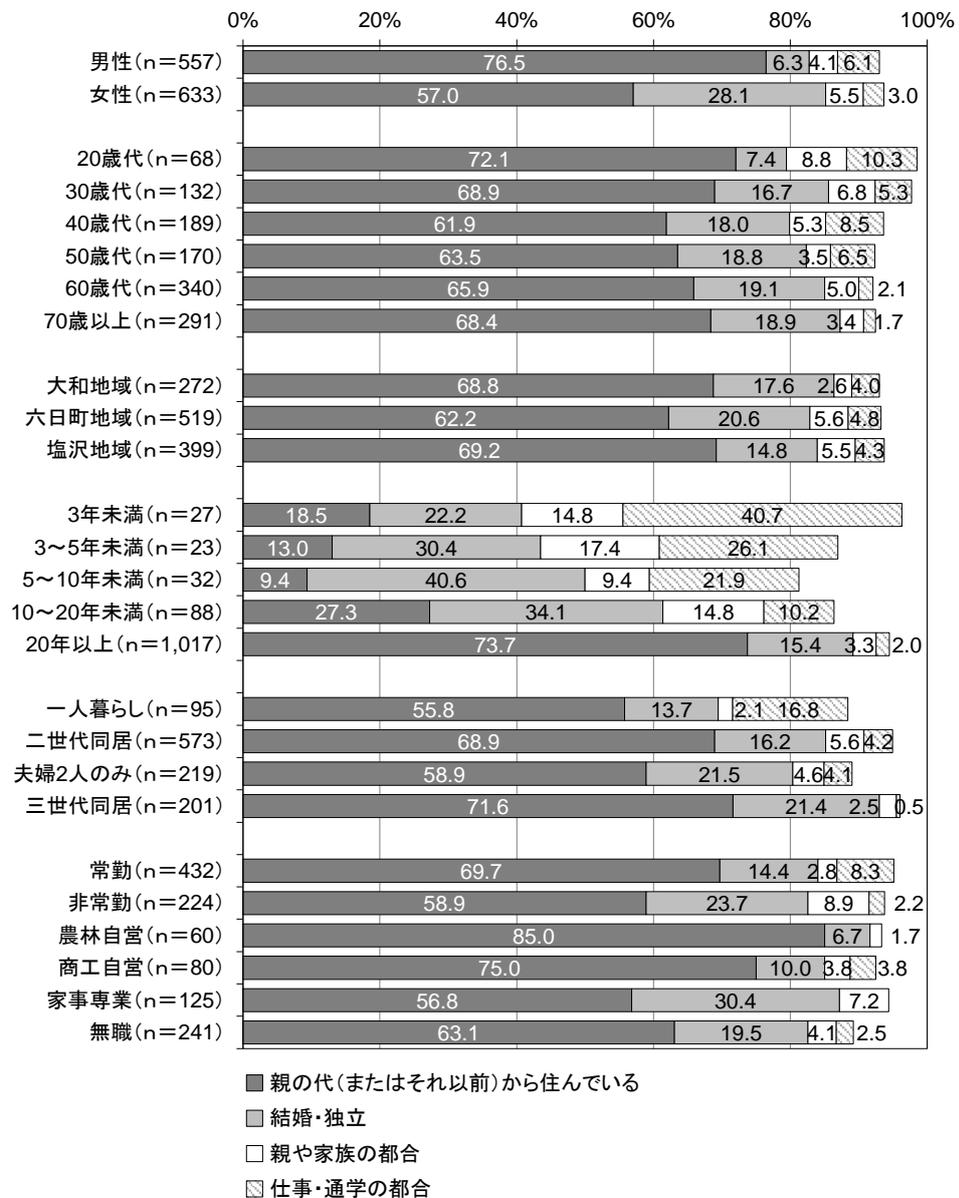
前回と比較すると、同様の傾向となっており、大きな変化は見られません。



南魚沼市に住むようになった理由・きっかけ（1つだけ選択）

- 「親の代（またはそれ以前）から住んでいる」は農林自営が特に高い
- 居住年数3年未満は「仕事・通学の都合」、3～20年未満は「結婚・独立」が最も高い

属性別に見ると、居住年数20年未満を除きいずれの属性も「親の代（またはそれ以前）から住んでいる」が最も高く、特に農林自営（85.0%）は8割以上となっています。居住年数3年未満は「仕事・通学の都合」（40.7%）、3～20年未満はいずれも「結婚・独立」が最も高くなっており、「結婚・独立」は女性（28.1%）、家事専業（30.4%）、「仕事・通学の都合」は居住年数3～5年未満（26.1%）も約3割で比較的高くなっています。



※全体傾向における上位4項目のみ表示

南魚沼市に住むようになった理由・きっかけ（属性別）

10. 南魚沼市は暮らしやすいか

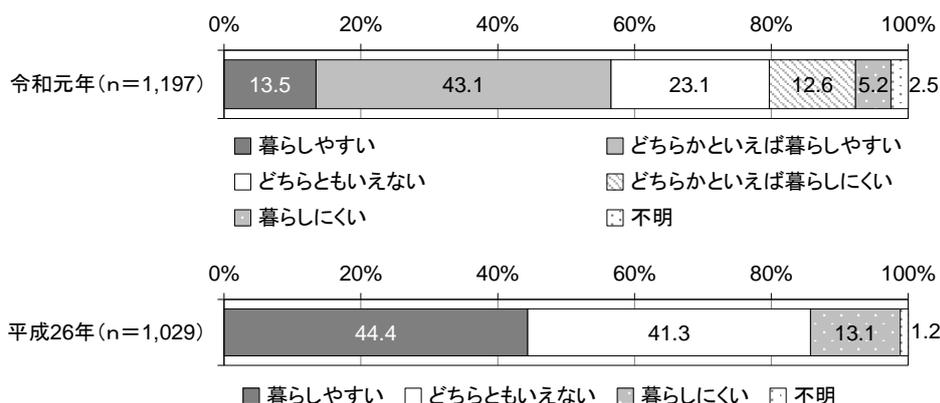
問 10 南魚沼市は暮らしやすいと思いますか。(1つだけ選択)

●「暮らしやすい」が約6割、「暮らしにくい」が約2割

「どちらかといえば暮らしやすい」(43.1%)が4割以上で最も高く、次いで「どちらともいえない」(23.1%)が2割以上、「暮らしやすい」(13.5%)、「どちらかといえば暮らしにくい」(12.6%)がそれぞれ1割以上となっています。

「暮らしやすい」と「どちらかといえば暮らしやすい」の合計値『暮らしやすい』(56.6%)は約6割、「暮らしにくい」(5.2%)と「どちらかといえば暮らしにくい」の合計値『暮らしにくい』(17.8%)は約2割となっています。

前回とは選択肢が異なるため、参考として見てみると、『暮らしやすい』(前回44.4%)は10ポイント以上高くなっています。



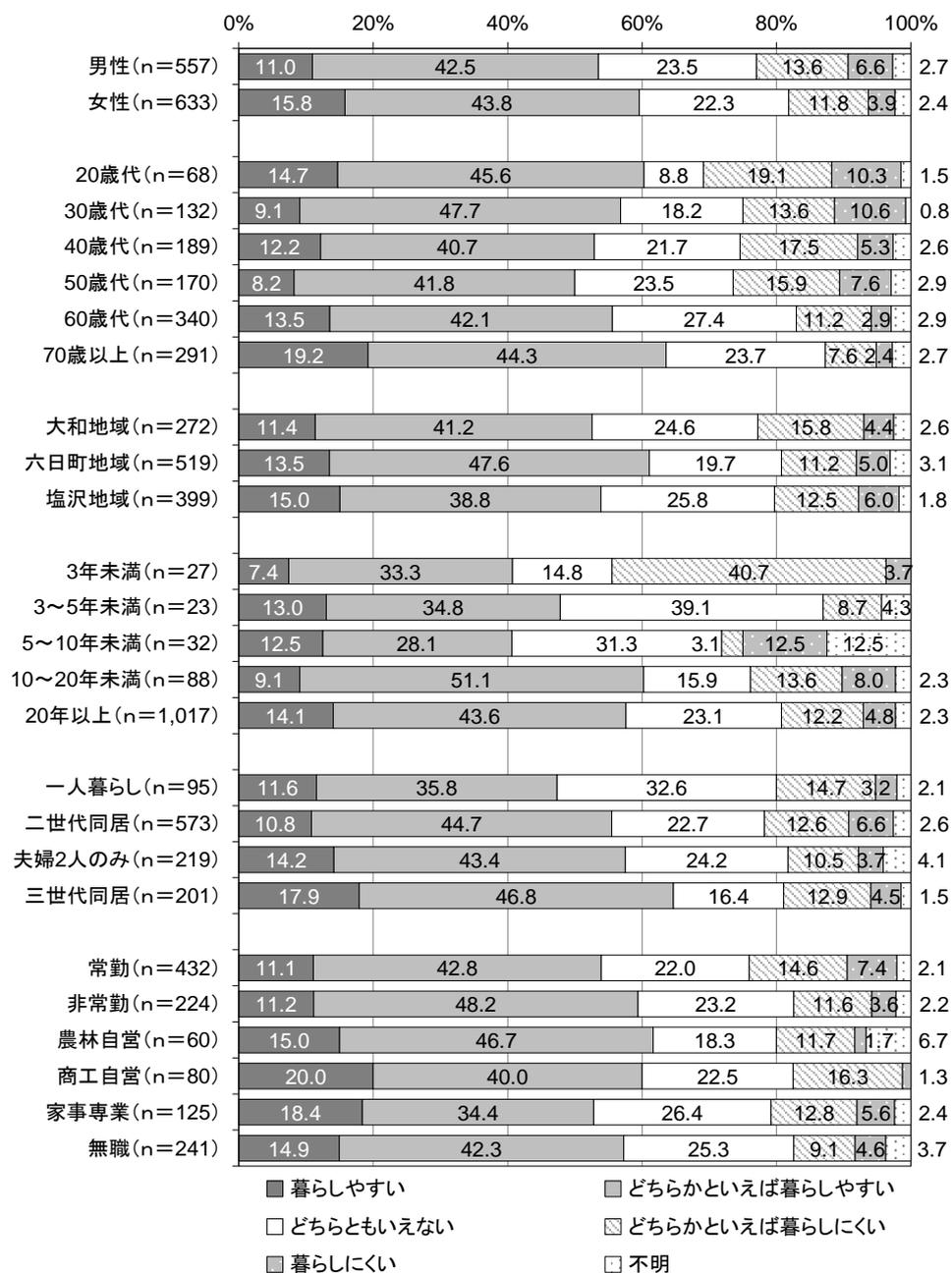
※平成26年は上記の3選択肢で設定

南魚沼市は暮らしやすいと思うか(1つだけ選択)(経年比較)

- 「暮らしやすい」は、女性、20歳代、70歳以上、六日町地域、居住年数10～20年未満、三世代同居、農林自営、商工自営などが比較的高い
- 居住年数3年未満は「どちらかといえば暮らしにくい」が4割以上で最も高い

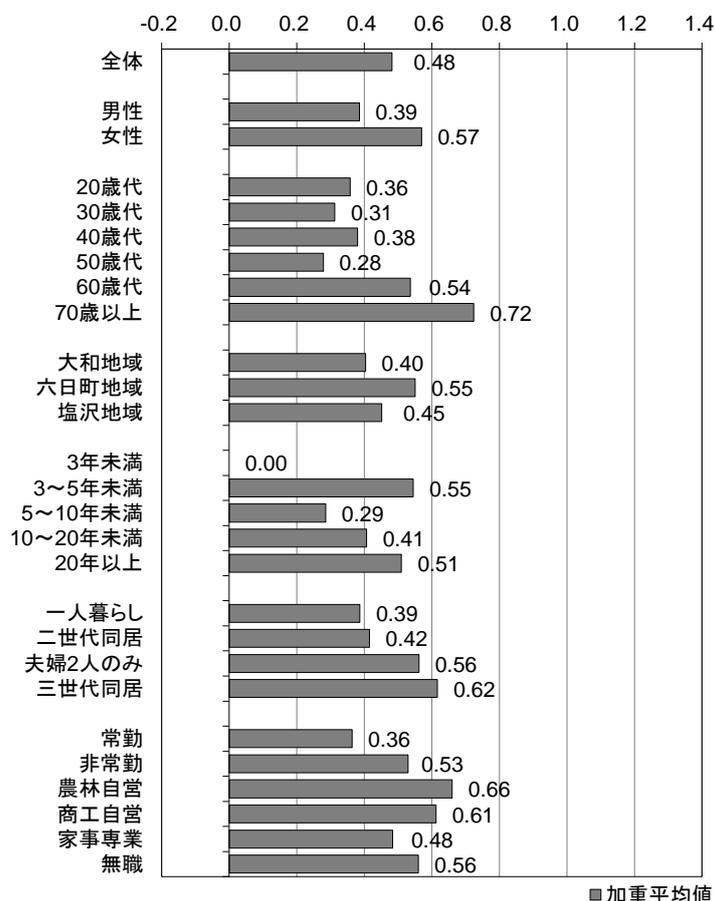
属性別に見ると、居住年数10年未満を除きいずれの属性も「どちらかといえば暮らしやすい」が最も高くなっています。居住年数3年未満は「どちらかといえば暮らしにくい」(40.7%)が4割以上で特に高く、3～5年未満や5～10年未満は「どちらともいえない」(それぞれ39.1%、31.3%)が最も高くなっています。

合計値『暮らしやすい』は、女性（59.6%）、20歳代（60.3%）や70歳以上（63.5%）、六日町地域（61.1%）、居住年数10～20年未満（60.2%）、三世帯同居（64.7%）、農林自営（61.7%）や商工自営（60.0%）などが6割以上で比較的高い一方、居住年数3年未満（40.7%）や5～10年未満（40.6%）が比較的低くなっています。



南魚沼市は暮らしやすいと思うか（属性別）

加重平均値※を見ても同様の傾向となっており、その中で70歳以上（0.72ポイント）が最も高く、次いで三世代同居（0.62ポイント）、農林自営（0.66ポイント）、商工自営（0.61ポイント）などが比較的高くなっています。一方、居住年数3年未満（0.00ポイント）が特に低くなっています。



南魚沼市は暮らしやすいと思うか（属性別 加重平均値）

※加重平均値：「暮らしやすい」に+2点、「どちらかといえば暮らしやすい」に+1点、「どちらともいえない」に0点、「どちらかといえば暮らしにくい」に-1点、「暮らしにくい」に-2点の加重値を与え、「不明」を除く回答者数で平均値を算出したもの。基準値を0として、プラス値の場合は肯定的な評価、マイナス値の場合は否定的な評価といえる

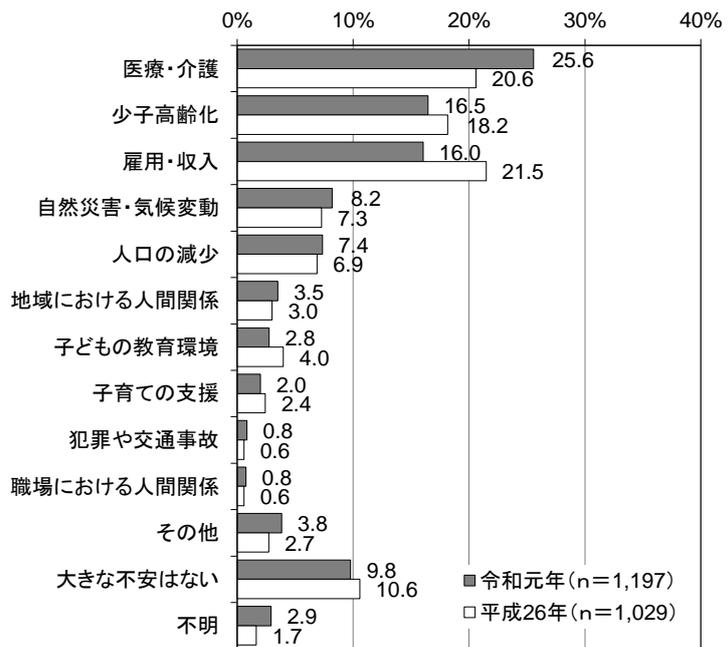
11. 暮らしにくさや不安

問 11 南魚沼市で暮らす上で、暮らしにくさや不安を感じていることがありますか。
(1つだけ選択)

- 「医療・介護」が2割以上、次いで「少子高齢化」「雇用・収入」がそれぞれ1割以上
- 次いで「大きな不安はない」が約1割
- 前回より「医療・介護」は若干高く、「雇用・収入」は若干低い

「医療・介護」(25.6%)が2割以上で最も高く、次いで「少子高齢化」(16.5%)、「雇用・収入」(16.0%)の2項目が1割以上で同程度に高くなっています。一方、「大きな不安はない」(9.8%)は約1割となっています。

前回と比較すると、「医療・介護」(前回20.6%)が5ポイント高い一方、前回最も高い「雇用・収入」(前回21.5%)は5ポイント以上低くなっています。「少子高齢化」「大きな不安はない」は前回から大きな変化は見られません。

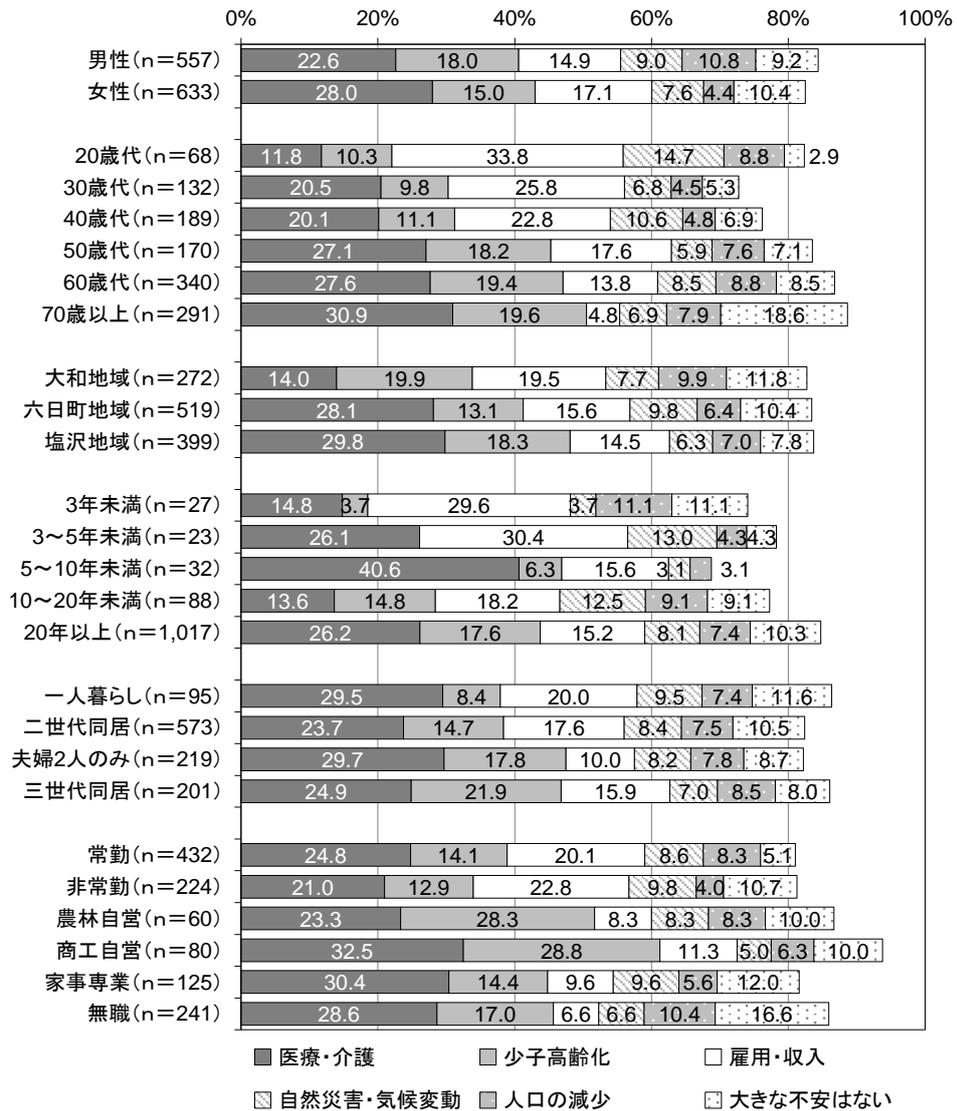


南魚沼市で暮らす上で暮らしにくさや不安を感じていることがあるか (1つだけ選択) (経年比較)

- 属性によって傾向が異なる
- 若い年代ほど「雇用・収入」、高い年代ほど「医療・介護」が高い
- 居住年数5年未満や10～20年未満、非常勤は「雇用・収入」が最も高い
- 六日町・塩沢地域、居住年数5～10年未満、20年以上は「医療・介護」が比較的高い
- 大和地域、農林自営は「少子高齢化」が最も高い

属性別に見ると、性別、家族構成別では、いずれの属性も「医療・介護」が最も高くなっていますが、それ以外の属性では傾向に違いが見られます。

年代別では、40歳代以下は「雇用・収入」、50歳代以上は「医療・介護」が最も高く、若い年代ほど「雇用・収入」、高い年代ほど「医療・介護」が高い傾向がうかがえます。また、地域別では、大和地域は「少子高齢化」(19.9%)、六日町地域、塩沢地域は「医療・介護」(それぞれ28.1%、29.8%)が最も高くなっています。居住年数別では、5年未満や10～20年未満は「雇用・収入」、5～10年未満、20年以上は「医療・介護」が最も高く、その中でも3年未満や3～5年未満は「雇用・収入」(それぞれ29.6%、30.4%)が約3割、5～10年未満は「医療・介護」が4割以上で比較的高くなっています。職業別では、非常勤、農林自営を除き「医療・介護」が最も高く、非常勤は「雇用・収入」(22.8%)、農林自営は「少子高齢化」(28.3%)が最も高くなっています。



南魚沼市で暮らす上で暮らしにくさや不安を感じていることがあるか（属性別）

※全体傾向における上位6項目のみ表示

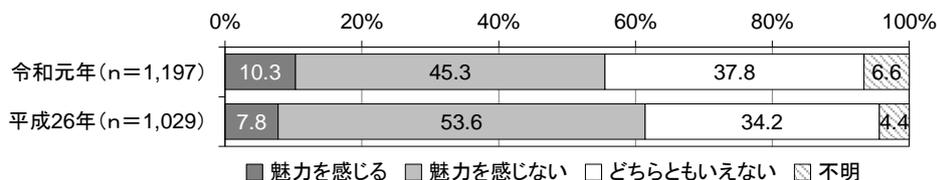
12. 働く環境としての魅力

問 12 働く環境として、南魚沼市に魅力を感じますか。(1つだけ選択)

- 「魅力を感じない」が4割以上、「魅力を感じる」が1割以上
- 「魅力を感じない」は前回より若干低下

「魅力を感じない」(45.3%)が4割以上で最も高く、次いで「どちらともいえない」(37.8%)が約4割、「魅力を感じる」(10.3%)が1割以上となっています。

前回と比較すると、大きな差は見られませんが、「魅力を感じない」(前回53.6%)が約10ポイント低くなる一方、「魅力を感じる」「どちらともいえない」(それぞれ前回7.8%、34.2%)が若干高くなっています。

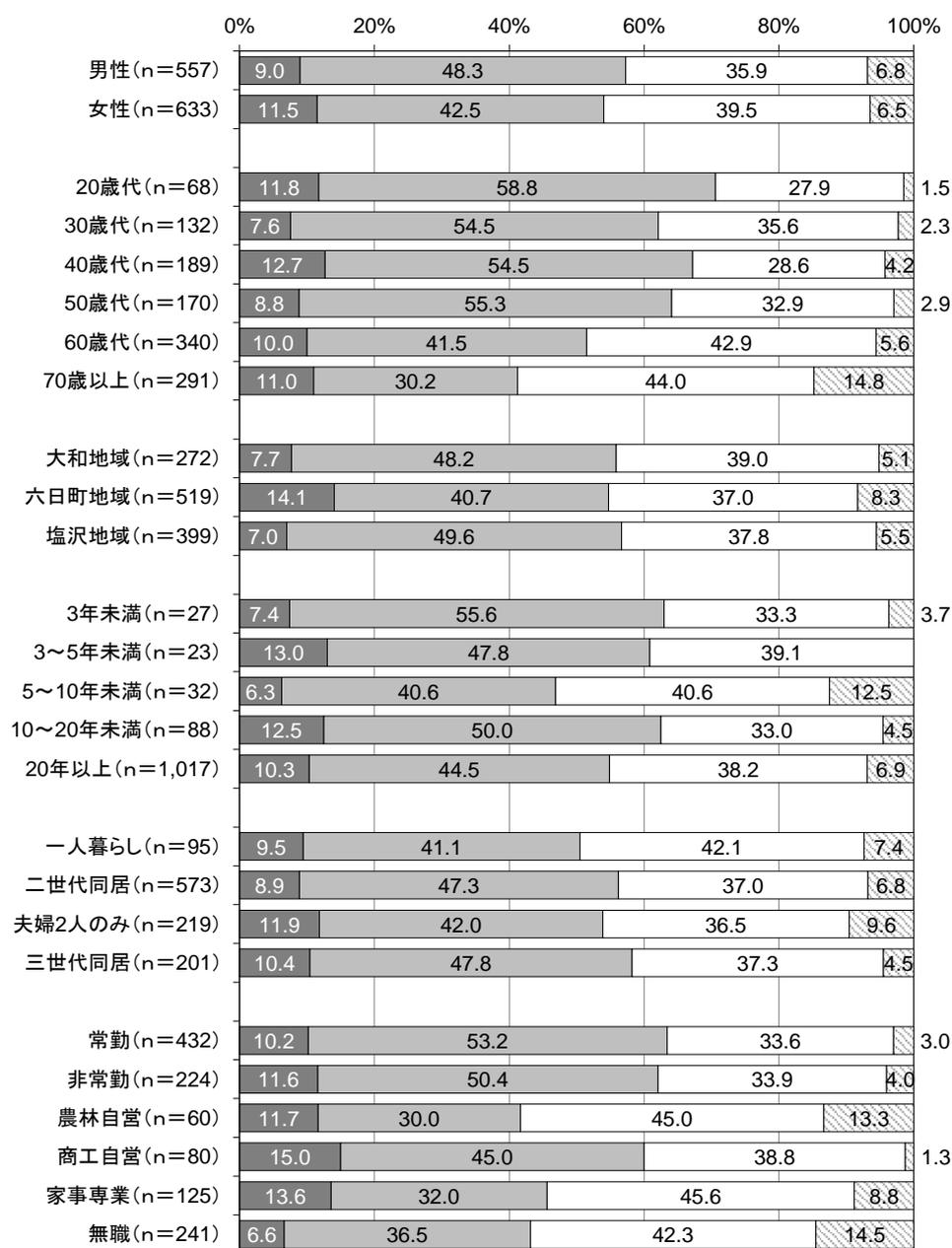


働く環境として南魚沼市に魅力を感じるか (1つだけ選択)

- 多くの属性で「魅力を感じない」が最も高い
- 70歳以上、居住年数5~10年、一人暮らし、農林自営、家事専業、無職は「どちらともいえない」が最も高い

属性別に見ると、70歳以上、一人暮らし、農林自営、家事専業、無職を除きいずれの属性も「魅力を感じない」が最も高くなっています(居住年数5~10年は「どちらともいえない」(40.6%)と同値)。70歳以上、一人暮らし、農林自営、家事専業、無職はいずれも「どちらともいえない」が最も高くなっています。

「魅力を感じる」を見ると、属性による大きな差は見られません。



■ 魅力を感じる □ 魅力を感じない □ どちらともいえない ▨ 不明

働く環境として南魚沼市に魅力を感じるか (属性別)

問 12-1 「魅力を感じる」理由（1つだけ選択）

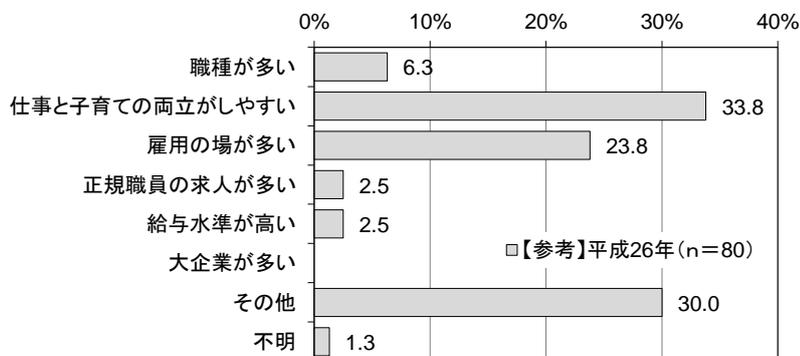
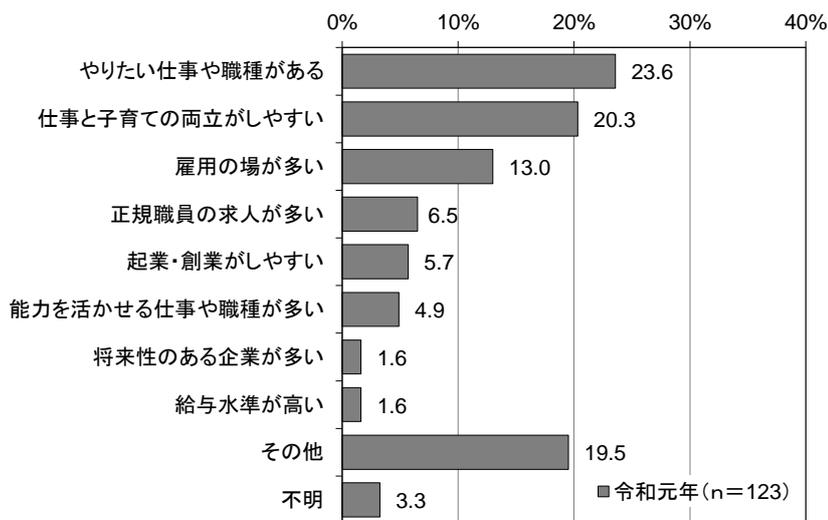
- 「やりたい仕事や職種がある」「仕事と子育ての両立がしやすい」がそれぞれ 2 割以上、次いで「雇用の場が多い」が 1 割以上

先の間 12 で「魅力を感じる」と回答した 123 人にその理由を質問した結果、「やりたい仕事や職種がある」(23.6%)、「仕事と子育ての両立がしやすい」(20.3%) の 2 項目が 2 割以上で同程度に高く、次いで「雇用の場が多い」(13.0%) が 1 割以上となっています。

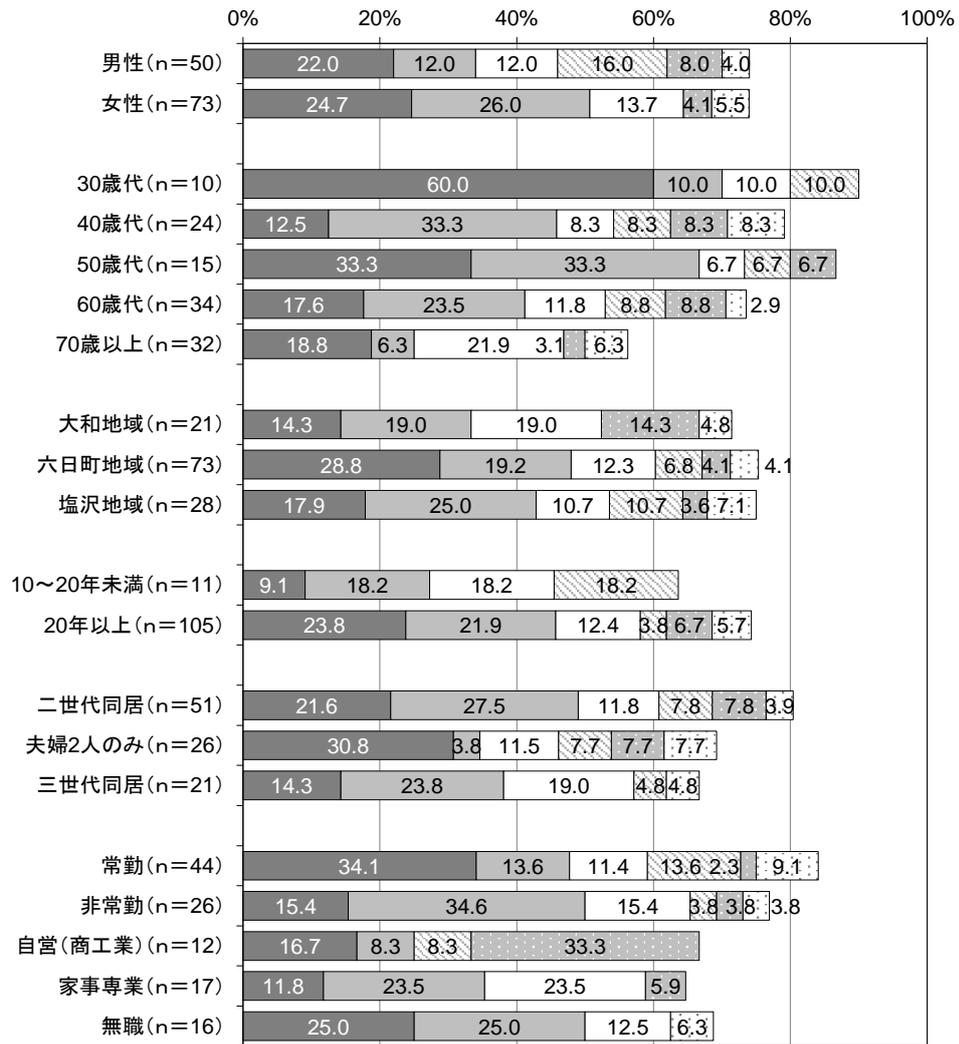
「その他」の具体的内容として、自然環境（4 件）、人間関係（4 件）などに関する記述が複数見られました。

前回とは項目が異なるため、参考として見てみると、「仕事と子育ての両立がしやすい」(前回 33.8%)、「雇用の場が多い」(前回 23.8%) が低くなっています。

属性別については、各属性のサンプル数が少ないため、参考値として表示し、分析は行いません。



働く環境として南魚沼市に魅力を感じる理由（1つだけ選択）（参考：経年比較）



- やりたい仕事や職種がある
- 仕事と子育ての両立がしやすい
- 雇用の場が多い
- ▨ 正規職員の求人が多い
- 起業・創業がしやすい
- ▨ 能力を活かせる仕事や職種が多い

※全体傾向における上位6項目のみ表示

【参考】働く環境として南魚沼市に魅力を感じる理由（属性別）

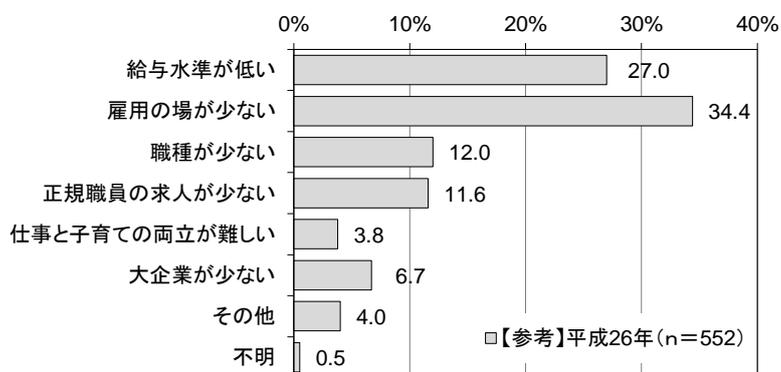
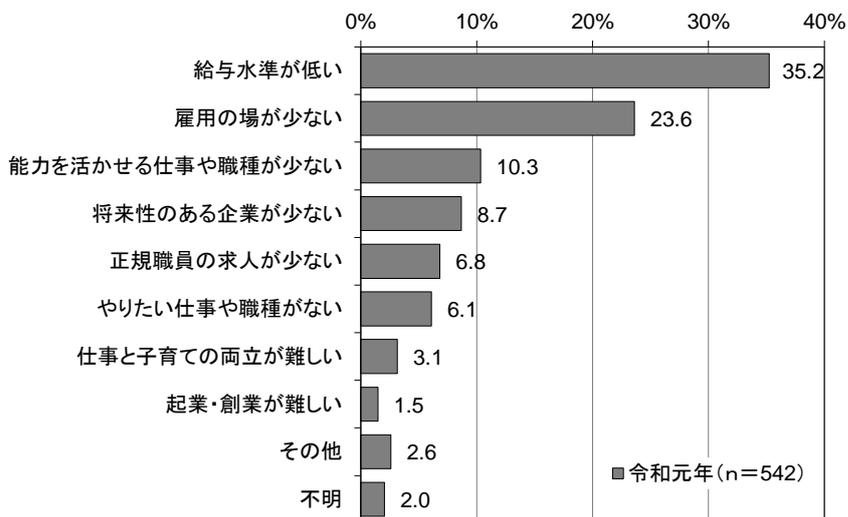
問 12-2 「魅力を感じない」理由（1つだけ選択）

- 「給与水準が低い」が3割以上、次いで「雇用の場が少ない」が2割以上
- 前回と比較して「雇用の場」より「給与水準」に重点を置く傾向

先の間 12 で「魅力を感じない」と回答した 542 人にその理由を質問した結果、「給与水準が低い」（35.2%）が3割以上で最も高く、次いで「雇用の場が少ない」（23.6%）が2割以上となっています。

「その他」の具体的内容として、買い物や交通などの暮らしにくさ（4件）、すべての項目が当てはまる・理由が多すぎる（2件）などに関する記述が複数見られました。

前回とは項目が異なるため、参考として見てみると、「給与水準が低い」（前回 27.0%）が高くなる一方、「雇用の場少ない」（前回 34.4%）が低くなっています。

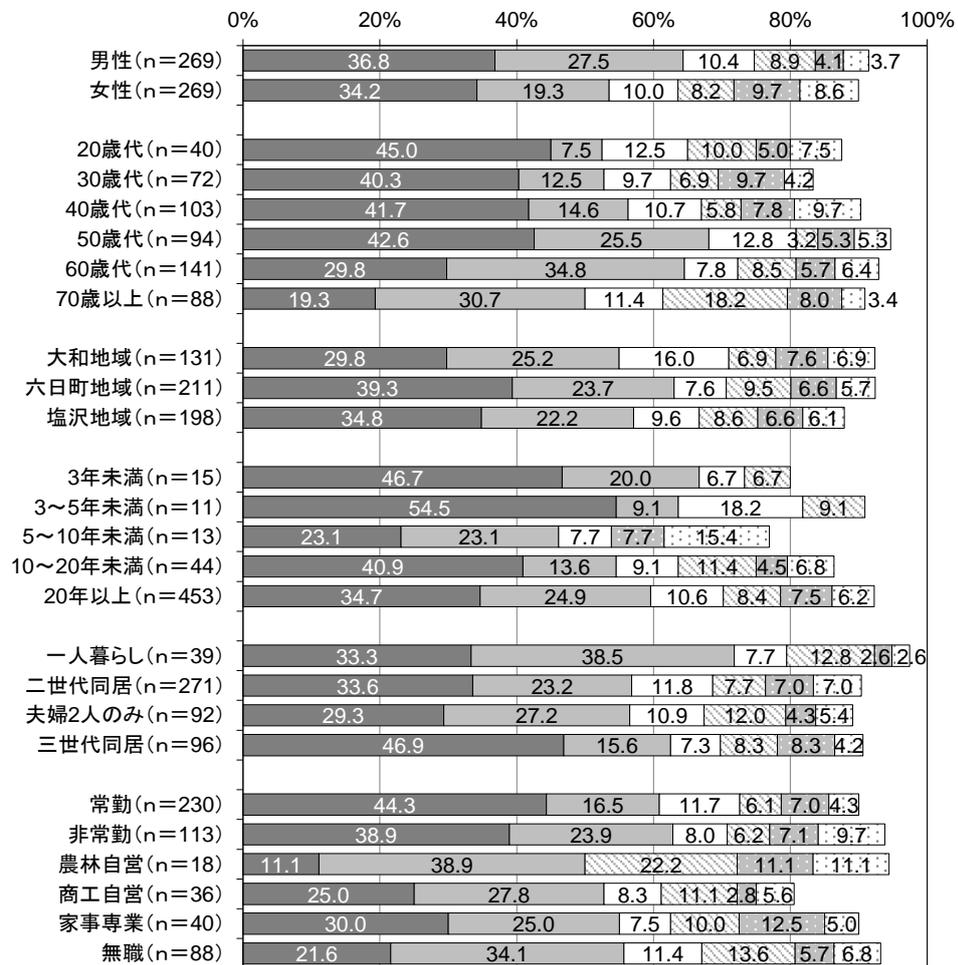


働く環境として南魚沼市に魅力を感じない理由（1つだけ選択）（参考：経年比較）

- 多くの属性で「給与水準が低い」が最も高い
- 60歳以上など、属性によっては「雇用の場が少ない」が最も高い

属性別に見ると、60歳代以上、居住年数5～10年未満、一人暮らし、農林自営、商工自営、無職を除きいずれの属性も「給与水準が低い」が最も高くなっています（居住年数5～10年未満は「雇用の場が少ない」（23.1%）と同値）。60歳代以上、5～10年未満、一人暮らし、農林自営、商工自営、無職はいずれも「雇用の場が少ない」が最も高くなっています。その中でも居住年数3～5年未満は「給与水準が低い」（54.5%）が5割以上、一人暮らしや農林自営は「雇用の場が少ない」（それぞれ38.5%、38.9%）が約4割で比較的高くなっています。

また、居住年数3年未満、5～10年は「仕事と子育ての両立が難しい」（それぞれ13.3%、15.4%）が比較的高くなっています（グラフ非表示）。



- 給与水準が低い
- 雇用の場が少ない
- 能力を活かせる仕事や職種が少ない
- ▨ 将来性のある企業が少ない
- ▨ 正規職員の求人が少ない
- ▨ やりたい仕事や職種がない

※全体傾向における上位6項目のみ表示

働く環境として南魚沼市に魅力を感じない理由（属性別）

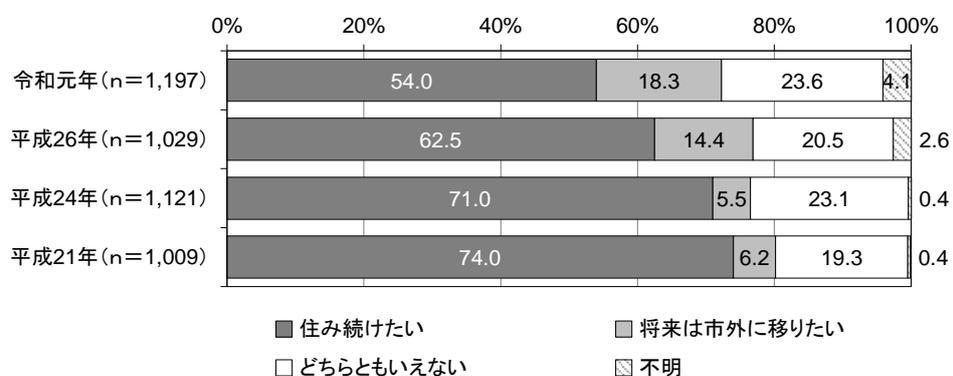
13. 定住意識

問 13 南魚沼市に住み続けたいと思いますか。(1つだけ選択)

- 「住み続けたい」が5割以上、「将来は市外に移りたい」が約2割
- 「住み続けたい」が低くなり、「将来は市外に移りたい」が高くなる傾向

「住み続けたい」(54.0%)が5割以上で最も高く、次いで「どちらともいえない」(23.6%)が2割以上、「将来は市外に移りたい」(18.3%)が約2割となっています。

過去3回の調査とは表現の異なる項目があることを考慮する必要がありますが、「住み続けたい」が低くなる一方、「将来は市外に移りたい」が高くなる傾向がうかがえます。

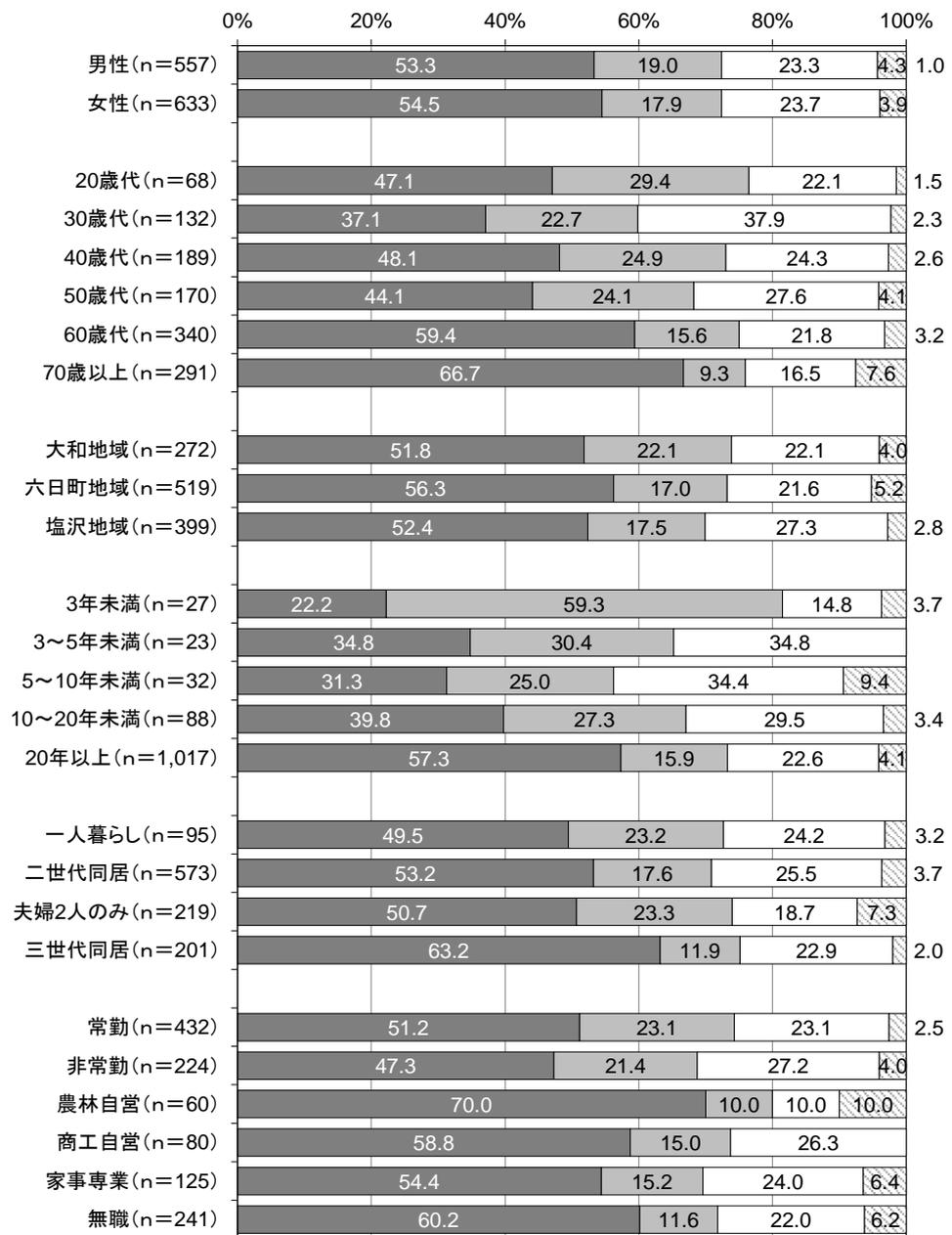


※ 「将来は市外に移りたい」は平成26年までは「南魚沼市外に移りたい」として設定

南魚沼市に住み続けたいと思うか (1つだけ選択) (経年比較)

- ほとんどの属性で「住み続けたい」が最も高い
- 「将来は市外に移りたい」は居住年数3年未満が約6割で特に高く、居住年数が短いほど高い傾向

属性別に見ると、30歳代、居住年数3年未満、5～10年未満を除きいずれの属性も「住み続けたい」が最も高く、特に農林自営(70.0%)は7割以上となっています(居住年数3～5年は「どちらともいえない」(34.8%)と同値)。30歳代、居住年数5～10年未満は「どちらともいえない」(それぞれ37.9%、34.4%)、居住年数3年未満は「将来は市外に移りたい」(59.3%)が最も高くなっています。「将来は市外に移りたい」は居住年数3年未満が約6割で特に高く、概ね居住年数が短いほど高い傾向がうかがえます。



■ 住み続けたい □ 将来は市外に移りたい □ どちらともいえない □ 不明

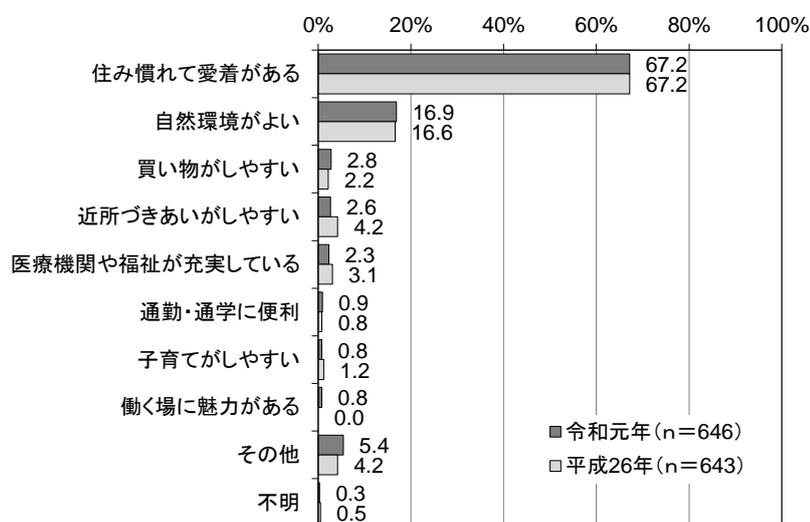
南魚沼市に住み続けたいと思うか (属性別)

問 13-1 「住み続けたい」理由（1つだけ選択）

- 「住み慣れて愛着がある」が約7割、次いで「自然環境がよい」が約2割
- 前回と同様の傾向

先の間 13 で「住み続けたい」と回答した 646 人にその理由を質問した結果、「住み慣れて愛着がある」（67.2%）が約7割で特に高く、次いで「自然環境がよい」（16.9%）が約2割となっています。

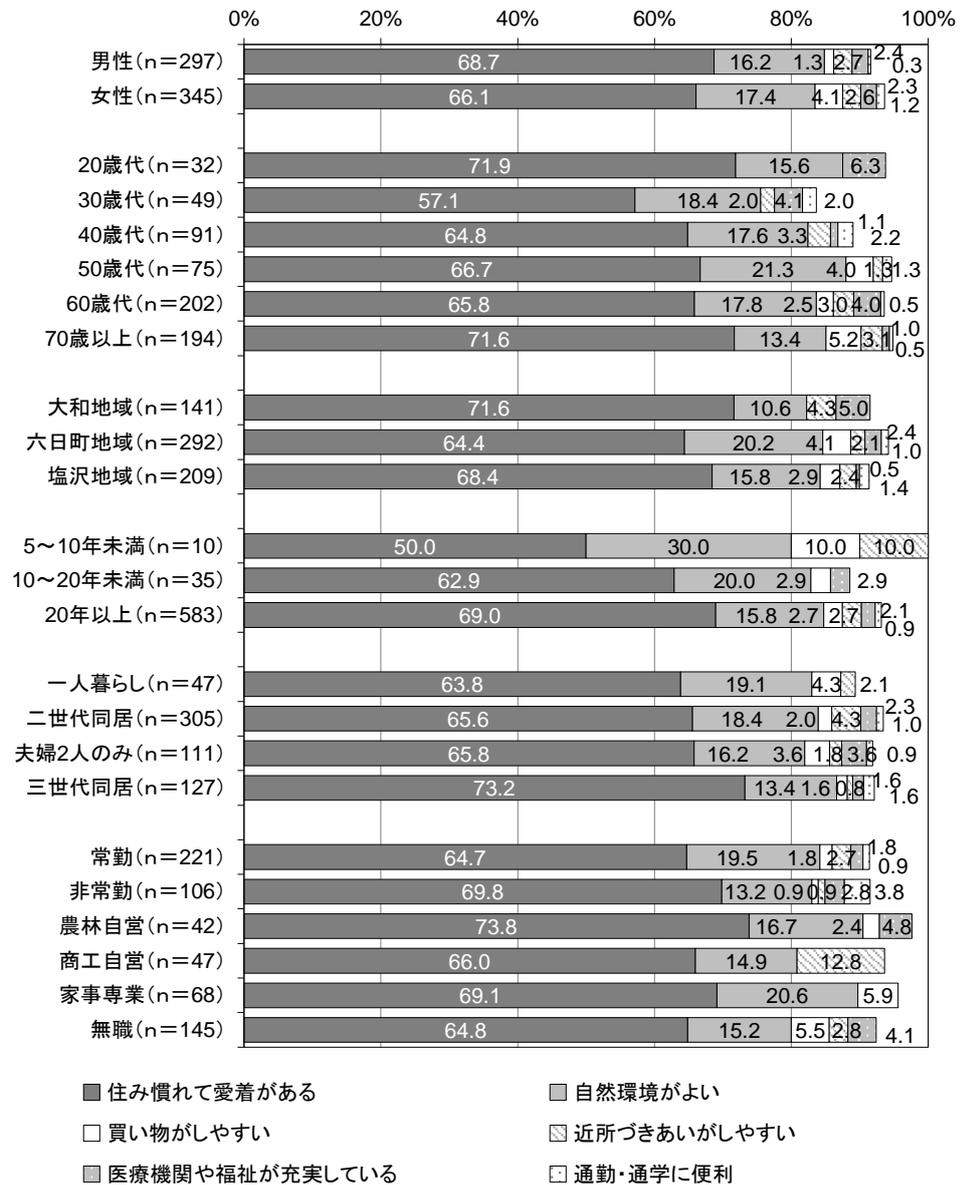
前回と比較すると、同様の傾向となっており、大きな変化は見られません。



「住み続けたい」理由（1つだけ選択）（経年比較）

● すべての属性で「住み慣れて愛着がある」が最も高く、居住年数が長いほど高い傾向

属性別に見ると、すべての属性で「住み慣れて愛着がある」が最も高く、次いで「自然環境がよい」が高くなっています。その中で「住み慣れて愛着がある」は居住年数が長いほど高い傾向がうかがえます。



※全体傾向における上位6項目のみ表示
※n=10未満の属性を除く

「住み続けたい」理由（属性別）

問 13-2 「南魚沼市外に移りたい」理由（1つだけ選択）

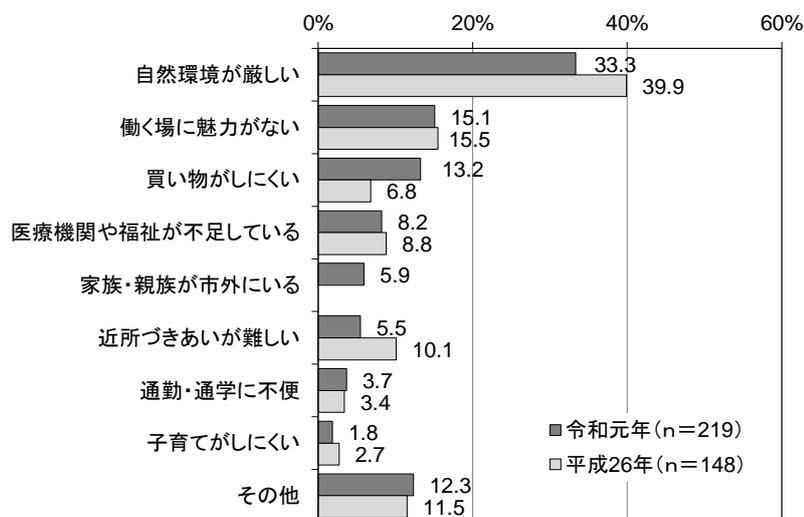
- 「自然環境が厳しい」が3割以上、次いで「働く場に魅力がない」「買い物がしにくい」が1割以上
- 前回から大きな変化は見られない

先の間 13 で「南魚沼市外に移りたい」と回答した 219 人にその理由を質問した結果、「自然環境が厳しい」（33.3%）が3割以上で最も高く、次いで「働く場に魅力がない」（15.1%）、「買い物がしにくい」（13.2%）の2項目がそれぞれ1割以上となっています。

「その他」（12.3%）の具体的内容として、道路・交通（5件）、雪・除雪（4件）などに関する記述が複数見られました。

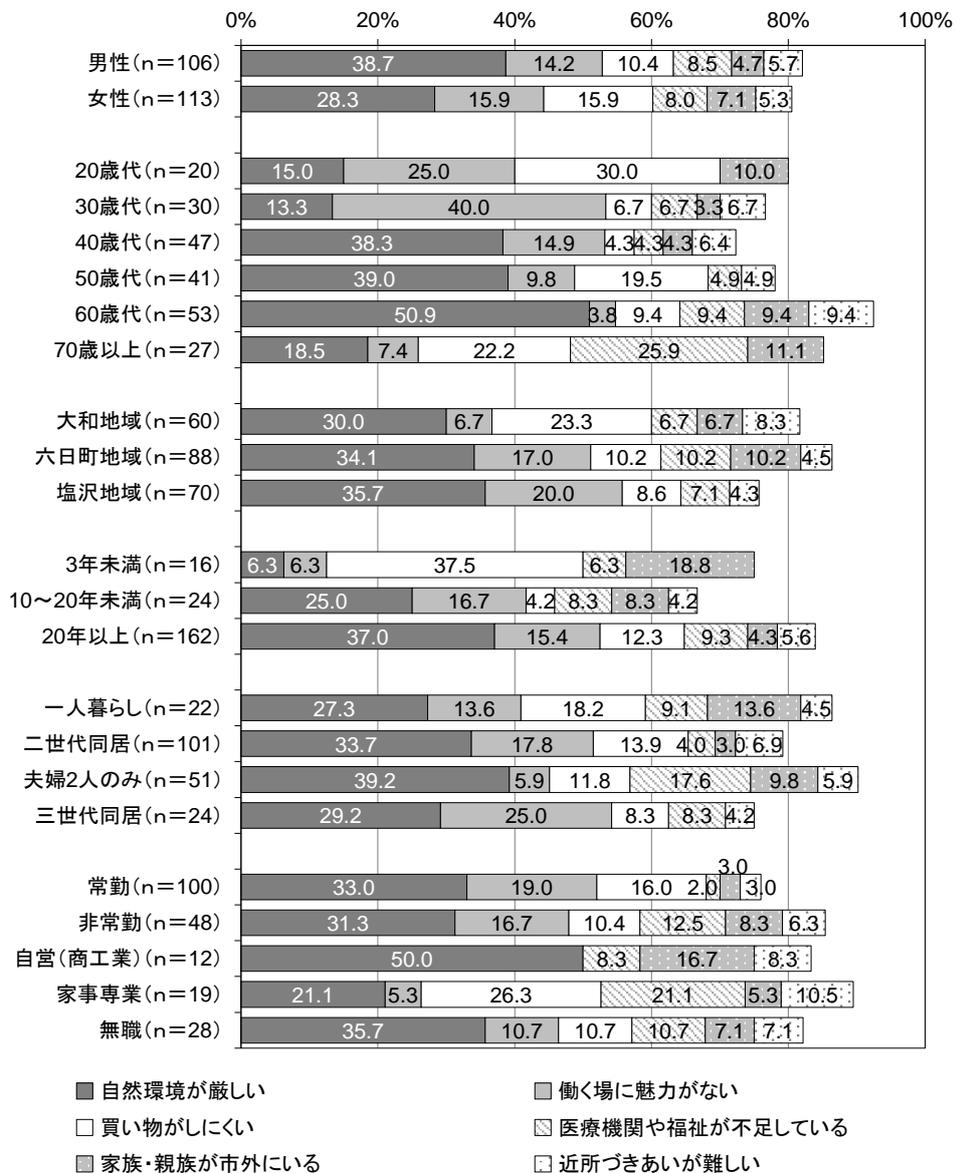
前回と比較すると、同様の傾向となっており、大きな変化は見られませんが、「自然環境が厳しい」（前回 39.9%）や「近所づきあいが難しい」（本調査 5.5%、前回 10.1%）は若干低くなっています。

属性別については、各属性のサンプル数が少ないため、参考値として表示し、分析は行いません。



※「家族・親族が市外にいる」は新規設定

「南魚沼市外に移りたい」理由（1つだけ選択）（経年比較）



※全体傾向における上位6項目のみ表示
 ※n=10未満の属性を除く

【参考】「南魚沼市外に移りたい」理由（属性別）

自由記述—南魚沼市の魅力や誇り／南魚沼市への意見・感想

(1) 南魚沼市の魅力や誇りを「ひと言」で

自由記述として、約730件の「ひと言」が寄せられました。内容を見ると、「自然」や「四季」、「雪」、「米（コシヒカリ）」や「食」「酒」、「人（情・柄）」、「（都心からの）交通の便」などの言葉が比較的多くあげられました。その一方、「特に（魅力や誇りが）ない」を意味する内容も複数見られました。それらの中から、主なものを掲載します。

◆自然、四季、雪

- ・一年を通して自然豊か。四季がはっきりしていること
- ・きれいな水と田園風景
- ・素晴らしい自然と温かい人々
- ・ちょうど良い自然とそれなりの街並み
- ・とにかく自然がよい
- ・まわりの山々が美しいこと
- ・良くも悪くも自然がいっぱい
- ・環境がよく、生活しやすい
- ・魚野川、坂戸山、銭淵公園
- ・恵まれた自然環境とそこで育まれる農産物
- ・景観の美しさ
- ・景色がきれいであること
- ・山、温泉
- ・山、川、雪など自然が豊富にあり、人が生きていく基本の農業が盛んで、素朴で実直な人が多い田舎まち
- ・山、川、田、畑など素晴らしいところです。私は誇りに思います
- ・山、川、田んぼがキラキラしている美しい自然
- ・山、川、緑、雪、大自然
- ・山、川の自然があり、コメがおいしい
- ・山、米、雪
- ・山・川・稲作。自然とともに心豊かな人が多いこと
- ・山・川・町が目の前に広がってる
- ・山あり、川あり、緑との自然の中で暮らし続けたい
- ・山がきれい
- ・山と川、自然を大事にする市政
- ・金城山、巻機山、八海山、西山、魚野川の自然
- ・はっきりした四季
- ・自然豊かな環境（八海山、コシヒカリ、八色スイカ）
- ・夏は緑に囲まれ、冬は雪に囲まれる。不便なところもあるけれど空気はいつもきれいなところ
- ・季節に色がある
- ・四季（春夏秋冬）がはっきりしていて住みやすい
- ・四季おりおりの自然、人のやさしさ
- ・四季があり季節それぞれに楽しみや喜び、時々苦しみもありますが五感を刺激して感じることができる
- ・四季があり、自然環境が良く、毎日美味しい御飯を食べることができる
- ・四季があり自然豊か、人が良い
- ・四季があり、八海山、神社など地域環境で素晴らしいものが多い
- ・四季がきれいなところと美味しい米
- ・四季がはっきりし、空気がいい、人も良い
- ・四季がはっきりして住みやすい
- ・克雪
- ・雪（魅力であり負担である）
- ・雪害があるが、その他ではバランスの取れた住みやすい自治体だと思います
- ・大雪にならなければとても住みやすいです
- ・都心から近い雪国
- ◆米（コシヒカリ）、食、酒
- ・おいしいお米
- ・お米がおいしく、空気がきれいなところ
- ・お米が最高
- ・お米とお酒
- ・お米や野菜がおいしい
- ・コシヒカリ（南魚沼米）
- ・コシヒカリなど農業
- ・コシヒカリ本当においしい
- ・ご飯がおいしい
- ・ブランド米が有名、お酒がうまい
- ・魚沼産コシヒカリ
- ・おいしいものがいっぱい
- ・ブランド作物の誇りと地域を支える人々の努力
- ・山菜採り
- ・自然がもたらす恵み（米、野菜、果物等）
- ・食と水
- ・食の充実
- ・食べ物が美味しく、のんびり暮らせる
- ・食文化
- ・水・酒・米良し
- ・水が良いので食事がおいしい
- ・農業の豊かさ
- ・良好な食材がある
- ◆人（情・柄）
- ・やさしさ、思いやり
- ・我慢強い人が育つ
- ・我慢強さ
- ・みんな知り合いのような人が多い
- ・近所づきあいがとっても良い
- ・近所のつきあいを大切にしているところ
- ・行政区間に昔からの顔なじみが多く心強いと思う
- ・困っている人にやさしい
- ・市民の人柄が良い、安心して付き合える
- ・周りの人達のやさしさ
- ・純真さ、世間知らず

- ・住んでる地区でなくても話がしやすい
- ・心からの親切心と恵まれた自然
- ・人、米、水が最高だと思いたい
- ・人が温かい、人と人とのつながりがある（温かさ）

◆（都心からの）交通の便

- ・360度山に囲まれているけど、交通の便が良い、自然豊かな南魚沼市
- ・アクセスの便利さ、自然の豊かなところ
- ・インターがあるので便利
- ・関東方面へのアクセスが良い
- ・交通の便がよい
- ・交通の便利なところ（電車、道路）
- ・首都圏に近い観光地
- ・首都圏に近い便利さと自然の豊かさが共存している
- ・首都圏に近く自然に恵まれている
- ・都市圏とのアクセスの良さやIUJなど教育環境の良さ
- ・東京へのアクセスが楽

◆安全・安心

- ・安心、安全、便利で住みたくなるまち
- ・安心して住めるところ
- ・安心で安全でみんなが法律を守る。自転車屋が車ごと突っ込んでくる者はいないと話していた
- ・健康でいれば災害もなく住めば都だと思います
- ・災害（水害台風が少ない）
- ・災害が少ない
- ・治安が良い
- ・自然災害が少なくて良いところだ。台風なし、水害なし、水不足なし、津波なし
- ・自然災害が少なく、出かけやすく森林浴にも行ける
- ・住みやすい、災害も少ない
- ・雪は多いけど、夏の台風など災害が少ない
- ・大きな自然災害がないこと
- ・犯罪が少なく安心して住めること
- ・平和
- ・暮らし安心第一
- ・緑が多く自然災害が比較的少ない

◆その他

- ・そこそこ田舎、他に出てゆきやすい（遊び、仕事）
- ・ちょうど良い田舎
- ・ほどよい田舎
- ・ちょっと都会な田舎。田舎過ぎない田舎
- ・のどかでいいところ
- ・素朴
- ・都会に近い田舎である
- ・都会過ぎず、田舎過ぎずちょうど良い
- ・東京に近い田舎
- ・美しいふるさと
- ・子を育て、人が活きる南魚沼
- ・子育てしやすい環境
- ・子育て支援が手厚い
- ・子どもを育てる環境はいいが、子育て世代の母親の仕事の選択肢がない
- ・子ども達を育てやすい環境
- ・自然豊かで子育てしやすいまち
- ・地域が家族。みんなで見守り、育て、支え合う
- ・妊婦、子育て世代にやさしい
- ・地域それぞれ魅力があり、それを発信していることが素晴らしい
- ・地域のつながりがあり、自然環境に優れている
- ・地域の特色を活かしたイベントなどが多い
- ・地域の絆
- ・まちおこしに一生懸命
- ・市民の考えが伝わりやすい
- ・リゾート施設が充実している（スキー場等）
- ・冬はスキー、春は山菜、大原運動公園内のスポーツ、米はコシヒカリ
- ・舞子にグラウンドができたこと
- ・穏やか
- ・静か
- ・伝統を守っているところ
- ・歩み
- ・歴史、文化
- ・坂戸城があること（景勝）
- ・天地人
- ・越後上布（織りの着物）
- ・「いい所でないかて」です。いい所

ですという意味。こちら辺の方言です

- ・今のところは買い物と通勤しやすいが年を取ると難しい
- ・大型店が多い。買い物に便利
- ・国際大学
- ・あらかたバランス良く小ぎれいにまとまっている
- ・居心地は良いよ（冬はちょっと大変だけど）
- ・高齢、障がい者にやさしく若者の雇用体制が良いまち
- ・最近市に活気が出てきた気がする
- ・思いのほか良いまちです
- ・住むのにちょうど良い
- ・住めば都です
- ・人が住んでみたいと思わせる総合力
- ・人口が少ないことで生まれる空間の広がりが一番の魅力です
- ・生活しやすい
- ・生活に必要な施設が最低限そろっている
- ・地方ではまだましな方だ
- ・都市生活の利便性が必要充分にありかつ自然も近くにあること
- ・独立独歩
- ・発展しないところ
- ・非常に残念な弱小地方の市
- ・保健医療、教育・文化、農林・観光振興の調和のとれた誇るべき市である
- ・魅力はいっぱいあります。ひと言では書けません。
- ・市長が元気でいい
- ・市長が良い
- ・将来に向かって前向きな行政

◆特に（魅力や誇りが）ない

- ・ありません
- ・すみませんがありません
- ・永年居住しても魅力は感じない
- ・何もありません
- ・魅力はない
- ・魅力も誇りも特にないと思う
- ・魅力や誇りははないと思う
- ・無

(2) 南魚沼市への意見・感想

自由記述として、550 件以上の意見・感想が寄せられました。その中から、主なものを市民の生の声として掲載します。

◆市政全般

- ・公平、公正な市政、市民のことを第一に考える市政[60 歳代 男性]
 - ・現状で満足しております。[60 歳代 男性]
 - ・これからの時代、少子高齢化、南魚沼市も様々な問題があり大変かと思いますが、市民が暮らしやすい政策や取組を相続して行っていただきたいと思います。[50 歳代 女性]
 - ・地道に市民が住みやすい市にしてもらいたいです。[60 歳代 女性]
 - ・行政すべての機関における同一の目標に対する意識と統一。全員がまず何を大切にしなければならないのか年代を問わない人材育成と和の構築。[40 歳代 男性]
 - ・南魚沼市らしい(都会に染みない)ゆったりと生活できるような未来の子ども達にも暮らしやすい行政。[60 歳代 女性]
 - ・まだ生活を始めたばかりで市政の詳しいことは分かりませんが、六日町圏内にはスーパーなど必要最低限の生活に必要な施設が近隣にあるので不自由は感じません。まちなかに温泉街がある、坂戸山などすぐに触れられる自然が近くにあることなど魅力も多いまちだと思います。[30 歳代 女性]
 - ・市長をはじめ職員の皆さんが頑張ってくれたら私達市民も頑張る、張り合いが持てるのではないのでしょうか。どうか皆さんで、新潟県で 1 番の南魚沼市をつくり上げてください。市民が期待をして応援しています。[年代不明 性別不明]
 - ・市政に興味を持っていない者の意見ですが、資料を見て思ったのが、何をやっているのか分かりにく過ぎる。様々なジャンルがあり、関わっている人にしか分からないような内容だと思う。すべてを分かる必要はないと思うが、「これ」というものがあって分かりやすい。南魚沼市といえば「これ」というものを市民間での共通項目にする。ひとつのことに全市民で向かっていく。そこに一体感が生まれる。あれこれやるよりもまずは「意識を変える」、そのため何かをやる。皆の意識が統一されれば後は何をやってもうまくいく。政治は難しいから興味がない。もっとシンプルに分かりやすく、小学生でも分かるくらいシンプルに。例えば、完全無農薬のまち「南魚沼市」、子どもとお年寄りが世界一仲良しのまち「南魚沼市」、お年寄りが世界一元気なまち「南魚沼市」。若者の起業率 NO.1「南魚沼市」、こんな感じで決めてしまう。[30 歳代 男性]
 - ・南魚沼市は比較的災害が少なく良い所だと思います。これからも明るく皆が住みやすい市であるように願っています。[70 歳以上 女性]
 - ・市はよくやっていると思う。でも静かで子どもの声も聞こえない。人的交流が少なく笑うこともない。[70 歳以上 男性]
 - ・長所を生かした PR をもっと鮮明に打ち出した方が良
- いのではないのでしょうか。[70 歳以上 女性]
 - ・人が穏やかで暮らしやすいと思うが、その分メリハリがない。創造性に欠けていると思う。[70 歳以上 女性]
 - ・これからどんどん高齢化が進むと、ひとり暮らしの老人宅が増えると思う。町(市街地)から離れていても近所に家が少なくても安心して生活できるような環境づくりを望みます(買い物、病院、除雪作業)。[20 歳代 男性]
 - ・今後の市政の充実を期待しています。[50 歳代 男性]
 - ・結婚してこの地方に来て 50 年。家庭を守りどこへも行かず人並みに何となく生きてきたと言うことは、たぶん私にとっていろいろな面で縁があって住んで来た場所だと今思いました。南魚沼市はとても良い所です。[70 歳以上 女性]
 - ・他の自治体と比較することなく、地方自治体としてバランスが取れていると思いますので、雪さえ六日町地方だと言われるような独自路線を築いてほしい。雪に生れ雪に育ちて雪に逝くされどいくつか煌めきもあり死に様まで誇れる南魚沼市の発展を心から祈っております。[70 歳以上 女性]
 - ・ありがたいことに、これまで特別困ることなく生活できております。これも、市政のおかげで南魚沼市が住みやすい場所になっていることが理由の一つと思います。年齢を重ねていく上で気持ちの変化があるかもしれませんが、今はこの地にずっといたいと思います。あと数年で子どもが進路選択の時期を迎えます。子ども達にとっても魅力あるまちとなり、雇用充実が図られることを望みます。市政への関心をこの機会にもう少し深めたいと思います。頑張ってください。[40 歳代 女性]
 - ・いつも市民のために働いていただきありがとうございます。大変なことと思いますがこれからもよろしくお願いたします。[50 歳代 女性]
 - ・結婚で神奈川県川崎市から南魚沼市に住んで 40 年になります。住めば都ですね。子どもや孫達のためにも地域づくりよろしくお願いします。[60 歳代 女性]
 - ・塩沢、六日町、大和を比べると何となく六日町は寂しい感じがする。何がと言われるとはっきりとこれがと言うことは言えないけれど。[70 歳以上 女性]
 - ・ガラス張りで特定の人だけ付度するのではなく、市民全体に付度してください。[60 歳代 男性]
 - ・仕事の関係で他地域へ。将来は移住するが残る親世代が南魚沼で安心して暮らせるようになってほしい。生涯の生きがいを感じられる文化的なこと。医療環境(医師が少ない)、交通問題(車が運転できなくなればどうするのか)、買い物難民。[20 歳代 女性]
 - ・未来が見える南魚沼市に。[50 歳代 男性]
 - ・全国のどの地域もまねのできない独自性を発揮してほしい。常に大胆、斬新な発想であり、かつ根本的でツボを押さえた行動を勇気をもって実行してほしい。村社会(閉鎖的な)を脱却し、開放的で活気のある、多様性を許し、互いを活かし合う、国際性あふれる自治体、日

本で最も先進的だと言われるようなまちになってほしい。[40歳代 男性]

- ・行財政改革、市民参画と何々事業費の増加、少子高齢化になりつつあります。シニア活用もあるでしょう。労働環境悪化でしょう。役場が政治論争を忘れ「お上」意識の裏返しでは。[70歳以上 男性]

◆保健・医療・福祉

- ・私は個人的に自立支援制度を1年ほど前に活用させていただいておりますが、病気になったばかりの時は意味が分からず加入しないまま十数年通常の料金を支払ってまいりました。そういったことが無いような方向へ進んで行ってくれたらと思うことがあります。[30歳代 女性]
- ・生活に欠かせない水なのに水道水の高さは生活が苦しい方につながり、南魚沼で生活していきたいかと聞かれれば応答に困る。医療費の助成金(子ども)はありがたい助かりますが、通院費を18歳までに延ばしてもらいたい。高校生になってもお金がかかることが多いのに、病院費でもかかるのは大変。以前から思っていました。長岡市にあるような献血ルームをつくってほしい。献血したいと思った時に長岡まで行くのが大変なのと、北里大学の専門学生もいる中で献血に協力してくれる若手もいると思う。浦佐あたりにつくってもらえるとニーズはあるのではないかと思います。[30歳代 女性]
- ・老人ホーム等(私立も含め)どこも満員でなかなか入居できないと伺っております。後期高齢者の将来が非常に不安です。ぜひ対策に力を入れていただきたいと思えます。[60歳代 男性]
- ・塩沢、六日町方面ばかりよくなっている気がする。大和方面もどうにかしてほしい。基幹病院ができて不便になった。年寄りが多いのだから少しは大和病院の縮小を緩和してほしい。病院(六日町)まで連れていくのは大変だ。[50歳代 女性]
- ・若者や引きこもり、ニート、障がいのある人が地域や社会の中で自分らしく過ごしたり、活動したり、働ける場がない。認知度が低い。家の中で引きこもったり社会に参加できずに苦しんでいても支援の場や理解者が少なく、本人や家族だけ苦しい生活をしていると思う。高齢者や子どもだけでなく、障害のある人や悩みのある人もみんなが生きやすい南魚沼市になってほしい。福祉をもっと充実させて。働く場、働きやすい仕事をもっと増やしてほしい。[30歳代 女性]
- ・子育ての環境の充実への取組は、ほのぼのの広場が新しく子どもが楽しく過ごせるようになって助かります。公園なども増えたらうれしいです。遊具が充実していたり、動物などいたら触れ合う機会ができて楽しそうです。医療体制について、まず産婦人科が減り残念です。病院まで通うのに時間がかかるので少し大変です。病院は新しくなりましたが、先生や看護師の数が足りていないので、予約も先になってしまうところがあります。若い人達にとってやはり娯楽施設も少なく、人手不足のところには働きたくないのかなと思います。これから若い世代が輝けるまちづくりを期待しています。[30歳代 女性]
- ・六日町の街頭にあるキャラクター像を撤去してください。何の意味も必要性も感じないし、邪魔。水道料金を安くしてほしい。子どもを外で遊ばせられる広い場所がない。子どもの部活動の大会ができる施設がない。くだらない野球場ばかり市内にあるので、どれか潰してきちんとしたものをつくるべき。市民は自分の住む地域にお金を落とせないし、観光客もそれほど呼べているとは思わない。次の時代を担う人間を軽んじ過ぎていると思う。子どもや若者を大事にできないのに老人福祉もへったくれもないと思う。[40歳代 女性]
- ・雪資源活用事業費が莫大かつ赤字であるならば、その費用を子育て支援や保育士不足解消などに回してほしいです。例えば雪室をPRしても雪室の大きな施設がなければ観光誘致につながると思えません。雪の運搬よりも雪室でつくったお酒や魚沼産コシヒカリ、八色スイカを運搬し、現地の人に食べてもらい、南魚沼市の魅力を全面にPRする方が観光誘致につながると思います。移住を考えている若い夫婦を応援する環境を整えてほしいです。都会に比べ南魚沼市は出産をしても実家の両親に子どもを預け働ける環境や高齢者が生き生きと働き、地域活動に積極的な方が多いと感じていますが、市外に親族がいる夫婦にとってはとても厳しい環境だと思います。私も実際子どもを持ちたいと考えてはいますが、出産や子育ては実家のある市外に帰ろうと思っています。元気な高齢者の方々に子育て支援をしていただいたり、保育園に預けても病児保育まで一貫して預けられる体制があれば、夫婦二人何とか働き、子育てをし、子どもが成人しても生まれ育った南魚沼にUターンしたいと思えるまちづくりをお願いします。[20歳代 女性]
- ・保育料が高い。未満児のため無償化ではない。共働きしないと生活もできないため、共働きしているが、保育料を一月分払っても子どもが風邪等で長期休んでも一か月の金額は変わらず、親のどちらかは同じだけ休み、職場にも穴をあけ収入も減る。魚沼市の二人目以降未満児でも無償化はとても良いと思う。こども園の延長保育の時間も昨年より厳しくなった。仕事の残業は全く変わってないが、定時の就労証明と残業があることの証明を出した結果、定時が何時だからと赤字で訂正されて戻ってきたり。子育ての充実が得られなければ、少子化も移住率も減少すると思う。[30歳代 男性]
- ・子どもは成長する際、いじめ心は必ず発生する。これを前提にして子どもの成長を観察する必要がある。いじめは無くそうとしても無くならない。いじめ心の発生を早期に発見し、早めに理性的に克服する手法を身に付けるよう導いてやるのが大切と考える。その理由は、人間は動物であり、生存競争を勝ち抜くためのDNAがしっかりと引継がれていることによる。いじめ心が発生した時、単なる動物から人間に成長するための大切なステップと捉えるべきと考える。林業資材が無駄に眠っている。活用する方策を見出してもらいたいと思っている。[70歳以上 男性]
- ・出産、小児科の病院が少なすぎる。小児の入院はほとんどできない。こんなのでは出産、子育ての不安は増すばかりである。[60歳代 女性]
- ・冬期はスキー場にて作業しておりますが、土日は整形外科の医師が勤務しておらず(病院に)、毎年のようにお客様に怒られ嫌味を言われる。お客様の地元に戻ってからの受診をすすめている。[50歳代 男性]
- ・児童扶養手当が少ないです。全額支給を最低ラインとし、収入の少ない人にはプラスしてほしいです。子どもが成長するにつれお金がかかる、出費は増える、それに対し仕事はない、手当も少ない、生活できません。[40歳代 女性]

- ・子育てにもっと目を向けてほしい。全医療費を無料にしてほしい。[30歳代 男性]
 - ・基幹病院への不安、魅力的なまちづくりをしてほしい。[50歳代 女性]
 - ・子ども医療を小学校から高校生までにしてほしい。魚沼市は高校生まで助成があるのに、南魚沼市は中学生までなのか。心と体の不安定な時期は中学生より高校生だと思います。早期発見部分でも助成制度は一番効果があると思います。[40歳代 女性]
 - ・市の財政健全化は順調に進んでいる様子で大変ありがたいことだと思っておりますが、高齢者にとりましてはこれからの自分がお世話になるかもしれない介護施設や医療施設は十分だろうかと心配です。誰もが安心して高齢を迎えられる市にしていきたいと願っています。[70歳以上 男性]
 - ・南魚沼市民病院に医師を増員してもらいたい。いつでも診察できる体制を整えてほしい。現状は毎日やる科がない。[50歳代 男性]
 - ・保健師さんはパソコンばかり向かっていないで各地域巡回指導をするようにしてほしい。お会いするのは検診時だけでは物足りない。[70歳以上 男性]
 - ・保育園や学童保育への入学、入園を規制しないでほしい。必要だから申込みをしているのに、なぜ入学できないのでしょうか。1年生を1人で家に置かなければいけない状況です。[40歳代 女性]
 - ・子育てがもっとしやすい環境であってほしい。[20歳代 女性]
 - ・子どもを抱えている母親として、フルタイムで働き、家事、子育てを両立するために日々悩んでいます。周りに相談しながら頑張っています。どの職業も人手不足だと感じ、子どもを育てる大切さ、地域に残って働こうと思える南魚沼市になるといいと感じます。働くことが難しく感じて社会に出ていない成人の方もいると思います。その方達が社会に出れる支援もとても大切だと思います。[30歳代 女性]
 - ・私の子ども達つまり次の世代が都会より田舎で過ごし、または暮らして子どもを育てたいなと思ってもらえる地域になってもらいたいです。収入が少し減っても共稼ぎで子ども達を育てるくらいの収入や仕事があれば六日町に帰ってくるのでは。若い世代が戻って来たい魅力的な地域にならないかと考えます。現在は田舎とは言っても親世代とは暮らさない子ども夫婦が増えています。なので少し昔に戻ってパパ達の職場は住宅手当や扶養手当を少し増やす（子どもの年齢制限を設けて）。そしてママ達もゆっくり子育てをできるような、例えば育児を1.5年ぐらいとれるとか、市が補助金を企業に出すとか。南魚沼特有の制度をつくる。子育てしやすければ人口増加につながるのではないかと。若い世代はお金がないのでいろいろな面で助けなければ教育的にも都会にどんどん劣っていくような気がする。美しい故郷で子育てしたい。[60歳代 女性]
 - ・市民の暮らしに日々ご尽力いただきありがとうございます。昨年度小中学校へのエアコン導入の声があがった後すぐに実現したことに驚きました。市長をはじめ行政の方々のおかげと感謝しています。今後も市民の声を大切にしてくださいと期待しています。南魚沼市に住んで不安に感じることは、医療・子ども若者支援体制です。医療に関しては南魚沼市民病院の受入体制や看護師さんの対応がもっと良心的だといな
- といます。病院に電話するとかなり待たされた上にほぼ「基幹病院に行ってくれ」と言われてしまうと、市民病院とは名ばかりだなと思ってしまいます。ぜひ改善、看護師さんのスキルアップにも力を入れてほしいです。医師は市外から異動されることが多いです。子ども若者支援体制については、引きこもりへの支援、そうならないためのできるだけ早期（保幼小時代）からの保護者支援が大事だと思います。保護者が安心して子育ての悩みを相談できる体制の整備をよろしく願います。[30歳代 女性]
 - ・高齢化が進んでいます。一人暮らしの世帯に生活しているかが分かるような情報収集する仕組みづくりができないか。例えば、ポットの使用で生活しているのかどうか確認する方法等。[60歳代 男性]
 - ・老後の生活が心配（金銭など）[50歳代 女性]
 - ・世界各国が強い自国中心主義「自国ファースト」の時代に突入する様相になっていくのが心配であるが、各国が手をつなぎ助け合う精神を忘れてはならないことを願う。我が国には経済成長を望み、やれやれの時代に眠るのも惜しみ働き続け、子ども達を借金をし、高能力推進に向かえ、都会の大学に入学させ、都会の大会社に就職させ、1人立ちし都会で世帯を持ち、地方で家を守り細々と生活し、高齢者は多く一人身となり、老人ホームなど施設に入所希望しても入れずこの世を去っていく空しい姿を見て、空き家が増えていく現状を何とか打破しなければならないと思います。解決策は1つ、公共で一人暮らしの高齢者の集団個室住宅の築造をし、国民年金で賄えるような対応を要望します。また、この資金はふるさと納税の一番にあげればもっともっとふるさと納税に切替する人達も増えるし、一人親を残している人達に協力（資金）願います。[70歳以上 男性]
 - ・市民病院、婦人科は予約がないと診察してもらえないのはつらい。急に仕事のお休みが取れて行きたくても行けない、診察してもらえないから。[40歳代 女性]
 - ・医療費が中学生まで無料の市の話をよく聞きます。南魚沼市もそうになったらありがたいです。特に自分の地元がそうなので。[30歳代 女性]
 - ・これからも子どもを産みやすく育てやすい環境を整えていって欲しいです。[50歳代 女性]
 - ・先日右の耳が聞こえなくなり、どこの病院に行ったらと調べました。ゆきぐに大和病院はやっていない、市民病院は、午後は1時から受付で魚沼の広川医院に行ってきました。順番で見ていただきました。近所に人に話した所、市民病院は午後1時から受付で早く行っても予約の人達が先で新患は最後だったと話を聞き、整形に行ったら15人しか取らないとこの話を聞いて不安になりました。急に具合が悪くなった時の人の対応がもう少し考えていただけたらと思います。[70歳以上 女性]
 - ・これからの南魚沼を背負っていく子ども達を大事に育てていく事業等を多くやっていただきたいと思います。子どもは宝、大切に育てましょう。[70歳以上 男性]
 - ・保育園の件ですが、親が産休の間の保育時間が短いのはどうしてか。同居じゃなく詳しくは分からないが迎えを頼まれることがあり、皆が昼寝の中の中早く起こされて、保育士さんもすぐ大変ではないでしょうか。いつもはおやつ食べてお迎え待つのが、おやつも無しで、おやつを持って迎えに行ったことも。子どもを産みにくいのでは。[60歳代 男性]

- ・湯沢町では出産祝いで現金10万円もらえると思っていたのですが、南魚沼市はがっかりしました。もう少し子育てしやすいようにしてほしい。水道料金も安くなるようにしてください。[30歳代 女性]
- ・自分は今年基幹病院に入院しました。医療と小学校の業務、介護保険に少しかかわっています。小学校はこの度エアコン設置で教育環境が良くなりました。今一部で問題なのは給食施設の改善が必要な所があります。高齢者はまだ増加して施設不足があります。病院行政は基幹病院、市民病院、大和病院と一見して充実しているようですが、基幹病院は病室がフル稼働していません。市民病院は掻き集め医師で何とか回している状態です。城内病院の医師も評判が良くないと聞きます。城内病院の赤字は大変なものになっているのではないのでしょうか。野球場もきれいなものができましたが、費用対効果はどうなのでしょう。自然が多い割に子ども達が外で遊んでいないことも気になっています。[60歳代 男性]
- ・内部のことはよく知りませんが、市立病院は市民病院だけで良いと思う。大和病院、城内病院は何故やっているのか。すぐになくす方が良いと思う。老人世代はストレスとの闘いである。長生きしている老父母を見るのは実際に一緒にいる者しか分からぬ。この形の家庭に特典があれば良いと思う。敬老会の市の対応も今まで通りでなく、男性80歳、女性85歳でもしくは男性85歳、女性90歳以上で良いと思います。[60歳代 男性]
- ・高齢者や子育て家庭などに優しい支援をお願いします。[60歳代 女性]
- ・私達(夫)80歳は責任もって子守りができないので、5歳の子が14時半で帰ってくるので家に来ます。皆と同じように延長保育をしていただきたいです。[70歳以上 女性]
- ・高齢生活になっても住みやすく、豪雪地域なので生活しやすい市にしてもらいたい。[60歳代 女性]
- ・介護施設でも腹膜透析をやってくれる所があるようになると嬉しいです。病院に入院させられると個室代がかかります。自分に何かあった時のことを考えると先行き不安です。[70歳以上 女性]
- ・昨年子どもが産まれて一緒に出掛けるようになり感じたことですが、子どもと楽しく遊べるようなところはほとんどないように思えます。ほのぼのの広場等利用させていただき助かっておりますが、もっと外で遊べる公園などがあってもいいのかなと思います。自分も幼いころは遊具で遊ぶのが大好きだったので、もっと外で遊べる機会を増やせたらいいなと思います。出産して思ったのは、基幹病院の費用が高すぎます。出産時も入院時も特に問題なく過ごした私でも50万以上かかりました。これではなかなか子どもは産めないと思います。助産師にはとても良くしていただきましたが金額が。次回出産も機会がありましたら少し遠いですが十日町に行こうかと考えてしまいます。[20歳代 女性]
- ・市内医療機関の充実を望みます。市民病院では担当医が短期間で変わり、常に初診のような感覚で見ていただかなくてはならない状態ではないのでしょうか。医師の多忙化、不足が根本にあると思いますが、雪国での診察をしたいと思えるような優遇策を設け、命と健康を守る基盤を強化していただきたいです。また、要介護者が自宅で過ごす場合の訪問医療や訪問入浴が希望通りになされれば有難いと思っています。[50歳代 女性]
- ・8050問題、空き家問題、お墓の整理、家の始末、老人ホームの増設。魚沼基幹病院の循環器内科を再開してほしい。小さい子の遊び場設置。公園とは別地域の外の人からどうしたら人が来る場所があるかアンケートを取って見たらどうでしょうか。[50歳代 男性]
- ・私は障がいがあります。少しは気にかけてください。[40歳代 男性]
- ・私の母方の祖母(南魚沼市住)が認知症になり、自宅で介護されていましたが、結局家族の負担が多く最終的には施設にお世話になりました。しかし、施設が少なかったため、すぐには入れませんでした。重度の人が優先ということでした。軽度の人も多く入れるように施設の多さ、充実を希望します。家庭訪問支援の充実を希望します(介護を要する人)。[20歳代 女性]
- ・高齢者の受入れ、雇用の促進、年金で老後を。[60歳代 男性]
- ・子どもの色んなことを保育園と一緒に相談していきたい。[20歳代 女性]
- ・高齢者のシニアハウスをつくる。元気な高齢者一人で住んでる人が集まって生活する。そしてみんなが見える場所をつくる。みんなで目が届くので安心感があると思う。道路整備も大事だと思いますけど、保育園ももっと新しくしてほしい。古い保育園は暗いのもっと明るい楽しく過ごせる所にしてほしい。住民健診がだんだん雑になっている。[30歳代 女性]
- ・退職後も安心して働くことができる仕事場があるとありがたいです。高齢者が安心して入居できる施設の充実を望みます。[60歳代 女性]
- ・少子高齢化で困っている、人口を増やしていきたいと感じるはずなのに、子育てがしづらい。保育園が預かってくれる時間も短いし、預かってくれる保育園があったとしても六日町、塩沢方面のみで預けに行けない。子どもに障害があったとしてもフォローしてもらえるか不安。保健師さんもあまり相談に乗ってくれる感じではないし、どこに相談すればよいか分からない。これで子どもをどんどん産もうという気には全くならないし、これから子育てを考えてる人達に南魚沼市は子育てしやすいよと言えない。他の地域でできるなら子育てしていきたいと思っている。保育に関しての改善を早くしてほしい。[30歳代 女性]
- ・長岡市にある子育て支援「てくてく」のような施設が南魚沼市にもあれば子育て世代にとって有難いです。いろいろ大変だと思いますが頑張ってください。[30歳代 男性]
- ・基幹病院と市民病院の連携。[60歳代 女性]
- ・この度縁がありまして病院職員の皆様と接する機会がありました。職員の皆様の対応の良さに感謝しています。療養型施設が南魚沼市、湯沢町で2か所しかありません。今後の老人、介護関連に関して不安を感じます。[60歳代 女性]
- ・アンケートに対してきちんと答えられたとは思ってはいませんが、私ども家族にも障がい児がいます。この子ども達が年を取っていく中で障がい福祉が一番大切な願いです。[70歳以上 女性]
- ・もっと子育て環境を充実させてほしい(祝日保育をしている所を増やす。病後児保育を増やすなど)。障がい児だと一時保育預かりを受けてもらえないので。介護施設について、現場で働いてみて年々利用者は重度化

- している。職員は増えない、経営的に厳しいのでぎりぎりの中で受け入れざるを得ない。できる範囲でしかサービスできず苦情が出る。利用が決まっても準備ができない、住宅介護が限界などの家庭に対してのサポートがもっとあってよいのでは。[30 歳代 女性]
- 魚沼基幹病院の使い方がまちがっているのでは。高度医療の病院のはずがコンビニ化してませんか。南魚沼市の生活保護は甘くないですか。車は OK なのでしょう。日中混雑するから夜タクシーで病院ありですか。[40 歳代 男性]
 - 後期高齢者が夢をもてる都市であってほしい。将来の夢がもてない。年を重ねることが不安。[70 歳以上 男性]
 - 今、祖父母も働いている時代で、いくら自営とはいえ仕事をしながら子守をするのは大変です。学童に預けられないのはおかしいのではないかと。NPO 職員を増やし、働きながら子育てをしている家庭をもっと助けてほしい。保育の場合も自分が具合悪く働けず、子どもの世話が困難な時ほど保育園に預けたいと思うものです。保育料が追加でかかるのはおかしい。リフレッシュに買い物に出かけてた、保育ができる状態だったとしてもそれでもいいじゃないかくらいの子育てに寛大的であって欲しい。ファミサポは前もっての連絡が必要、具合悪くなる予想などつかない。実用的でない。知らない人に預けることも面談で決めかねる。それならほのぼので一時間預かりをしてほしい。預ける理由を厳しくせず、30 分でも 1 時間でも預かってもらいたい。2 人目を作りたいが核家族には無理でしょう。住民税非課税世帯は手厚く補助を受けれるのに税金を納めている世帯は受けられない(未満児の保育料免除等)。税金納付者をもっと大切に。少子化をもっと問題視願います。納得いくよう説明願います。[30 歳代 女性]
 - 基幹病院という立派な病院があるのにもかかわらず、手術をすることができない場合(内臓疾患)があるのはいかがなものでしょうか。重篤な病気で緊急手術が必要な時、結局長岡、新潟まで搬送というのでは、何のために立派な病院を建設したのかと思います。[50 歳代 女性]
 - 家族に障がい者がいるので大変お世話になっております。療養病棟の 3 か月毎の転院を 6 か月にさせていただけないでしょうか。車いすでの移動、また、病院内部体制も 3 か月毎は大変です。たくさんの方がいるのは充分理解していますが、補助体制の見直しを強く希望します。[60 歳代 女性]
 - 子育てをしています。子どもが安心して楽しく育っていけるような市であってほしいです。[30 歳代 女性]
 - 将来的にもっと特養老人ホームが増えればと思う。長期間の待機者を出さなくても利用できるようにしてほしい。[50 歳代 女性]
 - 乳児医療無料や保育料無料等、無料でなく、少しの負担であってよいのではないかと思います。そしてその分保障期間を延ばすことで、より多くの市民が保障されると思います。[40 歳代 女性]
 - 医療で個人病院がない上、市民病院では毎日診察していないのは不便で困る。[40 歳代 女性]
 - ただいま小・中・高の子どもがおり、この地で子育てしていて感じるのは、保育園までは行政のサービスを受けている実感があったのですが、成長するにつれ感じにくさを持っています。うちはひとり親なので学童に預けることもしょっちゅうですが、時間などの制約を受けたり、病気の時は預かってもらえないし、他に頼れず職場に相談して結局休みを取る。気軽に病児を受け入れてくれるところや忙しい時に年齢関係なく面倒を見てもらえるところがあったらと思うことがずっと長年続きました。中高生も集えるような児童館(青少年ホーム)みたいなものがある、子ども達が相互に、もちろん親も交流できるような場ができるともっと子育て世代が住むようになるのでは。せっかく良い施設があるのに、点在していて結局車で長距離送迎でというのも結構気になります。子どもがサッカーしているから大原行って、プールする時はディスポートで、図書館は駅前で。一箇所にまとまった相談施設兼、集いの場みたいなもの難しいでしょうか。[40 歳代 女性]
 - 賃金が低い生活にかかるお金は高い。車がなければ仕事はなかなか難しいが、維持費プラスガソリン代、冬は雪が降るのでその分、労力とお金もかかる。都会と違いすぐに保育園に入れるのはとてもありがたいが、保育料が高い。10 月から保育料無償化だけど未満児(金額が高い方)は無料にならない。子ども 3 人産んだけど(少子化って言っている中)、南魚沼に住んでいるメリットは感じない。生まれた土地でなければ住んでいないと思う。田舎であり県内でも結構な低賃金なので、生活、子育てに関してもう少し楽になれるようにしてほしいと思う。バスの本数が減り、お年寄りや障がい者はとっても不便だと思う。そこも少しでも改善されれば良いと思う。今後に期待します。[30 歳代 女性]
 - 日々ボランティアの人達のお世話になっております。孫の通学の見守り等、感謝です。寒い暑い時少し体調がすぐれなくても引き受けてと責任感があると思います。以前交通費も自己負担とのこと聞いたことがあります。市の予算も多くはない中ですが本当に善意でくださるボランティアの方々に少しでも報酬をまた特典などを考えていただきたいと思います。全国では親に余裕がなく虐待などいじめのニュースを見ますと心が痛みます。近くに南魚沼市にも決してあってはならないことと願っています。親や子がすぐに相談できる窓口電話支援をお願いします。がん検診(ドック)なども若い人に広めていただきたいと思います。[60 歳代 女性]
 - 無作為だからしかたありませんが、リゾートの時は人ごと、住民になりましたが、地元の方との接点もなく、行政については広報で読むだけ。アンケートの資料についても丁寧に書かれています。書面上のことしか分からず(何見ても聞いても体験していない)、適当な答えになってしまいました。これからの大切なアンケートなので、提出すべきではないのですがとりあえず返送いたします。埼玉にいる時は 75 歳以上の一人暮らしの老人の見守り、月一の訪問希望があれば社協の配食等、また節目には市からのお祝い等がありましたが、この地区はそのような福祉サービスは何もなく少し不安です。[70 歳以上 女性]
 - DV 被害者や依存症患者家族が長期的に避難できる家や施設をつくってほしいです。アルコール依存症患者は言葉は悪いですが、麻薬中毒患者同然です。まるでテロリストと同居しているような気分で生きる気力が奪われていきます。逃げる気力もないほどに疲れ、弱っています。空き家をシェルターに利用してほしいです。家族が成人していても年齢に関係なく救済してほしいです。できればベット可であればなお良し。ベットを見捨てられないのです。家庭の問題は個人力ではどうにもならない。どうか家族という美談に惑わされず、家族

という病に苦しめられている南魚沼市民を助けてください。[30歳代 女性]

◆教育・文化

- ・トレセンについてですが、料金設定がおかしいと思う。予約が入ってるので30分しか使用することがセンターの都合でできなかったのに1時間分の料金をとられた。使用者都合ならまだしも納得がいかない。税金で運営しているのだったらそれなりの対応があるのではないか。また働いている人もトランポリンの使用者が数人で飛んでるのに注意すらしないのは仕事をしてないことと同じではないか。[40歳代 女性]
- ・二日町体育館は老朽化のため、近代的な新体育館の建て替えを望む。[50歳代 男性]
- ・ペーマガスタジアムはすばらしい野球場ですが、選手名をなぜ電光掲示板にできなかったか残念です。[70歳以上 男性]
- ・大原運動公園や各スキー場など屋外でのスポーツ施設の近隣に屋内運動施設がなく、学校等の合宿場所に選べるという話をよく聞く。石打トーレーニングセンターにあるボルダリング施設にレンタルシューズ(子供用)を置いてほしい。また有線放送など音楽を流してほしい。[30歳代 男性]
- ・老人スポーツへの理解がもう少しあったらいいと思う。[70歳以上 女性]
- ・中学生が行う海外派遣に上の子が参加しました。大変すばらしい事業でしたが今年度でなくなるということで残念に思っています。これから先も海外の方との交流の場が多々増え、外国へ行くという経験等、子どもの将来のために新たな事業ができることを願っています。人口減少、少子化が心配されますが、まずは子ども達にとって良い環境、良い町が一番だと考えます。[40歳代 女性]
- ・年配になってもスポーツのできる環境がほしいです。[70歳以上 女性]
- ・近くのスポーツジムなどがあるとよい。大型施設をつくってほしい。基幹病院の近くに人が集まるような店をつくってほしい。郵送先氏名が戸籍上の名字となっていない。(基本的なまちがいをしないこと。)[40歳代 男性]
- ・文化会館でのイベントがある時は駐車場が足りないと思います。[60歳代 女性]
- ・私事が優位に立って金有りき時代のように感じる。もっと心豊かに若い人がのびのびと暮らしていける南魚の良き文化を守り、心と心のつながりを強く持つようにして行くことが大切だと思う。南魚の良い所はいっぱいあるけど、それを生かし切れていない。相手の立場を色々考えて物事を進める大きな心を持って全てを進めていくように心がけたいものである。[70歳以上 男性]
- ・大型トランポリンやスケートパークでなく、昔から頑張っているスポーツ団体にも援助をいただきたい。陸上(県・駅伝)は補助費も下がり、運営が厳しくなってきた。南魚沼市の代表として毎年頑張っているのにほぼただというかマイナスで働いている人がいる。好きだからできることだが、少しはバックアップを整えてほしいと思う。[30歳代 男性]
- ・どこの学校にも不登校の子がいると聞くが、高齢者の

福祉も大事だが、子ども達を泣かせてまで充実させようとするのに疑問を感じます。その予算と人員を子ども達に向けてほしい。どの家庭でも大学、専門学校へ進学させて皆都会に就職するが、地元の税金を納めるようにしないと先細りだと思ふ。[70歳以上 女性]

- ・塩小の通学距離の長い子ども達、冬はバス通にしてもらっていますが、1年を通じて行ってもらうことができたなら良いと思います。今家を出るのは7時10分頃です。とても早くて大変です。1年生は上級生について歩くのはとても大変です。それも良い経験なのかもしれませんが、遅いと上級生に背中をつつかれたり足をけられたりといった行動もあるように聞きます。甘やかすこと、大変なことを避けるのがすべて良いとは思いませんが、何か機会があったら考えてみてください。[60歳代 男性]
- ・小・中学生の学力向上に取り組まないと地域全体の子どものレベルが下がってしまい、高校も他地域へ進学されてしまう。[60歳代 男性]
- ・中学校のスクールバスの停留所として自宅の駐車場が勝手に使われているのですが、そういう気づかいが無い。使ってもらって全然良いのですが、電話でもいいので一言ください(一年に一回くらい)。家では小さい子がいます。その子どもも10年後にはスクールバスを使わせていただきます。ですが、今は外で遊ぶ時は目が離せません。駐車場に入る時にはゆっくり入ってきてください。本当にお願いします。[30歳代 男性]

◆環境共生

- ・ゴミ焼却場の建設場所は再検討すべき。[50歳代 男性]
- ・ごみ処理場について学生への説明を丁寧にしてほしい。多様性に富む教育環境も南魚沼市の誇るべき物の1つだと思うが、この決定によってはそれを将来に維持することができるのか疑問。ごみ処理の技術は日々進歩していることから学生への研究資料としても活用できる、という理由付けにも疑問を感じている。一度建設されてしまえば数十年はずっと稼働することになるが、国際交流の場を失ってしまうことを危惧している。[40歳代 女性]
- ・ごみ処理施設は17号線沿いにしてほしい。大和庁舎周辺が良い。各地区からも利用しやすい。国際大学の周辺は大反対です。浦佐駅周辺の発展に力を入れないと人口は増えません。大型商業施設の誘致を早急に集めてほしい。住みやすくなれば企業も増え、雇用も増え人口も増え、病院利用者も増える。今のままで発展や人口増加は見込めません。やる気ありますか。子どもも住みたくないと言っています。[50歳代 女性]
- ・河川や山地排水など改修してから40年から50年経過すると、中洲または両側に大きな立木が多くなり、大雨の時は危険を感じます。調査していただき、予防できたらありがたいです。[60歳代 男性]
- ・新潟といえば米と雪その両方備わっているのは南魚沼だということを誇りに思っています。美しい山々ですが、雪が降ると山の木(林)の荒れが気になってしまいます。なかなか財政的にも人的にも保全が難しいとは思いますが、この豊かな自然環境を守り育ててほしいと望みます。[60歳代 男性]
- ・自然[30歳代 女性]
- ・私は町の中心より10キロ以上の山裾に住んでいますが、

周辺の田、畑、山菜採りに入る場所は野生動物の宝庫です。一人で安心して作業も収穫もできません。そのため山裾の藪を刈りますが、一軒ではできません。景観作業をもっと奨励していただきたいです。健康で技術を持ったシルバーはたくさんいると思います。藪を刈り、収穫しない山ぐりなどは切ってください。それと野焼きです。畑の残渣や少しの落ち葉などは事前に消防に届けば(電話で)できるなどしてほしいです。ここは里山です。少しは燃やさないと野ネズミや虫の繁殖につながります。一律にダメという前に地域の住民生活を考えてください。やり方はあると思います。[60歳代女性]

- ・家庭ごみを田んぼの草むらに毎年捨てている人を見かけます。何とかならないでしょうか。漬け物の残り物を捨てて、臭くて臭くて家の方へ風で匂います。道路にコンビニの袋(ゴミ)を車の中から捨てて人を見かけます。何とかならないものでしょうか。不法投棄物に力を入れてください。[60歳代女性]
- ・早めに新ごみ処理施設の設置場所を決定し報告してほしいです。[60歳代男性]
- ・ゴミポイ捨て腹立たしく思っている。[70歳以上女性]
- ・稲刈り後の田んぼでわらを燃やして平然としている人達がたくさんいる。その煙やニオイでどれだけの人が健康被害を訴えているのかということを考えてほしい。どうにかして、わらを燃やすのを禁止にすることはできないでしょうか。[40歳代女性]
- ・ごみの減量というのはよく分かるのですが、農家から出る野菜のくず(例、ナスの枝など)、杉の葉などは畑のすみで燃やせるといいと思う。場所がない人は別として人家のない畑などはいんじゃないかと思えます。[60歳代女性]
- ・山が荒れている。[70歳以上女性]
- ・いつも思うのですが、多門橋上で川の流れが私の子どもの時から比べると水の量が少なく、水の流れがおかしい。それに兩岸の木や草が茂っていて何とかありませんか。多門橋から浦佐大橋の間が特に雑木林みたいで魚野川に遊びに行きたくても行けないようで、魚野川が何であんなに変わってしまったのでしょうか。[70歳以上女性]
- ・野良猫がいていや。[60歳代女性]
- ・近頃カラスがとても多くなったように思われます。夕方買い物に出かけるのが怖いくらいです。無理かもしれないけど対策してほしいです。[60歳代女性]
- ・合併して約15年となります。ゴミ処理施設位置決定も重要ですが、大和地区と六日町・塩沢地区のゴミ袋の単価が違いすぎると思っていますので統一すべきではないでしょうか。[60歳代男性]

◆都市基盤

- ・空き家の利用を進めているのは目にする。これはよいと思う。市内の人だけじゃなくてももっと輪を拡大できないか。例えば、山古志のように大学の合宿場として提供、信号ない農場を利用してマラソン等練習に活用できそう。ギルドハウス十日町(外国人向けの雪国ツアーをしている人もいるので紹介できます)のように、国内外問わず泊まれるシェアハウスやセカンドハウスのようにしても良いかと。ギルドハウスの人はいつでもオープンなので色々教えてくれると思います。自動車

免許の問題が多い昨今、このままでは少子化に歯止めがきかなくなると思う。鉄道の拡大や高齢者負担の無いタクシー等の対応をするスケールの大きい計画が必要だと思う。マスタープランの見直し、計画コンペを行っても良い(空き家リノベーションコンペティションでもOK)。市内で解決しようとするのではなく、どんどんまわりを巻き込めば良い。必要なものには思い切って金を使えば良い。農業のやり手不足を受け入れ、用地買収し、公共建築の建設や企業の誘致を進めていくのも良いと思う。いつまでも新幹線や高速道路の存在に甘えていては発展はない。地元にある資源(雪、森林)を武器に外部の力を上手に巻き込まなければならぬと思う。[20歳代男性]

- ・活性化とは人や物が活発に動いている状態だと考えています。地方の活性化で決定的に不足しているのは公共交通機関の利便性です。この様な状態で人が自由に移動できますか。人が動くことでお金が動き、経済レベルが高まります。そこに様々な仕事が生み出されていきます。日本全体が高齢化する中でどこに住めば暮らしやすく楽しいのでしょうか。市は何を目指すのかそろそろ明確にしていきませんか。[60歳代男性]
- ・市民バスを全町に通してもらいたい。今自分の所は通ってません。市民病院に行くのに苦労しています。元気な時は何となく行きましたが、足の具合が悪く大変です。国道(六日町)でバスから病院までがとても時間がかかることと、越後交通のバスが時間(一日に何回も通らない)の待ち合わせにとっても時間がかかり不都合です。[70歳以上女性]
- ・塩沢地区にも散歩できる公園がほしい(銭淵公園、池田記念美術館のような)。[50歳代女性]
- ・昔は山川が子どもの遊び場であり、公園のような役目をしていて。全く同じ環境に戻ることが無理だとしても幼い子どもが夢中になって遊べる自然の野外環境があるとよいと思います。[60歳代女性]
- ・冬の除雪にもっと力を入れてほしい。特に六日町高校の通りは非常に狭くなる。[40歳代男性]
- ・六日町駅の出入口の階段、エレベーターの変更などの検討をしたほうが良いと思う。県外から来たお客様達がどこから駅に上がって行くか、エレベーター、トイレはどこか迷っています。市の所有する建物でいらぬのは壊して更地にしたいほうが経費がかからないと思う。[70歳以上男性]
- ・災害時に安心して避難できる場をつくってほしいです。[70歳以上女性]
- ・各家庭の除雪に関して、昔からの側溝や農業用水路等小さな水路や排水溝に流れているわずかな水流を使って除雪に利用しているお宅が非常にたくさんあります。まちなかで冬季にそれがどれ位利用されているか実態を調査していただいた上で水量確保や水流を止めることなどないように市内各所を冬季に点検してほしいと思います。また、JRが川の水を冬に取水したためにその下流域の住民は冬期の雪消し用の水量が少なく、以前より困っています。つまり一方的に川の流れを変えたり、止めたりすることなく、沿線住民が皆活用できるような方向で考えてもらいたいと思っています。[50歳代男性]
- ・空き家の親族が誰か分かるうちに「空き家は平地にすること」という条例を決めてほしい。雪国でもあり危険。土地だけになると固定資産税が6倍になることも

- あり、家を壊さないのではないか。土地は市のものにして税は無料にしてほしい。近所に草ぼうぼうの家があると不安、迷惑である。例えば老人ホーム入所中とか、親族が分かるうちに親族による管理を約束するような条例をつくれぬものではないか。[50歳代 女性]
- ・バスの交通の便が減ってめちゃくちゃ不便。若いとか年とか関係なくただでさえ足がないのに。聞いてもらえないだろうけど書いておく。[30歳代 女性]
 - ・市民バスが駅に止まってほしい。市民病院行きの路線バスの朝と午後の本数を増やしてほしい。[60歳代 男性]
 - ・将来免許を返納した時に生活が大変不便になると思うので、交通機関の整備をお願いしたいと思います。[50歳代 女性]
 - ・高齢者が不自由なく暮らし続けられるような交通整備（乗合タクシーなど）、食事の宅配サービス。[60歳代 女性]
 - ・魚沼市のシバザクラのような公園を浦佐スキー場の跡地につくれぬでしょうか。花はシバザクラでなくてもアジサイでもひまわりでも構いません。[60歳代 女性]
 - ・自然がたくさんあるので子どもが遊べる公園などがあるとよいと思う。[50歳代 女性]
 - ・除雪作業は大変ですが、雪の多い時は消パイ路線も早めに除雪してもらいたい。[60歳代 男性]
 - ・市民バスの件です。三郎丸にお住いの高齢女性からの要望です。便数が減った、とても不便である。市議に何度も言っているが、いまだに返事がない。市民バスがなければどこにも出られない。本当の交通弱者に対する支援が何もない。市バスを運営する会社も知らん顔を決め込んでいるとおっしゃっていました。その女性は雨の中でずっと市バスを待っていました。私が自宅まで送り届けました。[50歳代 女性]
 - ・冬期除雪について不満があります。最初の雇用は定時（8時から17時）の雇用ばかりではなく、早朝の出勤や夜勤の場合もある人も多いかと思う。幹線沿いは良いかもしれないが、市道に入ると民家も少なく日によっては午後3時から4時頃が最終除雪となると、降雪の多い日は通行に不便を感じる。まして急病が出た出産の場合等を考えると過疎化が進んでしまうのも仕方ないかと思う。せめて降雪の多い日は午後5時以降も対応していただきたい。[70歳以上 男性]
 - ・路線バス運行がもう少し遅い時間、17時頃まであればありがたい。人も利用しにくい時間でしょうか。[50歳代 女性]
 - ・前回のアンケートでも書いた気がするのですが、南魚沼市は水道料金が高すぎます。以前住んでいたところの2倍ですね。[60歳代 女性]
 - ・都市計画と用途指定地域で、路線評価の相続税で困っています。来年で20年税が免除になります、税額は約3700万円です。[70歳以上 男性]
 - ・市民病院に行く際に六日町駅で乗り換えのようですが、地区から直接で行けるようにできないでしょうか。年寄りの身体には負担が多いように思います。[70歳以上 女性]
 - ・除雪体制の強化、24時間体制でお願いしたい。緊急時（火災、救急等）対応できなくなる。17時から翌朝7時まで除雪せず。[60歳代 男性]
 - ・高齢化社会を迎え、高齢者の関係する交通事故が後を絶たない昨今である。私自身、後期高齢に近く、運転免許証を何時返納しようかと思案している現状です。しかし現実の生活の中では食料等の買い物、医療機関への通院等、自家用車に依存していることが多くあり、踏ん切りが付きません。市は交通事故空白地域に公共交通サービスを提供するため市民バスを運行すると言っているが、私の地域では以前通っていた市民バスは廃止となりました。市民バスの復活をお願いする気はありませんが、高齢者が気軽にかけられる「日常の足として何か考える必要がある」と思っています。[70歳以上 男性]
 - ・夫婦二人で生活していますが、二人共働きをしていますが、このままこの土地で生活していくかは不明です。年を取った後、免許返納した後、どうやって買い物に行き、雪を片付けて、灯油を買いに行けるだろうか、この土地に住んでいても将来はないというのが夫婦の意見です。二人共魚沼地区出身なのでここにいますが、今、家を買うかどうかで話し合っています。二人共魚沼には家を建てないかなと思っています。不安なまちにしてほしいです。そうしたらずっとここに居られるのに。[30歳代 女性]
 - ・水道料が高い気がする。市民バスや路線バスについて、今現在、市民バスや路線バスを運行しているが、正直便利なのかよく分からない部分があると思う。田舎の交通事情には限界があるんだろうなと思います。少しづつ時間を考えながら現状を維持するくらいでいいと思います。[40歳代 男性]
 - ・上下水道代金高いと思います。他の積雪地域よりさらに高いです。[20歳代 男性]
 - ・上下水道料金がやはり基本高い。その割にカルキ臭がするので自然豊かで米づくりの最適な土地の割には「水」がおいしくない。地盤沈下対策も市民に分かる活動をしてもらわないと、マイホームを建てる程の「永住」という気持ちにはなれない。不安。[40歳代 男性]
 - ・水道料金。[40歳代 女性]
 - ・上下水道料金が高すぎる。[40歳代 女性]
 - ・水道料が高いと思うので、少し値下げできるようにしてほしい。他の地域と比べて高いなと思います。[30歳代 女性]
 - ・下水道代が高すぎる。[60歳代 女性]
 - ・水道料がもう少し安いと助かります。[70歳以上 女性]
 - ・南魚沼市の水道料金が県内でも高いといわれている。[60歳代 女性]
 - ・水道料金が高すぎ。[70歳以上 男性]
 - ・水が高い。[40歳代 男性]
 - ・六日町大橋、坂戸橋、足湯等を通る土手（道）は、市民の散歩に利用され、私も毎日犬の散歩をしていますが、車両通行止めとなっていないため、車が頻繁に通行し、脇を通る際に速度を落とさず皆が怖い思いをしています。美佐島橋から坂戸橋まではほとんど民家はなく、通る方は信号機がなく早く抜けられる道として利用して、急いでるせいとか人がいても速度を落とさない方が9割ぐらいいます。20数年前から町内では同じ意見が出ていたが、市役所は管轄ではなく市に権限がないということを言われたと聞きました。当時はそれでよかつ

- たのですが、これから安心してジョギングや散歩ができるように通行止めをして頂きたいと思います。この自然豊かなところで歩行者が安心して散歩ができず、新潟市は歩行者（自転車）専用の道があるのはおかしいのではないのでしょうか。[60歳代 男性]
- ・市民バスについて。基幹病院に行ってますが、旧大和病院方面は台数が多く出ています。私は五日町に住んでいますが、先日市役所に行って話をしたら五日町方面の人達は市民病院を使って欲しい、そのためには電車、市民バスを利用して市民病院に行きたくて欲しい旨回答を頂きました。病気の関係で基幹病院に行く必要があります。是非五日町経由のバスを運行してください。お願いします。[70歳以上 男性]
 - ・大学4年で新潟県の教員を志望し、来春には今住んでいる群馬から新潟に帰ってくる予定です。南魚沼市は自然豊かで地域の特色を生かした振興が行われていると思います。帰省するたびに一人暮らしをしている祖母の家に遊びに行くのですが、食材や日用品を買いに行くのに店が遠くて大変そうです。出張でワゴン車などで売りに来てくれると有難いですが。[20歳代 女性]
 - ・六日町にも「八色の森公園」のようなきれいな公園をつくってほしい。河川敷の公園はいつも滑り台が汚れていて子どもが遊べない。昔みたいに公園にクジャクなど何か動物がいると嬉しい。道の工事が早く終わってほしい。[30歳代 女性]
 - ・車の運転ができなくなったら、市民バスが充実していないので、買い物など大変になりそうで心配です[60歳代 女性]
 - ・市民バスの停留所をもう少し増やすか（どこにいても手を挙げて乗れるといいと思います）、設置場所を考えてください。[60歳代 女性]
 - ・難しいことは分かりませんが、市民バスについて一度利用してみたいと思って、ある停留所に（娘に付いてもらって）行ってみたのですが、時刻表の字がはっきりしてませんでした。町の中を少しまわる機会があるのですが、壊されている家の跡地が草ボーボーの所が気になります。郵便局の用事は歩行者にとって大変不便を感じます。[70歳以上 女性]
 - ・高齢者が免許返納しても生活できるような方法を早急に考えてほしい。水道料金が高すぎる。何とかしてほしい。飲食業をしているが、下水の汲み取りがものすごく高額になって止めるしかない。どうかしてほしい。[70歳以上 女性]
 - ・人口減少による空き家が多くなっている。子ども達の声がいっぱい聞ける社会にしてください。[70歳以上 男性]
 - ・冬になると雪の無いところに逃げたくります。[70歳以上 女性]
 - ・高齢者の立場から免許返納を考えている人も多いけれど、それに変わる交通手段がもっと多くほしいと思います。車がなければ生活できない土地だから。[70歳以上 女性]
 - ・坂戸公園の駐車場が少ない。箱物建物いらぬ。駅西口整備屋根付きの自転車置き場がほしい。タクシー乗り場がない。全体的に公園が少ないのではないか。[70歳以上 男性]
 - ・免許証の返納が話題となっているが、市内の中心に住んでいる市民以外は車の運転は生活に必要だと思われます。市民バスでも年寄りが利用しにくい集落もあるようですので、市民の声をよく聞いていただき、年寄りが病院や日用品の買い物など安心してでかけられるようにお願いしたいと思います。[50歳代 女性]
 - ・市内に子どもや孫が遊べる遊具の備わった公園があったらいいと思う。[70歳以上 女性]
 - ・車に乗れない人、不便で動くことができない。もう少しバスがあれば良いかなと思います。バス停まで遠いので大変です。もう少しバス停を増やしてもらえると良いかな。[60歳代 女性]
 - ・除雪体制。[20歳代 男性]
 - ・降雪量の多い地域です。[70歳以上 女性]
 - ・河川敷をもっと整備して市民の憩いの場になると良い。遊歩道、サイクリング道、野球場など。[70歳以上 男性]
 - ・片田の通行止めが長すぎです。[40歳代 女性]
 - ・ずっと納得がいかなかった、都市計画税が廃止になったので良かった。不公平税だった。[60歳代 男性]
 - ・高齢化が進み、運転免許を返納する方が増え、浦佐の病院に通院するのに六日町から直通のバスも無いし、電車で行っても浦佐駅で30分も待たないと病院行きのバスが無い。車にも乗れず免許を返納した人は1時間30分もかけて通院します。なぜ六日町駅から直通のバスが無いのでしょうか。十日町の方からの人達も「本当にやだね」と言っていました。[70歳以上 女性]
 - ・近年予算減少なのか、道路の草刈り頻度が減って舗道、斜面などの草がすく伸びているのを感じています。市民バス運行はありがたいのですが、大型バスに利用者が一人もないこともある。高齢化が進み施設が今でも足りないと言われていますが、今後計画等は。[70歳以上 女性]
 - ・市民バスについて、路線バスも少なくなり、以前あった市民バスも無くなり、買い物や医者に行くにもとても不便になった。[70歳以上 女性]
 - ・市民バスの運行（時間、遠回りしすぎ）を考えてください。今の時間では乗りたくても利用できない（多くの人の声です）。回り道で時間がかかり、乗り物酔いする人は乗れない。せめて1日午前2回、午後1回くらいだけでもっと利用する人が多くなると思います。車を辞めたくとも辞めれない理由です。大和病院までも考えてください。[70歳以上 女性]
 - ・六日町は豪雪地で積雪が非常に多いと言われている。しかし新聞に載っている積雪量がいつも小出、十日町、湯沢より少ない場所が多い。自分も仕事の関係で毎日測定してるが、かなり差がある。小栗山地区は多い方ですが、他市町と測定環境が違うのでは。南魚沼市は沼地の地質のせい地震には敏感で、震度2,3でもいつも報道されてる。しかし6月に「村上市、山形」の地震の時は魚沼市、十日町等は震度4と報道されているのに「南魚沼市」は放送されない。知人から心配の電話があったが答えられなかった。魚沼地方は魚沼市が代表するようになってしまったのでしょうか。「東日本大震災の時の放射線測定値の件」と言い、災害緊急対策等の点検が必要ではないのでしょうか。[70歳以上 男性]
 - ・子どもの遊び場（公園）を増設してほしい。[30歳代 男性]

- ・市道を含め傷んでる所がかなりあるのではないかと。点検の必要があると思う。修復している所は大型車の影響か毎年のように修理している。補修のやり方に何か問題があるのではないかと。鎌倉沢川の土石国道17号の東西除去できないか。できれば国道291号に西側近くやってもらいたい。[70歳以上 男性]
- ・市民バスの時間をもう少し早く出してほしい。[50歳代 女性]
- ・消雪してほしい(道路)。[70歳以上 女性]
- ・病院行きの市民バスですが、プラスの感じあまり見られず、利用する気にもならず、何か良きアイデアはないものですかね。[70歳以上 男性]
- ・誰もが不安に思っていることだが、私もいずれは車の免許を返す日が必ず来ます。そうなるとう街場の人達はいいが、私達はお店や病院がかなり遠いのでとても不安だ。田舎は大体どこも悩みの種だと思うが、私のまちでも人がいなくなり、私が嫁いで来た時の半分以下になったのではないだろうか。非常に寂しい。人が少しでも増えるような何か対策はないのですかね。例えば、空き家を改造して南魚沼に来てくれる若い人達に安く提供するか。私は、生まれ育ったこの南魚沼が大好きです。大雪は嫌いですが。[60歳代 女性]
- ・小学生の親として思うのは、横断歩道がけずれていたりして、とにかく分かりにくすぎることです。通学路で危ないと思うところで、子ども達だけで渡らなければなりません。まず、運転手が横断歩道に気づけることがとりあえず一番に大事なことでないでしょうか。信号など設置してもらえば一番なのでしょうが、まず、とりあえず横断歩道を塗り直す。濃くしていただけないでしょうか。すぐできることであると思います。ちなみに余川区に住んでいます。十日町とのトンネルができて、交通量がものすごく増えまくって困っています。大人でも危なさをすごく感じます。ニュースになるような事故などが起こらないように、早急に対策、本当によろしく願います。期待しています。とりあえず確認してみてもらえたらと思います。安全な南魚沼市にしてください。[40歳代 女性]
- ・中学生が土曜日部活に参加する時、市のバスが利用できない。親達が必ずしも毎週土曜日が休日でないため、祖父祖母が送り迎えしている。夏は何か自転車を通っているが、冬は難しい。高齢者ドライバーの交通事故が多いとテレビ等で知っているが、交通手段の不便さ、定期福祉バスを利用して病院、買い物等では自分で行動しなければならないと思うと、車の運転はどうしてもしなければならない。定期バスの運行が少ないので、学生が列車からバスに乗り継げないため、駅までの迎えが日々の仕事のようになっている。日本全国の問題でもあるし、市がどのような対策を考えているのかなあと思う。五十沢開発センターは解体しているみたいですが、長年12時、5時、1日によくサイレンがなっていたのですが、部落の人達があれはどうなったろうと言っています。農作業していると5時になったらやめようとか、子どもには5時になったからバイバイして明日また遊ぼうと言った良かったのですが、この件は市はどこかにつけるとかつかないとかどう考えているのかなあと思っています。[70歳以上 女性]
- ・我々の集落は1級河川が3本流れている地域です。台風、梅雨時の長雨に気の休まる時がありません。災害に強いまちづくり、特に河川改修を要望いたします。[60歳代 男性]
- ・浦佐駅東口の駅前には荒地が多く見た目も悪いので、きれいに整地し、駐車場とかにできないものではないでしょうか。[60歳代 女性]
- ・市街に木々が少なく、山には緑があっても住んでるところにはほっとする木陰がない。雪が多いせいかもしれませんが、落葉樹がもう少しあればと思います。手入れや掃除が大変だから、雪が落ちてきたら危ないからということでしょうか。[60歳代 女性]
- ・家の周りにも後継者のいない家がたくさんあります。これから先どんどん空き家が増えると思います。空き家対策に取り組んでいただきたいです。[40歳代 女性]
- ・市民バス運行の見直し。経路、時間、利用者が少ないように感じます。市内のあちこちの廃屋がありますが、市の取組はどうなっていますか。あくまで個人の管理、責任ですか。[60歳代 女性]
- ・最近近所の高齢者施設が人手不足ということで休止になりました。自分は70代ということで高齢者福祉や、車の運転ができなくなった時の交通手段など大変不安を感じています。善処のほどよろしく願います。[70歳以上 女性]
- ・車の免許を返すと上田からは六日町に行くバスは1時間に1本ぐらいで、出かけられるが塩沢方面にあまり出れない。市民バスは自分が行きたい場所まではぐるっと回っていくので、ちょっと時間がかかる。塩沢のまちなかにバス停がない。国道まで出ないとな(上田方面がない)。[60歳代 女性]
- ・何年か先に車の運転をやめたときに移動しやすい路線を便利にしてほしい。大崎地区から市民病院へ行く場合、六日町駅で路線バスに乗り換えが必要とのこと。1日1から2本(最低)市民病院まで1本で行けるようにすべきだと思います。特に老人が通うのが多いと思いますが。車が無くても他の地区に遊び、小旅行がしたくなるような路線ルート、乗り替え等少し夢がもてると良いかなと思います。[60歳代 女性]
- ・歩道脇の草が茂っていたり花壇の中にも花ではなく草が生えていて、歩くのに少し気分が悪くなります。塩沢地区の方にも親子で遊べる公園とか温泉施設があればと思います。[60歳代 女性]
- ・子どもが遊べる公園が六日町にない。市民バスも時間がかかり不便。[60歳代 女性]
- ・これから先、免許証を返納した後が少し心配です。買い物、病院などタクシーばかりとは言えないので。今の市民バスもいいけど、停まる所をもう少し考えてもらえるといいのですが。見ているとあまり利用する人がいないのではないのでしょうか。[70歳以上 男性]
- ・近年日本中(世界中)で想像を絶する自然災害に見舞われています。南魚沼市にも防災無線があればと思います。[60歳代 女性]
- ・外で遊ぶ子どもをあまり見かけません。安全に遊べる場所が少ないのではと感じます。公園や広場、歩道がもっと整備されていればと感じます。[30歳代 女性]
- ・六日町駅の西口に消雪パイプがほしい。[60歳代 女性]
- ・浦佐のような遊歩道がうらやましいです。犬を連れて夏涼めるような地下トンネルなどもある遊歩道があるといいですね。[60歳代 女性]
- ・高齢ドライバーの事故が多発しているが、運転できなくなると生活に支障が出るため返納できないでいる方

も少なくないと思います。タクシー券やバスの回数券をいただいてもほんの一時だけだと思います。免許を返納しても安心してらせてあげると良いです。[50歳代 女性]

- ・六日町に大きな公園(遊具のある)があればいいなと思う。例えば大和の八色の森公園など。[30歳代 女性]
- ・自動車運転免許証を返納すると生活に不便をきたすので、市のバスをこまめに自宅近くまで運行してほしい。[70歳以上 女性]
- ・浦佐のバイパスを早く国道と繋げてほしい。[40歳代 男性]
- ・今は車の運転しているが、できなくなった時のことを考えると心配になる。[70歳以上 男性]

◆産業振興

- ・大学で県外に出た子ども達が帰ってこれる環境をつくりたい。インターネットの普及により、地方でも様々な企業が誘致できるのではないかな。マスコミなどに関心がある子どもは県外でしか働けない。様々な職種があれば大学生は帰ってくるのではないかな。また魅力の発信の仕方などプロから見て指導してもらいたい。山里十帖の岩佐十良さんなど市に関わってもらいたい。[40歳代 女性]
- ・私は大崎、青木新田、野田などで友人、知人と共にフリーマーケットを開催して、普段触れ合えない人と人とのつながりや地域のつながり、新しい発見などの場を提供しています。大きいところではナナシのマルシェや今年市報に載ったアジア雑貨市などありますが、これらのようなことを目的としたフリーマーケットやバザーなどを開催するにあたり、やはりできるだけ集客というものは見込みたいものです。小さなフリーマーケットでも市報や他 SNS などの媒体など活用させていただけるような環境が整っていくと、主催者や出店者、参加者が増えて、そこから生涯学習、商工業の振興などにもつながっていくと思います。[30歳代 女性]
- ・若い世代の人が地元に残りたいと願う環境、職場が増えることを期待します。[50歳代 女性]
- ・高齢化、離農、農地集約、米しか作れない。米以外の作物についても先手をうっていかなければ米の品質を維持できない。5年後、10年後の姿を考え、先手を打たないと、主産業の農業も衰退する恐れがある。お金を使わない方向だけが正しいのか。農業にはもっとお金をかけなければならないのではないかな。新規就農者育成、園芸品目の生産拡大、機械化・効率化。[30歳代 男性]
- ・雪まつりの規模が小さくなったと思うので、1年に一度必ず開催もいいですけど、2年に一度予算をダウンと使う感じで盛大にしてみるのもいいのかな。市民バスを使用される方が多いので、屋根を付けられるところは付けてあげてほしいです。[30歳代 女性]
- ・大学進学してその後地元に戻って来たいと思ってても雇用の場が少ない。正規雇用や収入を考えると若い世代が南魚沼市から他の地域を選択せざるを得ない状況。生産年齢人口の減少と少子高齢化のシナリオができていくような気がする。観光に結び付けたイベント発信やイベント企画、歴史的なお寺の御朱印めぐりと地域のグルメ商会などブームを取り入れていく。今後も住みやすいまちづくりをお願いします。[40歳代 女性]
- ・大月城跡を整備してほしい。水道料が高すぎる。観光は

十日町市を見習うべきと思う。最近の十日町は目を見張るものがある。スキー観光を主体に考えず、他に目を向けてみてはどうか。石打丸山ばかりが良くなっていくようで気になります。[60歳代 女性]

- ・ファミレスなどチェーン店がないのが不便。市内に遊びたい所がなく、他県に出ています。温泉のレベルが低いので入りたいと思わない。キャッシュレス決済が使えない店が多い。[30歳代 男性]
- ・若い世代、ファミリー向けの店などが少ない、冬は特に買い物ができる店がない。春夏秋などは長岡に買い物に行くが、冬は長岡まで行けない。イオンしかないところなど若いファミリー向け、小さい子どもがいるファミリーの買い物する場所が少なすぎる。南魚沼市にチェーン店(ユニクロなど)できたら嬉しい。外食店(小さな子どもがいるので)。[30歳代 男性]
- ・子育て中です。パートで働いています。ほのぼのができて感謝しています。他にも十日町市のような桂公園みたいな施設があるといいなと思います。私自身子育て優先のため融通がきく仕事を第一にしているため、時給に関しては目をつむっています。子どもが大きくなる手がかからなくなったら絶対にバリバリ働いてやる。このままじゃだめだと心に秘めながら黙っていますが、時給が低すぎです。高校生以下の給料も多すぎて恥ずかしいです。でも企業が言うのですよね。手持ちパートは使えない、子どもが熱を出したらすぐ帰るし、残業できないし、シフトをどんどん減らして辞めさせようって。これ実体験です。子どもを育てた方からも言われて悲しくなりますよね。市の管轄外かもしれませんが、どこへ言うのか分からず書きました。ハローワークでも時給の低すぎる会社にこれじゃ人材来ませんよ、時給低すぎますよ、みたいな通告とかできたらいいですね。まあ力のない企業にはどうしようもない事ですが、南魚沼市が住みやすく、自慢できるような市になることを願っています。[30歳代 女性]
- ・六日町の商店街にあまり活気が無いように感じます。もっときれいで活気があれば観光客も増えると思います。あとアーケードが古くて冬雪が多くつもとつぶれないか心配になります。[30歳代 女性]
- ・まちなかの空室対策を考え、活気のあるまちをつくれませんか。[70歳以上 男性]
- ・若者が働ける色々な職種の会社の誘致。[70歳以上 男性]
- ・就職等の理由で県外(東京等)へ流出してしまう若者が地元で生活し続けられるような対策を行ってほしい。[20歳代 男性]
- ・上越新幹線浦佐駅の空きスペースがもったいない。もっと商業施設をなんとかしてください。車が無くても生活できる場所でないかと厳しい。浦佐地区を選んだのは新幹線が止まるからです。[40歳代 女性]
- ・若者が戻ってきて正規で働ける職場が増えると、さらに地元で仕事をしたいという希望を持つ子ども達が増えると思います。[60歳代 女性]
- ・新幹線が止まる浦佐駅周辺の活性化に期待したいです。[20歳代 男性]
- ・Uターン就職が増えるように企業誘致の推進をお願いします。[60歳代 男性]
- ・雪に対するアピールが少なすぎる。[50歳代 男性]
- ・若い人達が安心して生活できる環境にしてほしいです

- (雇用水準を上げてほしいです)。**[60 歳代 男性]**
- ・ 夏祭りも雪まつりも年々しょぼくなってきている気がするのでもっと楽しめる様にしてほしい。**[30 歳代 女性]**
 - ・ 駅前、駅通りの活性化に力を注いでもらいたいと考えます。**[40 歳代 男性]**
 - ・ 市内各企業の意見をどんどん吸い上げて栄養にしていってもらいたい。**[70 歳以上 男性]**
 - ・ 人口減少、耕作放棄問題を問題としてではなく利点にできないか考えているが、いい案が浮かばない。こま切れの土地を集約して天候に左右されない大型ハウスで特産物をと考えているが、先立つものが工面できない。うまい考えは無いものか。**[60 歳代 女性]**
 - ・ 大型店の誘致することで活性化を図る。**[60 歳代 男性]**
 - ・ 一年を通して観光があれば一番良いが、あいにく雪が降る。降るのであればスキー、スノーボーにとらわれず、雪で誘客できないものだろうか。観光は市外から外貨が入るし、雇用を生むと思う。東京からのアクセスが良いので、何かと目玉があるといい。それと市でただ1つの市営である八海山麓スキー場の存続を希望する。**[50 歳代 女性]**
 - ・ 今の農業委員会は必要ない。地域の産業振興の足を引っ張っている。**[60 歳代 男性]**
 - ・ 地元のスーパーを大切にすることも大事ですが、週末になるとほとんど若い方は地元以外に買い物に行ってしまう。もう少しそういった大型スーパーなどができると地元も賑やかになるのではないのでしょうか。ウエルシア、ひらせい浦佐ができてから少し違う気がします。公園もステキな環境にあるのももう少しそれを活かして遊具やお年寄りに楽しめる場をつくっていただきたいです。若い方がプールがあったらなとか、お年寄りの方が安く気軽に利用できる温泉があったらなど話していたのを思い出しました。地元で楽しく過ごせるまちにしてほしいです。期待しています。**[50 歳代 女性]**
 - ・ 田舎で給与水準が高いとは言えません。となると自営の人達もいつまでやっていけるか不安です。**[50 歳代 女性]**
 - ・ 地元で就職したいという気持ちはあるが、現実、給与水準が低すぎるため地元で働くことが厳しいです。**[20 歳代 男性]**
 - ・ 中山間部の農作放棄地等、もっと一次産業に力をいれてほしい。**[60 歳代 男性]**
 - ・ 自然がいっぱいで美味しいものもいっぱいなので、もっと上手に人が集めれる所があるともっと発展すると思う。**[50 歳代 女性]**
 - ・ 大手スーパーがほしいです (大和)。**[60 歳代 女性]**
 - ・ 農業、スキー産業だけでなくその他中小企業で働き暮らす市民にもっとフォーカスしてほしい。外部への発信。**[40 歳代 男性]**
 - ・ ブランド米と雪。**[70 歳以上 男性]**
 - ・ 冬のスキー場の生かし方。住民が気軽に気楽にウィンタースポーツを楽しめる環境づくりを望みます。金銭的にも負担がかかることなく、活用できる企画、アイデアがほしいです。**[60 歳代 男性]**
 - ・ 雇用を多くしてほしい。**[50 歳代 女性]**
 - ・ 群馬県川場村の道の駅のように大型の店舗及び産地直結型いつでも誰もがが行けるレジャー施設及び行ったら楽しんでサービス心のある場所がほしい。働きたい人の職場や企業を誘致してほしい。**[70 歳以上 女性]**
 - ・ 昨年度日照りが続き、稲が枯れて黄色くなっている田を見て不安になりました。川からの水量が足りない地域の整備などできないでしょうか。**[40 歳代 女性]**
 - ・ 一層の農村集落の衰退抑止の施策。**[70 歳以上 男性]**
 - ・ 自分の能力や知識を生かせる仕事と全くない。給与の手取りも少なく、正直なところ、長くこれからも住んでいきたいとは全く思えません。このままでは若い人達は都会へ出ていってしまう。国際大学があるのだから、そこの学生達と交流できる場があればいい。生活に困っている人に対する支援も全くない。給与の水準は最低で、遊びに使えるお金はないし、遊べる所が全くない。これなら他の所へ行った方がいい。**[30 歳代 男性]**
 - ・ 昨年度まで市外の大学に通っており、今年 4 月に就職のため戻ってきました。先日久しぶりに兼統公まつりに遊びに出かけましたが、記憶にあるものよりも随分と規模が小さくなってしまっていて寂しさを感じました。行事をつまらないものにしてしまうことは、それだけで町の活気のなさにつながってしまい、人口の流出や訪問者の減少にも関わると考えています。ぜひ「南魚沼と言えばこれ!」と言えるような、それによってたくさんの人に南魚沼に足を運んでもらえるような、魅力的な何かをつくってほしいです。**[20 歳代 女性]**
 - ・ いくら働いても、収入より支出が多く、将来への不安が大きい。**[40 歳代 女性]**
 - ・ お米とお酒だけでない市になってほしいです。例えばせつかく兼統通りに武将像があるのだから (愛の兜は有名だし)、もう少しそういうものをアピールしてみたらどうでしょうか。外国の人は侍が好きだし、日本人の若い人もマンガやアニメでそういうものが好きな人は沢山いるので、年に一度でもいいので何かイベントはできないものなのでしょうか。市長が若い方でするので、例えば市長車をイタ車 (武将の描いてある市の車ありますよね。ああいう絵を書いてそういう目立つ車) で出張に行ってもらうとか。**[50 歳代 女性]**
 - ・ 観光地が少ない、時給が安い、退職してまだ働く自信があるのに働く場が限られている。**[60 歳代 女性]**
 - ・ 先日テレビ (昼間) で湯沢町の PR 動画が面白いと放送されていました。南魚沼市も全国区で流してもらえるような PR 動画をつくってもいいんじゃないでしょうか。**[40 歳代 女性]**
 - ・ ファミレスが全然ないのでファミレスが増えれば良いと思う。**[30 歳代 女性]**
 - ・ 南魚沼市は国内有数のスノーリゾートやキャンプ場、周囲を山に囲まれていることから、登山環境も充実していますが、その魅力を部外へ十分に発信できていないと思います。もっと PR 活動に力を入れてください。**[20 歳代 男性]**
 - ・ 優良企業の誘致。商業施設の充実。**[40 歳代 女性]**
- ### ◆行財政改革・市民参画
- ・ 他の市町村に比べ住民税が高い。市として努力している姿が見えない。**[50 歳代 男性]**
 - ・ 住民税を安くしてください。車の後付けの安全装置の

- 補助金を出してください（もしあればすみません）。市民割が利用できる施設がたくさんほしいです。管理・維持が大変な施設をつくらないでください。[30 歳代 女性]
- ・ 市役所の人員削減を行い、経費の削減を図る。[70 歳以上 男性]
 - ・ 市政に関心がある様な情報をもっと発信していただきたいと思ひます。役所の対応が大変良いと思ひます。今後も続けていってほしいです。返信用の封筒を入れない部署がありますが、このようなことがないように強く望みます。[70 歳以上 男性]
 - ・ 自分が住んでいる集落の 10 年後以降、集落の戸数が三分の一くらい減少する。集落行政はどうなるのか不安は大きい。[60 歳代 男性]
 - ・ 封書等の開け方について。上まで糊付けべったりで開かず大変です。ハサミかカッターが入るくらいの封の先を開けるか、危険防止のため、その他の方法もあり、刃物等を使用しないでも良い、小さい子ども等がいる場合、特に気を使ひます。開けやすい開封をお願いします。[70 歳以上 男性]
 - ・ 住民個々のスキルをもっと伸ばし、行政に頼りがちな生活を大きく変化させていかなければいけないと考えてはいる。住民が意識的に問題に取り組むことができるよう、普段から考える癖をつけていった方がいいと思ひます。何かと行政に結び付て考えることが「バカの一つ覚え」に見えるし、違和感を感じていた。行政も住民と意見交換し、住民のスキルを上げ、自治できる力をつけさせたらどうか。医療、福祉、保健などの分野ではすぐ効果が出てくると思ひます。若い世代の無知や無関心がこれからの市政を停滞させると思ひます。[40 歳代 女性]
 - ・ 基本計画の大綱すべてに関係すると思ひますが、まず少子高齢化、人口減少社会を念頭に置いて抜本的な施策を考え実施していかなければ早晩この南魚沼市は大変な状況に追い込まれると思ひます。[40 歳代 男性]
 - ・ 特色のあるまちづくり。活気が見えない。業務多忙と思ひますが、毎日残業ですか。効率の良い業務を願ひます。[60 歳代 男性]
 - ・ 何も考えずに暮らしていたことがよく分かりました。どうやって市に関わっていけばいいのでしょうか。何が困っているのかいないのか分かりません。老後は若い人がいないので不安です。若い人が住んでくれるような市になってほしいです。市長さんが飛んでるポスターが好きでよく見ましたが何のポスターですか。7月7日増田太郎さんは、市長の「すばらしい青年」という前フリどおりの素敵なヴァイオリンをひく好青年でした。是非6月5日2020オリンピック聖火リレーゴール時に太郎さんと呼んでください。私は聖火リレーに出ます。南魚沼楽しくなってきました。[40 歳代 女性]
 - ・ 東京から U ターンしてきましたが、やはり自然や温かい人柄などに触れ、定住したい地域だと感じています。ただ、生活にかかる費用は東京にいる時よりもかかってしまうことが多々あります(車代、プロパンガス代、灯油代、保育料(東京より高い)、水道代)。お金がかかっても住みたいと思ひ持ちもありますが、現実的に母子での生活を考えると親の援助なく暮らしていくのは難しいかと感じています。特に U ターンの母子だからそう感じるのかもしれませんが、教育の場も時間がかかってしまう所にしか高校以降学校がなかったりと住み続けたいが難しいかもしれないと漠然と感じてはいます。ただとても人柄よく、皆様親切なため、特に不満は感じていません。[30 歳代 女性]
 - ・ 南魚沼市は良いところがたくさんあるので、もっと県外、市外の方に知ってもらえたらと思ひます。[30 歳代 女性]
 - ・ 財政健全化[40 歳代 男性]
 - ・ 人口減少、高齢化が急激に進む魚沼地域、しかも地方の財政状況が厳しいところ、計画大綱の各分野で総合的に実施され大変立派に進展しています。大綱No.1 からNo.6 を令和も実施、実践、実行していただきたい。今後令和の時代を展望して南魚沼全体を一体として次の方向を検討してほしいと願っている。人口増加を目指す対策、まちづくり、企業誘致と共に財源確保(税)のまちづくり、働くことのできる環境、自然を生かした観光資源の開発と三魚沼一体となった魚沼づくり。[70 歳以上 男性]
 - ・ 市役所職員の人数が多すぎるように思ひます。[30 歳代 男性]
 - ・ 水道代が高いし税金も高いし、自然は豊かですが冬の大雪にうんざりします。結婚を機によそから来ましたが非常に生活しづらい所です。申し訳ございません。[40 歳代 女性]
 - ・ 市民税が高い。[30 歳代 女性]
 - ・ 人口の減少がとても心配です。中学生について見ると、私達の時の三分の一です。[60 歳代 男性]
 - ・ 地域コミュニティの充実と向上を進めてほしい。地域の活性化に対する専門家の助言を行政を通して企画立案し、具体的な動きにつなげてほしい。地域住民に任せるだけではなかなか推進はしない。バックアップ体制を願う。[60 歳代 男性]
 - ・ 各支所の人数が多すぎる感じがする。[70 歳以上 男性]
 - ・ 財政健全促進、事業の見直し、外部の人間を入れる。助成金の大幅な見直し、削減。歳出全体の削減。[60 歳代 男性]
 - ・ 人口減少、増税の中で公務員の給与が異常に高い。全国に先駆けてボーナスカット、給与削減をやってほしい。行政が結婚をサポートするような部署を立ち上げてほしい。[40 歳代 男性]
 - ・ 市報はもう少し文字を大きくして読みやすくしてほしい。簡単で一目見て分かるように工夫してもらいたい。市報の紙面数はこれ以上増やさない方がいい。[70 歳以上 女性]
 - ・ 今後 5 年間は定住人口、観光人口の増加と人口年齢の若返りのみを考えた方がいいと思ひます。人がいなければ何も実行できません。高齢者のみでは何も実行できません。日本人の人口の上限は決まっています。今後 5 から 10 年間で日本人をかき集めた村、町、市、県が生き残ることができます。若者が増えれば市の人口は永続的に増加もしくは安定します。外国人を増やせば、純日本ではなくなりますが、人口を増加、維持することは可能です。人が増えれば人と金が増えます。人口目標に到達するまで小さな犠牲には目をつぶりましょう。[30 歳代 男性]
 - ・ 香川県三豊市では生ごみを燃料にして石炭価格の 1/4 で売っていることで、年 2 億円利益を出しているそうです。当市においても収入を増やすことを考えていかないと市の財政がマイナスになるばかりのため、対応

- を検討すべきと考えます。[60 歳代 男性]
- ・ いわゆる箱物で赤字の物は市民の意見を聞いて廃止にしていく方向で検討していけないでしょうか。[年代不明 性別不明]
 - ・ 豪雪地帯なのに除雪が上手いので不便さはあまり感じない。それはとてもありがたいし、すごいことだと思う。人口がどんどん減少し、このまま若者がいなくなれば大変。若者が住みたいと思えるまちにしてほしい。雇用はあっても給料があげればあまり魅力がないと思うし、魅力も感じない。また、給料が良くても遊ぶところがなければそれも何とかしてほしいと思う。いろんな店が南魚沼市にできるようにしてほしい。キャンプ場や公園などのレジャー施設もつくってほしい。最終的に何が言いたいかわからなくなったが、若者が住みたいまちにしてほしい。[20 歳代 男性]
 - ・ 様々なマイノリティ、様々な障がいのある人が当り前に学校や職場にいる共生社会を目指してください。分けることは排除です。障がいのある人も一般の成人式に出られるようにしてください。分け隔てる考えはヤマユリ園の障がい者殺傷事件を起こさせた優生思想と通底しています。[40 歳代 女性]
 - ・ 庁舎の集約。[70 歳以上 男性]
 - ・ 南魚沼市は小さくなってきています。限られた予算をうまく使うのが大変になってきます。「公」の精神を大切に持って運営して行ってください。[60 歳代 男性]
 - ・ 災害があった時、これは市の管轄、これは県の管轄といって逃げてははっきりした回答がない。責任逃れはやめよう。土日は交替で窓口を開けて欲しい。他の企業とかはちゃんとやってる。市民のことを考えているならそうすべき。[60 歳代 男性]
 - ・ 高齢者社会にともない人とつながりが村単位でなく会社の人との関りが多くなりつつあり、専業主婦は村での交流がなくなってきています。今後は市の交流を見つけて外に出るよう努めなければいけなくなりました。これもまた良いことと考えていますので、いろいろな企画をしていただきたいと思います。[60 歳代 女性]
 - ・ 税金が高いと思います。[60 歳代 女性]
 - ・ 少子高齢化対策[70 歳以上 男性]
 - ・ 地域づくり協議会の主は何処へ。[70 歳以上 男性]
 - ・ 市報等、市よりの文書はなるべく平易で解りやすい文章での記入をお願いします。[70 歳以上 男性]
 - ・ 公務員給与を地場賃金並みに引き下げる。[70 歳以上 男性]
 - ・ 子ども達が住み続けたいと思うまち。住み続けることができるまち。そんなまちになることを願っています。[60 歳代 男性]
 - ・ 将来のことを考えると人口減少を少しでも抑えていかなければと思う。そのためには若い世代、子育て世代にもっと支援をすべきだと思う。国と同様の方針で進めても人口は減っていくだけ。市独自の支援(子育て世代の市民税を下げる、給食費を市が負担する等)をし、他の市町村より住みたいと思える環境をつくることはできないだろうか。ただでさえ豪雪地帯で雪やスキーが好きという理由でもない限り住みたいと思う人が少ない地域だと思う。だからこその市町村にはない魅力が必要だと思う。[40 歳代 男性]
 - ・ 障がい者に関わらずどの人も住みやすい雇用、収入、生活の利便性、安全環境、老後の不安を感じない生活を送りたいです。生活の必要最低限に給料が足りない所はそのまま老後の不安につながるの、収入の安定が必要不可欠です。[40 歳代 女性]
 - ・ 講座等参加したいと思っても大和地区から塩沢地区まで行くのは大変。交互に開催していただくのと有難いと思います。例として調理実習など。[70 歳以上 女性]
 - ・ 市町村単位の話ではないかもしれませんが、小さな子どもを増やすための施策が成功している所もあります。ぜひ参考にしてほしいです。[30 歳代 男性]
 - ・ 燃えるごみの集取3回/週を2回/週で経費の削減を。税収の少なさ故とは思いますが、塩沢区費+六分區費の徴収に無駄は無いのか。[60 歳代 男性]
 - ・ ひとり親世帯と共に増加しているのが社会のグローバル化による夫の単身赴任、海外赴任により女性が家を守らなければならない世帯。地域の作業や雪かきなど、力のない女性には負担が大きいです。土地柄もあって女性の作業参加だと足を引っ張る存在だという空気があります。地域負担に女性参加を促しているようですが、今の空気では数十年は無理です。[40 歳代 女性]
 - ・ これから都市部以上に人口が減少していくと思われませんが、この土地ならではの特色を活かして人が住みたいと思うようなまちづくりをしないと南魚沼市の未来が無いと思う。[50 歳代 女性]
 - ・ 若者が定着できる地域づくりを。子どもが家外で安心して遊べるまちづくり。[70 歳以上 男性]
 - ・ 災害発生時(発生の恐れのある場合)に携帯電話を持っていない高齢者は市からの情報を受け取る術がない。防災無線(ラジオ等)整備をしてほしい。[50 歳代 女性]
 - ・ 人口減少に対応した対策が必要です。地元に残る子どもが少なく、都市部や他市町村へ出た人々にも帰りやすい場所であって欲しい。都市部に暮らす人が仕事や休憩でも使いやすい環境を整え、移動しやすい状況をつくってもらいたい。[70 歳以上 男性]
 - ・ 市役所職員はじめ、学校、消防署の職員方には大変お世話になっています。[40 歳代 男性]
 - ・ 雪おろしなど除雪が大変で冬の時期は毎日不安や緊張感でいっぱい。高齢になった時に生活していけるのだろうかとか平日頃から考えてしまう。また昔から住んでいる人同士のつながりは強いが、新しい人に対する(別の地域からの居住者)接し方が薄いように感じる。田舎暮らしはもっとお嫁さん同士のつながりや交流の場があるかと思っていましたがあまりない。財政的にも気候的にも厳しい面が沢山あると思いますが、一步一步住みやすいまちづくりを目指していただければと思います。南魚沼市のお米は美味しいけど、それより餅の方が格別に美味しい。もっと広めればいいのに。[40 歳代 女性]
 - ・ 若者が定住しやすい環境をつくってもらいたい[40 歳代 男性]
 - ・ 何故公務員の方は、給与のほか補助が出るのか。また冬場は暖房補助費が出るのか。一般企業の福利厚生が低いのか、公務員が過剰なのか。個人的にはこの地域の給与水準は低いと感じている。当然給与水準を上げる活動をしていかなければいけないが、この地域の売りを米に頼りすぎているのではないかと感じる。四季はは

- つきりとして交通の便が良い立地を生かし切れていないと思う。東京オリンピック交通範囲圏内だと感じているが、その部分の宣伝効果は今のところ感じられない。やはり地域に人が多く集らないと駄目だと思う。勝手なことばかり申し上げすみません。[40歳代 男性]
- ・ レジャー施設も含めて統合、縮小、廃止の決断は早めに行うよう希望します。[60歳代 女性]
 - ・ 田舎のようでも田舎過ぎず、都会でもない。交通の便が良いので住みやすい。もっと企業が多いと若い人達が定着できるかと思う。真剣に人口減少対策を考えることが必要。10年先を読み、斬新なアイデアを生み出す必要がある。市長以下ユニークな発想と強力な個性で牽引する。コンダクターを養成してほしい。バイタリティが足りない。従来の越後人を超えたい。市の事業を棚卸し、縦割りを関連事業で統合できることは統合し、縫合できるよう行政システムを洗い直す時期だと思う。降雪などのハンデキャップをチャンスに替える。二番煎じでない若者の考えを市政に導入させることを期待したい。[70歳以上 男性]
 - ・ 市報みなみ魚沼をいつも読んでいます。読みやすいと思っていますが、先日、魚沼市の市報をたまたま読むことがあり比べさせてもらいました。年度初めの市報だったため、各庁舎にある課が図で記載されていてとても分かりやすかった。ぜひ南魚沼市にも入れていただけると嬉しいです。[40歳代 女性]
 - ・ 魚沼市は色々な商業施設などができ活性化してる姿が見えるが、南魚沼はなにも変化なし。むしろ衰退してるのがよく分かる。なぜこんなにも違うのか。正直、今の南魚沼には何もないです。県外の友達が来ても案内する場所もないので。もう魚沼市と合併してこちらを盛り上げてもらいたいくらいです。机上でのあーだこーだより、動いてください。目に見える変化を期待しています。[40歳代 女性]
 - ・ 広報誌が多すぎる。癒着、談合、維持契約が多いみたい。入札結果が広報には出ていない。[60歳代 男性]
 - ・ 必要な情報にたどり着くまで手間がかかるように感じる。[50歳代 男性]
 - ・ 南魚沼市には総合的なショッピングセンターが1軒しか無い。市内を回る交通が不便。雪という大きな支障がある。しかし中央に繋がる新幹線と高速がある。都会へ出るには大変便利。例えば東京へ出るのに茨城県や千葉県、埼玉県との奥に住んでいる人よりは半分の時間で東京へ行くことができる。田舎の人間は都会への魅力がある故に、卒業後は南魚沼市には戻って来なくなる。次世代に家業を繋げる人がいなく廃業する企業も少なくない。一部落を見ても空き家の数が多くなっていく。都会から戻って来て南魚沼市に居住してこられる若者達に希望のある提案を願っています。[60歳代 女性]
 - ・ 1 毎年予算化されている各項目の結果について、市民にどのように開示されているのでしょうか。益々少子高齢化が進み、市の人口が減少していくなかで、財政の健全化が今後どのように計画されているのでしょうか。防災ラジオの全戸配布について現在、各行政区（区長他）に何か配布しているが、災害時の情報避難要請に迅速な対応に全戸配布が必要だと思います。少子高齢化及びIT化が進んでいるなか、行財政の健全化の見直しが必要だと思います。このアンケートの中で、各補助金について、特に指定管理団体への補助金額が多いと感じています。適正なのでしょうか。IT化が進むなか、さまざまな民間企業では、人員の削減等経営の健全化が行われています。財政面からも市職員数と、公務員並みの給与を市民平均給与を参考に財政を考慮し、見直しが必要だと思います。給与・退職金・生涯年金額について、格差が大きいと感じております。最後に重複している項目ありますが、重複予算なのでしょうか。[60歳代 男性]
 - ・ 人口減少は心配である。若者の移住などもっと目に見える施策がほしい。中心部の空洞化、中心部に行ってみたくと思えるまちづくりを（店など）。大規模に農業経営を行っている農家はよいが、零細農家への対策も。うちの実家（城内地区）も父親が細々とやっているが、父親ができなくなった後の農地の扱いなどが心配。40代の未婚者が多い（私の友人も多くいる）。人口減少抑止のための思い切った施策を。歴史的に価値のあるまちだと思う。もっと活かすような施策を。7/19に開いた講演会も聞いたが、内容的にイマイチ。もっと頑張ってください。そのために私達も協力します。[40歳代 男性]
 - ・ 子どもや高齢者に対する施策は充実を図ろうとしていることが分かるが、青年層から壮年層の、子どももいなければ親の介護も必要ないような人々にとっては施策・市政に関心を持ってない。娯楽施設はそのほとんどがパチンコ店であり若者向けがない。自然は多いが目につくのは田畑くらいである。米・水はおいしいが、おいしいだけなら南魚沼市でなくとも食べられるし、選択肢も多い。市が歴史等を市外にアピールしても市民がその歴史等を詳しく知らない。新潟県で正社員をするよりも東京都でアルバイトする方が稼ぎが良いくらい。買い物するのがだいたい長岡市になりがち。移住・定住を図る前に流出の防止を。無駄な休耕地の有効活用の模索、できればお金を掛けず（維持含む）宅地にできればよい。[30歳代 男性]
 - ・ 子ども、高齢者の対策も大事ではありますが、若い世代の就職支援雇用の充実をお願いしたい。市の奨学金の市内就職での返済不要も市内に就職できる環境があってこそです。せっかく学校で身につけた資格を生かせなくては何もなりません。北里と連携してメディカルタウン構想を進めてください。市報を職員による各戸への配布はできないでしょうか。JAでは職員が全戸に配布しているので、市役所でも可能ではないでしょうか。[50歳代 男性]
 - ・ 地域コミュニティ活性化事業を廃止し、その予算を山間辺地の宅地開発、分譲に回してほしい。小手先の発想では過疎化は止まらない。農村も今は会社員で生計を立てている。必ずしも先祖代々の土地にしがみついてもいなくもよい。田舎に住むメリットがなければいい、例えば家屋の固定資産税の不課税等、太陽が西から登るような本気度の発想がなければ自然に人口は減少する。町から田舎に移住させるような施策コミュニティの再編云々、不可であれば都市集中化に進んでほしい。蛇の生殺しでは困ります。[70歳以上 男性]
 - ・ 県内同規模の市町村に比べ市職員給与が高いのでは。市財政を考えた時どうなのかと思う。[60歳代 女性]
 - ・ このまちの魅力を外部の視点も入れて詳細に分析し効果的に発信すべきだと思います。六日町地区にいますが、商業施設（DIYはコメリ、家具はアテーナ、飲食はカップ寿司、マクドナルド、ケンタッキー、すき家等）は若者には大事なところ。食品スーパーは良食、原信、イオン、服はイオン、ワークマン、青山、しまむら、家

- 電はヤマダ、ケーズ他ドラッグストア等銀行、病院がコンパクトにまとまっていて(官公庁も)都市機能は全国どここのまちと遜色ないくらい享受できる。また交通環境も近い。以前住んでいたところは最寄のインターまで90分位かかりました。そんな高所でありながら自然が満喫できる(川遊び、山登り、出勤前登山等、スキー等)、このような素晴らしいところはそうそうないと思います。子育て世代に最高かと。もっとアピールして移住してくれる人を増やす方法を探してほしいと思います。[50歳代 男性]
- 職員の方々は一生懸命地域住民のために頑張ってもらっています。本当に頭が下がる思いです。もっとそこに住む人々が行政に頼るばかりでなく自分達の意識で自立共生の行動を起こすことのできる動機付けが必要だと思います。感謝しています。[50歳代 男性]
 - 単年度のばらまき予算ではなく、費用対効果を経過年数で検証し、予算の配分の見直しが必要です。[70歳以上 男性]
 - いつまでも南魚沼市に住み続けたいと思うようなまちづくりをしてもらいたい。ブータンのように世界一幸福だと人々が思うようなまちをつくってください。[70歳以上 男性]
 - 他地域のことは分かりませんが、南魚沼市の住民税が少し高く思います。1か月1万円以上だと生活が苦しくなることもあります。どうにかできないでしょうか。[40歳代 女性]
 - 塩沢地区、六日町区、大和地区のそれぞれが今までに独自で動いている印象がある。ひとつの大きな南魚沼としての体勢のようなものをダイナミックにやってほしい。[30歳代 男性]
 - 今となってはどうしようもないかもしれないことですが、「南魚沼市」として町合併が行われることになり数年が経ちますが、町方式が集まった「市」という実感です。せっかく市として市政があるのであれば、その土地の持っている特色を生かして思い切った政策を期待していましたが、中途半端な施設に税金が投入される傾向で、何のための施設新設なのか理解できません。既存の施設、これからの施設について膨大な費用(税金)が必要になると思いますが、市民が望む、そして市外から人が引き付けられるような市政を希望します。[60歳代 女性]
 - 働く場が少なく、時給などは本当に低い。なのに税金だけは高い気がします。水道料金も高いと思います。そんなことばかりでは人口は減るばかりなのは仕方ないのではないですか。[40歳代 女性]
 - 魅力の発信力が低い。住み良く暮らし良いこと(所)に人が集まる。社会保障の充実を切望します。現場に出て住民の話、状況を直視してください。CCRCだけで人は住みません。[年代不明 性別不明]
 - CCRC構想は、取り組むだけでなく南魚沼市オリジナル版で具体化をお願いします。旭川市上川郡東川町みたいな例もありますし。[50歳代 男性]
 - 婚活事業を進めて結婚する方を増やしてほしい。取り組んでもらいたい。[60歳代 女性]
 - 独身者が気軽に参加できるイベントを開催してほしいです。[30歳代 男性]
 - フェイスブックでよく見えます。頑張ってください。[40歳代 女性]
 - 人口減少・流出を何とか抑える方策を考えてください。人がいないことにはまちがさびれる一方です。市民からも知恵を集めて元気な南魚沼市にしてください[30歳代 男性]
 - もっと外国人が来やすい環境づくりをお願いしたい。英語表記や国際大学と市民の交流行事を増やしてもらいたいです。[40歳代 男性]
 - 南魚沼市は県内でも外国人の多い市の1つであると思う。国際大学の留学生だけでなく、他にも多くの外国人住民を見かけるが、市民としてはあまり関りを感じない。特に国際大学の留学生に関して言うと、彼らは日本と他国をつなぐ大きなかけ橋となる存在であり、この存在を人の宝としてもっと活かしていけると良いなど感じる。国際化した地域というのはとても魅力的だと思し、そこに力を入れることで新たに職も生まれ、高い言語スキルを持った若者が故郷に帰ってきたりということもあるだろう。一部の地域だけでなく、全体の国際化が大切であり、それは他の地域には無い魅力であると感じます。[20歳代 女性]
 - 予算304億から285億まで抑える訳で大変ですね。年3億削減は容易ではありません。5~6年続けるんだ。何の責任も取らない公務員だから民間に委託する現状ですから、仮に民間企業ならどうするか。商工会と懇談会してますか。人口UP、労働者UP等による税収UPは見込めない成果主義ないし観光客UPは疑問。明るい要素が無い。かんぼ生命のようにノルマありますか。税収UPを図り、経費削減年3億。夕張市を参考にして職員の年収4割カットを見据える覚悟を市より公言してください。高給取りの職員の話は誰も聞きません。ふるさと納税(他の自治体より勝った)のように競争原理が必要です。職員も競争して給料UPを図る。競争できない子ども、高齢者、弱者は今まで通り投資してほしい。とにかく職員に競争して欲しい。そうすれば市民も協力して財政が良くなる。人間力アップこそが市を救う。職員がリーダーシップを取って物事を進めないと誰もついていきません。職員の意識改革ができれば税金泥棒で終わってしまう。もっと根性出して頑張ってください。[50歳代 男性]
 - 財政悪化率が県下でも最低。市予算中の人件費の割合最高。人件費の削減、民間企業の給与とのバランス考えても職員給与考えるべし。地域の役所、地域の公僕、人事委勧告必要なし、市議員の諸費用等然かり、赤字の企業はボーナスなどない。人員削減議員定数削減少々のサービス低下仕方なし。市民も我慢。[70歳以上 男性]
 - 環境共生と産業振興の同じ事業名・事業内容で同じ予算はおかしいと思う。行財政運営の効率化の地域開発センター、12の地区の全部のセンターの改修を望む。[70歳以上 男性]
 - 若者が永住したくなるまちづくりに力を入れてほしい。[60歳代 女性]
 - 地域のことを最優先するのではなく、全体を考えること。ナンバープレートの件もそうだが、全てにおいて企画立案実行がへた。南魚沼・十日町でもっと連携をして、どうすれば人口が増えるかを考えるべき。交流人口、滞在人口、関連人口等大切ですが、もっと大胆な政策を打つこと。[50歳代 男性]
 - 税金や公共料金(水道代)が他に比べ高い。[50歳代 男性]

- ・基本計画を作成されていらっしゃる方々におたずね致します。皆様方の基本的概念はどのような経過を辿って形成されましたか。スローガンを掲げることは簡単なことですが、現実問題として実行可能な事柄がたくさんあります。まずは目前の問題に対して各々がどのような精神で事にあたるか、その対処方法に取り組む姿勢にあると思います。つまり人間性に尽きるのではないのでしょうか。人間づくりを先行することです。自然美に劣らないプロジェクト（人間）づくりを期待します。[70歳以上 女性]
 - ・春の区長会で広報とその他の配りものが多すぎるとの意見がありました。15種類あるものを集合広告的にして7種（部）にしてはどうでしょうか。それぞれ発行する人が配る人のことを考えていませんので、それを伝え、今までの考えを無しにして集合する。そうしないと配れない。そうでないと新聞に入れてもらえないと考えると配れないと思います。以上これは林市長へ直接の提言です。[50歳代 男性]
- ◆市長・市職員・窓口・議会
- ・市民からの電話について。担当者まで時間がかかる時は一旦切り、改めて電話いただけませんか。同一世帯内の市からの文章、封筒はまとめて節約できませんか。スマホもインターネットも使えません。カタカナ文字の文書にはご配慮ください。[70歳以上 男性]
 - ・南魚沼市に限ったことではないが、特に田舎はプライバシーの保護ができていない。公共の施設（市役所や病院、ハローワーク等）の職員から話を聞いたというのをたまに聞くことがある。そういったものを厳しく取り締まらなければ、若い世代は流出するし、移住者も遠くのではないか。また、市役所の資料の閲覧がほぼPDF式のダウンロードでしか見られないというのは非常に使いづらい。窓口の対応は悪くはないが、制度に対する知識（補助金、助成金等）が乏しいと感じる。今やネットの情報で補助金や助成金の制度をSNSで共有している若者が多いので、しっかり対応してほしい。昔からとるものはとるが得な情報は教えないが相場だが、今の時代通用しない。[30歳代 女性]
 - ・赤字の市でありながら公関係の業者の所得が高すぎる。どこの窓口でもうんうんとうなずく窓口受付の者がいるのだが何者か。一部の地域権力者が市政や議会に多大な影響力を指していると思う。役所の住民課は聞かれば答えるのではなく、市民利益になることは率先して教えるべき。適材適所なのか非常に疑問である。議員は何をやっているのか。選挙活動以外まったく活動を見たこともない者がいる。[50歳代 男性]
 - ・役所へ時々行きます。職員全員名札を付けておりますが、机の下に名札があり正面からは見えません。仕事中でも見えるように上に付けてください。[70歳以上 女性]
 - ・塩沢庁舎の対応がもう少しスピーディーになるといいなと思います。[40歳代 女性]
 - ・市役所の対応時間をもう少し長くしてほしい。午後6時ころまでやってもらえるともう少し相談に行けるようになるだろう。あと水道料金をもう少し安くしてもらえるとありがたい。[30歳代 女性]
 - ・市長の思うとおり。[年代不明 性別不明]
 - ・日々市民のために一生懸命働いてくださりありがとうございます。これから暑い季節になりますが、皆さまど
- うぞご自愛ください。[20歳代 女性]
 - ・市民病院、基幹病院、公営医療に人が多すぎ。しかも言葉を丁寧に使うが、対応はざさんすぎるし、待ち時間が長すぎる。診察時間は短い。市役所の人間も多すぎる。[60歳代 男性]
 - ・市役所職員の上から目線が気になります。[60歳代 女性]
 - ・何度か市役所に行くことがありましたが、職員の態度が以前にはないように温かく感じられました。堅苦しい雰囲気だった窓口も戸惑った様子の人を見かけるとすぐ席を立ちそばに来てくれ言葉をかけていました。これからも市民の声を受け入れてくれる場所であることを切に願っております。[70歳以上 女性]
 - ・住民から相談を受けたら今までと同じようになってほしいと思います。[70歳以上 女性]
 - ・今の行政のやり方では、人口が減るだけで、市として存在することができなくなる。南魚沼市が南魚沼市らしくあるために、行政はもっと汗をかくべき。窓口に来訪者がいても、遊んでいる人が多いのが気になる。民間でそんなことをしていたらなくなりますよ。もっと知恵を出して考えること。せっかく市長が若いのに、今までとあまり変わってないような。とにかく頑張ろう。[50歳代 男性]
 - ・だいぶ前に確定申告に役場に行った時、税務課の役職の方が対応してくれたのですが、高飛車で殿様のような態度にビックリした。このような人は民間の会社にはいないのに。[70歳以上 男性]
 - ・市民ファーストで訪れた市民に対する積極的な対応が求められる職員が見受けられる。[70歳以上 男性]
 - ・24時間とは言わないが、土・日曜日は最低限出勤してほしい。一般企業は土日と休みが多いと思うので対応してください。手続き等で市役所の窓口に行くと、毎回なぜこんなに人がいるのかと思う。何をしているのか分からない。適正な人員なのか徹底的に確認してほしい。要望として人員削減して市民税を減らす。できなければ倒産と言う心配が無い分、市や市民のために尽力してほしい。先の土・日出勤、人員、給与の見直し。市民の負担を軽く少なく現状の状態であるのであれば、より勤務したくない機関にしてほしい。給与＝税金、倒産＝皆無、毎年多額の予算があれば、将来的にロボット化を検討し、人員削減や効率化アップに繋げてほしい。[40歳代 男性]
 - ・大和庁舎に書類をもらいに行くと、受付の方はとても親切で丁寧でしたが、奥の机でお仕事をされている50代くらいの女性の方々はとても楽しそうにひじをつき、パソコンのマウスを持ちながらお話をしていました。私が帰る時までずっとでした。笑顔でお話をすることが悪いこととは思いませんが、一応公務員、誰が見ているか分からないし、見ていないからいいとは思いますが、公務員こそ究極のサービス業だと思うのですが。こんな話をすると、じゃあお前が公務員になってみろよという方もいるとか、私も50代、気を付けて行動しないと。[50歳代 女性]
 - ・市職員同士の優遇措置をやめてもらいたい。自分の立場を利用して障害手当ももらってる。中には世帯主ではあるが貰っていない人も数いる。絶対不公平のないように行政がしっかりやってもらいたい。[60歳代 女性]

- ・若者の働く場所が少なく給与が安い。子どもが3人いるけど、共働きでもやっとで貯金もできず大変です。井口市長の政策もダメでしたし、今も何も変わらず、六日町は衰退の道を進んでいると思います。老人の働く場もない。あってもトイレ掃除、草取りなど汚い仕事ばかりです。市の職員は前向きな考えの人が少ない。前年通りと言っていれば給与は楽々いただけるし、上司に頭を下げることもないし、私達の税金で暮らしていかまずので最高なのではないですか。[60歳代 女性]
- ・土日祝日に市役所が休みのため住民票、印鑑証明書等がとることができないこと、マイナンバーを作ったらコンビニで交付できるのはわかっていますがマイナンバーを作りたくないです。安心のくらしを林市長に託す事できるのでしょうか？林市長に一票投票した一人です。大丈夫でしょうか。[60歳代 女性]
- ・以前伺いたいことがあり本庁舎(子育て支援課)へお電話させていただきました。用件を伝えると「少しお待ちください」と言われ電話を保留にせず「〇〇って問合せが来て〇〇言ってんだけど」と職員同士の会話が丸聞こえでした。私の質問に対する内容でした。最終的には質問に答えていただきましたが、職員同士の会話で相手に対する態度が伝わってきてしまい、少しだけ残念な気持ちになりました。電話で待たせるようなことがあれば一度保留にするか、かけ直すかなどの対応をしてほしかったです。[30歳代 女性]
- ・月に一度くらい休日窓口を開けてほしい。[30歳代 女性]
- ・窓口での対応をもう少し親切にしてほしい。特に女性対応が悪すぎる。[30歳代 女性]
- ・病院事業の赤字解消のため公設民間に移行。現在の民生委員、児童委員を全員を入れ替える。仕事をする委員の選任を望む。[60歳代 男性]
- ・市役所の各課の対応が良いのでそのまま続けていきたい。[60歳代 男性]

◆アンケート

- ・市民の声を聞き、求めていることに力を入れてくださるうとしてありがとうございます。[20歳代 女性]
- ・今回のアンケートに対する参考資料はこれから「～します」ばかりで、今後行うことばかりで取組が進められているか聞かれても分かりません。また、対象とならないものが多いので、答えが「どちらともいえない」が多くなります。途中から答えようがないので答えていません。協力できずすみません。[50歳代 男性]
- ・今回のアンケート、政策区分に令和元年度予算額のみ記載があったが、前年度との比較が分かりにくく、大雑把な比較しか記入されていないためアンケートに答えにくかった。方針的にはどうしたいのか見えにくい。[60歳代 男性]
- ・こういうアンケートは我々先の短い人に求めず、20代から30代の人達に求めてください。年齢になると市政に対しても関心が無くなってきます。[70歳以上 男性]
- ・今回のアンケートは、私には難しくて書くのが大変でした。[60歳代 女性]
- ・市報をもっともっと読んで南魚沼市のことを知りたいです。[70歳以上 女性]
- ・次回から参加しません。よろしく。[70歳以上 男性]
- ・この度アンケート依頼を受けさせていただいたおかげでアンケート参考資料に目を通す機会ができ、市がこれまでに行ってきた取組、これから取り組む計画を知ることができて良かったと思います。[60歳代 女性]
- ・市の財政が勉強不足であまり書けません。仕事をずっとしてため、あまりよく内容を読めず理解してないことがある。雪の対策がなければ良い場所とは思いますが。毎日短い時期ではあっても雪掘りは大変です。[60歳代 女性]
- ・市の職員や市議の人達に意見を伝えても、検討しますといつも言われて結果や答えが返ってきません。一個人の意見や団体の意見がそのままなのにこのアンケートが果たして意味があるのでしょうか。[50歳代 男性]
- ・参考になるようなアンケートの回答でなくて申し訳ございません。行政区や地域での行事には積極的に参加していますが、まちづくりの総合計画については無知なことばかりでした。[70歳以上 女性]
- ・集計結果(回答数)を公開してください。頑張ってください。[60歳代 男性]
- ・アンケートは参考資料が多すぎ。若者は非協力的になってしまうと思います。[20歳代 女性]
- ・市民のためにたくさん動いてくださりありがとうございます。正直今まで自分のことに追われっぱいっばいっばいでしっかりと把握できていませんでした。事業費が具体的にどのようなことに使われていたのか知れたことが良かったです。また、読みながら日頃の市政の情報チェックは大事だと感じました。何か困った時どこに行ったり、聞けばよいのか、そんな人付き合いも情報交換という面で大事だと思いました。人とのつながりがいかに自分を豊かにするか。一人暮らしの近所の方にも積極的に関わっていきたいと思います。良く知らない者の意見としてアンケートに答えています。[30歳代 女性]
- ・いろいろな取組をしているのが分かりましたが、市のまちづくりを知っている人がどれだけいるか疑問に思いました。[30歳代 男性]
- ・市への要望書がエクセルデータでサイトからダウンロードできるようにしてほしい。[50歳代 男性]
- ・自分は障がい者で字も読めないし、もちろん書くこともできません。これからは配慮もほしいと思います。[40歳代 男性]
- ・難しく分かりません。あるがままに暮らしていきます。[70歳以上 女性]
- ・ぜひ役立ててください。[40歳代 男性]
- ・(親から)発達障害を持っている娘に(1つの仕事に集中できるけど)こういうアンケートはキツイと思いますので、返信がほぼ強制的。障がい者の意見はとても大事だと思いますけど、気持ちにゆとりない時は無理です。税金を使ってハガキを送り、早めにご返送って、裁判員制度なみの強制力。もう少し年を重ねたらアンケートに答えられるかもしれません。[20歳代 女性]

◆その他(区分できないものなど)

- ・はじめて年末に膝上まで雪が降りびっくりしたことが今でも思い出になりますが、18年もあるうちにすっかり南魚沼市民になり、雪にも慣れました。ただ高齢になり、山の上ではバスもなく車の運転ができなくなれば

住むことができません。下に降りるのか身内の家に行くか考え中です。でも山の上の中雪はブルーで空気もきれいで自然は豊かで長生きすることができました。はじめ町名も分からず、道も分からず不安でした。仕事のため来たのに一年でダメになり、失業保険をいただき、資格を取り、今でも少しずつ働けることに感謝しており、南魚沼市だったのでよかった気がして感謝しております。[70歳以上 女性]

- ・ 空き家、荒地の有効活用、観光客の誘導、温泉のアピール、スポーツ施設の活用度が分かりにくい。[60歳代 女性]
- ・ 除雪面は(南魚沼市に来た時)ととてもしっかりしていたので本当にすごいなと思いました。これからもさらに冬でも住みやすいまちづくりに期待しています。子どもが例えば耳鼻科で診療を受けた際の初診料が謎です。これも小児科などと同じように無料にしてください。春先すぐに公園や校庭で子ども達が遊べるように除雪していただいたら嬉しいです。高齢者の運転返納やその後の便の対策を何か考えていただけたら嬉しいです。池田記念・トミオカホワイト美術館は改修工事を必要とするほど人が入ってるのか。牧之通りが観光地として中途半端。もう少し見どころあるよう例えば川越のような場所になればもっと人が集まるのでは。六日町の商店街もシャッターが閉まった店ばかりで残念。[30歳代 女性]
- ・ 様々な世代の人達が交流できるような場所や施設があるとよい。駅前図書館はとてもよいアイデアと思った。ただそこに子ども達や高齢者が集う施設、さらには市役所機能を持つ施設を一緒につくり、駅前を一新できたらと思った。大きな公園がもう1つ2つあるとよい(遊具あり。)自分の子ども達に南魚沼市に将来戻って来たいと思えるようなまちにしてほしいので、市長、市職員の方々には頑張してほしいです。[40歳代 男性]
- ・ 給与水準が高い雇用場所の確保。若い人が県外に就職しなくても良い環境。少子高齢化への対応。南魚沼市ブランドの確保とアピール。高齢者用施設の絶対的確保。県外への南魚沼市認知の向上、アピール。国・県との協働事業、協力、予算獲得。[60歳代 男性]
- ・ 六日町雪まつり即刻廃止。税金の無駄遣い。職員は市内出身者を採用すべし。大学への奨学金制度を整備してほしい。事業仕分けをしましょう。蓮舫さんと呼んで。上越線内Suica使えるようにJRに依頼してほしい。兼続公祭りは六日町祭りに戻すべし。行政の関与なくせ。市民病院もう少し改善してほしい。毎回違う先生なので薬とか変わっていやだ。市制20周年は「笑点」を市

民会館で。[40歳代 男性]

- ・ 多雪地に減税してほしい。福祉に携わる職員(施設職員の)給料安すぎる。農業、社会インフラの維持管理に多額の予算が必要になる。箱物建てないでほしい。市役所を退職された方を南魚沼福祉会へ施設長として送らないでほしい。[60歳代 男性]
- ・ テレビ東京系の局を入れてほしかった。テレ玉でも良いから、閉鎖的な頑固さが鼻につき、泣かされるが多々ある。首都圏にはG党一辺倒でなく、マリノスとかフロンターレとか色々なサポーターの人達がいることを知ってほしい。ヤクルトとか阪神とかカーブ好きとかも。外人さんと友達になれる環境を整えてほしいと思う。吉本新喜劇を新潟で見せていただいたことに感謝。関西との交流も大切にしてほしいです。関西弁に近い方言しゃべる石川、富山、福井と一緒に北陸地方にして天気区分されることも多いため。地域振興局の人にあなたのしゃべりが段々、富山、石川寄りになったね、なんて冗談めかしく言われたこともありました。10月よその府県のTV局マスコットで「関西弁」をしゃべるキャラがいて、そのDVDを見たためかもしれませんが、新潟でも本場の関西弁を聞けるなんて新鮮だとは思いましたが、よく考えたら佐渡とか糸魚川がそんな感じだって知ったので「北陸弁」として受け入れてあげてください。[30歳代 男性]
- ・ 自分はへびとムカデと白アリの部落にいて、大雪おろしで大変で、両隣に雪おろしのことで責められ、土地も家も自分のものでなくいつも責められてきて、自動車事故を一方向的に仕掛けられ、もみ消され、後遺症が45年続いて止まった。まだ精神安定剤を飲んでいて、それを思うとその部落から六日町に連れ出してもらえてやれやれで。ここほどの良い町はなく天国です。[60歳代 女性]
- ・ 図書館の充実が利用者を増加させ、サービスも増え、市外の人にも自慢できる。子どもへのサービス助成はかなり多い。車に乗らず暮らせる交通網を充実してほしい。タクシー利用に一定の補助、小型バスで路線、駐車場所を増やす。財政事情は理解できるが、水道料、ゴミ袋が高い。ゴミ収集A地区月曜休みはやめるかA・Bを年毎に変更。[70歳以上 女性]
- ・ これからも種々なことでお世話になります。[70歳以上 女性]
- ・ 特にありません。[70歳以上 女性]

南魚沼市のまちづくり全般についてお聞きします。

問1 南魚沼市では平成28年に策定した「第2次南魚沼市総合計画」により6つの政策分野ごとに以下のようなまちづくりを進めています。

あなたは、次の1~33の項目について、十分に取組が進められていると思いますか。

あてはまるもの(1~5段階)を1つ選んで、番号に○をつけてください。

※ 括弧内の数字は、同封の参考資料の該当ページです。

		そう思う	どちらかということ	いえない	どちらとも	そう思わない	どちらかということ	思わない	そう
保健・医療・福祉	1 心とからだの健康づくりの推進 (P. 7) 基礎健診、住民健診、予防接種助成、母子保健など	1	2	3	4	5			
	2 地域完結型保健医療体制の充実 (P. 8) うおぬま・米ネット、市立病院運営・整備など	1	2	3	4	5			
	3 子育て環境の充実 (P. 9) 保育園運営、学童保育、児童手当、子ども医療費助成など	1	2	3	4	5			
	4 障がい者福祉の充実 (P. 11) 障がい者支援(医療費・手当・交通費助成) 自立支援など	1	2	3	4	5			
	5 高齢者福祉・介護の充実 (P. 12) 高齢者生活支援、介護保険、長寿医療、シルバー人材活用など	1	2	3	4	5			
	6 地域で支えあう福祉の充実 (P. 13) 社会福祉協議会・民生児童委員活動支援、生活保護など	1	2	3	4	5			
教育・文化	7 学校教育の充実 (P. 14) 特色ある学校づくり、小中学校施設・給食センター整備など	1	2	3	4	5			
	8 生涯学習の充実 (P. 16) 講座・イベント等の開催、施設整備など	1	2	3	4	5			
	9 地域文化の振興 (P. 17) 文化財保全活用、郷土史編さん、活動団体支援など	1	2	3	4	5			
	10 生涯スポーツの推進 (P. 17) イベント等の開催、スポーツ施設整備・運営など	1	2	3	4	5			
	11 地域・家庭教育の充実 (P. 18) ほのぼのの広場事業、子ども若者育成支援など	1	2	3	4	5			
	12 子ども・若者やその家族への支援の充実 (P. 18) 相談支援、幼児教育支援、青少年健全教育支援など	1	2	3	4	5			
	13 地域に根ざした野外・環境教育の推進 (P. 18) 学習・サークル活動支援、ジュニアリーダー育成など	1	2	3	4	5			
環境共生	14 自然環境の保全 (P. 19) 保全再生、活動団体支援など	1	2	3	4	5			
	15 循環型社会の推進 (P. 20) ごみ減量化推進、ごみ・し尿処理施設管理更新など	1	2	3	4	5			
	16 省エネルギーの推進と新エネルギーへの転換 (P. 21) 地下熱・雪氷冷熱・太陽光・バイオマス*の活用など	1	2	3	4	5			
	17 生活環境の向上 (P. 21) 地盤沈下対策、公害対策など	1	2	3	4	5			

		そう思う	そう思う どころか いいな	どちらとも いえない	そう思わない どころか いや	そう 思わない
都市 基盤	18 計画的な土地利用の推進 (P. 22) 国土調査、都市公園整備、まちなみ景観づくりなど	1	2	3	4	5
	19 ひとにやさしいまちづくり (P. 23) 路線・市民バス運行、幹線・生活道路整備、道路除雪など	1	2	3	4	5
	20 住環境の整備 (P. 25) 克雪住宅補助、耐震診断費用補助など	1	2	3	4	5
	21 上下水道の整備 (P. 26) 上下水道整備、浄化槽設置、施設更新など	1	2	3	4	5
産業 振興	22 農業の振興 (P. 27) 土地改良、農業施設整備、生産者支援など	1	2	3	4	5
	23 林業の振興 (P. 28) 林道整備、木質バイオマス活用、除間伐支援など	1	2	3	4	5
	24 観光の振興 (P. 29) 観光PR・イベント補助、施設管理、活動団体支援など	1	2	3	4	5
	25 商工業の振興 (P. 30) 商工会支援、中小企業支援、地場産業支援など	1	2	3	4	5
	26 雇用の促進 (P. 30) 職業訓練、企業誘致など	1	2	3	4	5
行財政 改革・ 市民 参画	27 行財政運営の効率化 (P. 31) 行政改革大綱・財政計画推進、行政評価、庁舎整備など	1	2	3	4	5
	28 協働のまちづくり (P. 31) 行政区支援、地域コミュニティ支援など	1	2	3	4	5
	29 災害に強い安全と安心のまちづくり (P. 32) 緊急時情報伝達体制整備、防災訓練、河川維持修繕など	1	2	3	4	5
	30 情報化の推進 (P. 33) GIS整備、証明書コンビニ交付など	1	2	3	4	5
	31 交流の推進と国際化 (P. 34) 友好都市との相互訪問、近隣都市との広域連携など	1	2	3	4	5
	32 共感と共生のまちづくり (P. 34) 啓発活動、活動団体支援など	1	2	3	4	5
	33 総合的な人口減少対策の推進 (P. 34) 婚活支援、定住移住促進など	1	2	3	4	5

問2 上記「問1」の項目1~33の中で、今後、特に南魚沼市が力を入れて取り組むべきことはどれですか。5つまで選んで□の中に入力してください。

--	--	--	--	--

問3 あなたは、南魚沼市の市民サービスについてどう感じていますか。

1～5の項目ごとに、あてはまるもの（1～5段階）を1つ選んで、番号に○をつけてください。

	そう思う	どちらかといえば思う	どちらともいえない	どちらかといえば思わない	思わない
1 窓口や電話での対応などが適切で親切である	1	2	3	4	5
2 必要な書類や情報などが入手しやすい	1	2	3	4	5
3 わからないことなどの問合せや相談がしやすい	1	2	3	4	5
4 市民の意見や考えが伝わりやすい	1	2	3	4	5
5 市役所本庁舎の窓口は利用しやすい	1	2	3	4	5
6 大和・塩沢市民センターは利用しやすい	1	2	3	4	5

南魚沼市の市政全般についてお聞きします。

問4 あなたは、市政に関心がありますか。

あてはまるものを1つ選んで、番号に○をつけてください。

- 1 たいへん関心がある
- 2 少しは関心がある
- 3 あまり関心がない
- 4 全く関心がない

問5 あなたは、市政に関する情報を何から得ていますか。

次の中から、あてはまるものをすべて選んで、番号に○をつけてください。

- 1 市報みなみ魚沼
- 2 市公式ウェブサイト
- 3 市公式フェイスブック※
- 4 FMゆきぐに
- 5 新聞
- 6 地域情報誌
- 7 窓口や電話等で直接問い合わせる
- 8 特にない
- 9 その他（ ）

※フェイスブック：インターネット上で様々な情報を投稿・閲覧できるサービス。

問 12 働く環境として、南魚沼市に魅力を感じますか。

あてはまるものを 1つ選んで、番号に○をつけてください。

また、その理由を 1つ選んで、番号に○をつけてください。

- 1 魅力を感じる 2 魅力を感じない 3 どちらともいえない



「魅力を感じる」理由	「魅力を感じない」理由
1 雇用の場が多い	1 雇用の場が少ない
2 正規職員の求人が多い	2 正規職員の求人が少ない
3 能力を活かせる仕事や職種が多い	3 能力を活かせる仕事や職種が少ない
4 将来性のある企業が多い	4 将来性のある企業が少ない
5 給与水準が高い	5 給与水準が低い
6 仕事と子育ての両立がしやすい	6 仕事と子育ての両立が難しい
7 やりたい仕事や職種がある	7 やりたい仕事や職種がない
8 起業・創業がしやすい	8 起業・創業が難しい
9 その他 ()	9 その他 ()

問 13 南魚沼市に将来も住み続けたいと思いますか。

あてはまるものを 1つ選んで、番号に○をつけてください。

また、その理由を 1つ選んで、番号に○をつけてください。

- 1 住み続けたい 2 将来は市外に移りたい 3 どちらともいえない



「住み続けたい」理由	「将来は市外に移りたい」理由
1 医療機関や福祉が充実している	1 医療機関や福祉が不足している
2 子育てがしやすい	2 子育てがしにくい
3 自然環境がよい	3 自然環境が厳しい
4 通勤・通学に便利	4 通勤・通学に不便
5 買い物がしやすい	5 買い物がしにくい
6 働く場に魅力がある	6 働く場に魅力がない
7 近所づきあいがしやすい	7 近所づきあいが難しい
8 住み慣れて愛着がある	8 家族・親族が市外にいる
9 その他 ()	9 その他 ()

集計結果

※集計結果における構成比率(%)の数値は、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表示している。そのため、表示されている数値の合計が100.0%にならない場合がある。

(1) 性別を教えてください。

	人数	%
男性	557	46.5
女性	633	52.9
不明	7	0.6
計	1,197	100.0

(2) 年齢を教えてください。

	人数	%	男性	女性	男性	女性
			人数	人数	(n = 557)	(n = 633)
20歳代	68	5.7	34	34	6.1	5.4
30歳代	132	11.0	50	82	9.0	13.0
40歳代	189	15.8	78	110	14.0	17.4
50歳代	170	14.2	85	85	15.3	13.4
60歳代	340	28.4	159	180	28.5	28.4
70歳以上	291	24.3	150	141	26.9	22.3
不明	7	0.6	1	1	0.2	0.2
計	1,197	100.0	557	633	100.0	100.0

(3) お住まいの地域(地区)を教えてください。

	人数	%		人数	%
東地区	63	5.3	大和地域	272	22.7
浦佐地区	79	6.6			
大崎地区	68	5.7			
藪神地区	62	5.2			
城内地区	86	7.2	六日町地域	519	43.4
大巻地区	78	6.5			
五十沢地区	82	6.9			
六日町地区	273	22.8			
上田地区	70	5.8	塩沢地域	399	33.3
塩沢地区	175	14.6			
中之島地区	74	6.2			
石打地区	80	6.7			
不明	7	0.6	不明	7	0.6
計	1,197	100.0	計	1,197	100.0

(4) 南魚沼市に何年お住まいですか。

	人数	%
3年未満	27	2.3
3~5年未満	23	1.9
5~10年未満	32	2.7
10~20年未満	88	7.4
20年以上	1017	85.0
不明	10	0.8
計	1,197	100.0

(5) ご家族の構成を教えてください。

	人数	%
一人暮らし	95	7.9
二世帯同居	573	47.9
兄弟姉妹と同居	16	1.3
夫婦2人のみ	219	18.3
三世帯同居	201	16.8
その他	69	5.8
不明	24	2.0
計	1,197	100.0

IV 調査票と集計結果 集計結果

(6) お仕事を教えてください。

	人数	%	男性	女性	男性	女性
			人数	人数	(n = 557)	(n = 633)
勤めている (常勤)	432	36.1	248	181	44.5	28.6
勤めている (パート・アルバイト・嘱託)	224	18.7	57	167	10.2	26.4
自営 (農林水産業)	60	5.0	51	9	9.2	1.4
自営 (商工業・サービス業)	80	6.7	51	29	9.2	4.6
家事専業	125	10.4	6	119	1.1	18.8
学生	15	1.3	10	5	1.8	0.8
無職	241	20.1	124	117	22.3	18.5
その他	14	1.2	9	5	1.6	0.8
不明	6	0.5	1	1	0.2	0.2
計	1,197	100.0	557	633	100.0	100.0

(7) 通勤・通学先を教えてください。

	人数	%
南魚沼市内	612	51.1
魚沼市	32	2.7
湯沢町	36	3.0
十日町市	15	1.3
それ以外の新潟県内	20	1.7
群馬県	4	0.3
その他	20	1.7
通勤・通学していない	333	27.8
不明	125	10.4
計	1,197	100.0

問1 南魚沼市では平成28年に策定した「第2次南魚沼市総合計画」により6つの政策分野ごとに以下のようなまちづくりを進めています。あなたは、次の項目について、十分に取組が進められていると思いますか。

人数	そう思う	どちらかという そう思う	どちらともいえない	どちらかという そう思わない	そう思わない	不明	計
こころとからだの健康づくりの推進	305	524	253	66	18	31	1,197
地域完結型保健医療体制の充実	180	393	370	147	60	47	1,197
子育て環境の充実	213	444	372	90	24	54	1,197
障がい者福祉の充実	179	382	468	97	27	44	1,197
高齢者福祉・介護の充実	188	378	398	150	46	37	1,197
地域で支えあう福祉の充実	145	342	491	137	34	48	1,197
学校教育の充実	198	403	427	84	32	53	1,197
生涯学習の充実	136	382	483	116	30	50	1,197
地域文化の振興	114	308	558	127	34	56	1,197
生涯スポーツの推進	151	405	446	107	38	50	1,197
地域・家庭教育の充実	149	406	472	87	28	55	1,197
子ども・若者やその家族への支援の充実	133	317	522	121	48	56	1,197
地域に根ざした野外・環境教育の推進	97	320	556	136	30	58	1,197
自然環境の保全	108	352	525	127	30	55	1,197
循環型社会の推進	183	404	419	110	31	50	1,197
省エネルギーの推進と新エネルギーへの転換	120	273	501	201	48	54	1,197
生活環境の向上	141	303	496	160	41	56	1,197
計画的な土地利用の推進	108	282	517	175	58	57	1,197
ひとにやさしいまちづくり	190	406	312	163	85	41	1,197
住環境の整備	132	321	456	167	54	67	1,197
上下水道の整備	185	407	403	110	41	51	1,197
農業の振興	143	315	536	111	25	67	1,197
林業の振興	97	252	578	167	33	70	1,197
観光の振興	110	339	450	179	62	57	1,197
商工業の振興	86	256	569	180	39	67	1,197
雇用の促進	98	213	494	236	90	66	1,197
行財政運営の効率化	90	257	589	139	56	66	1,197
協働のまちづくり	106	286	581	122	39	63	1,197
災害に強い安全と安心のまちづくり	182	376	413	142	30	54	1,197
情報化の推進	134	368	492	99	38	66	1,197
交流の推進と国際化	118	306	553	112	39	69	1,197
共感と共生のまちづくり	91	210	619	158	48	71	1,197
総合的な人口減少対策の推進	119	177	471	261	106	63	1,197

IV 調査票と集計結果 集計結果

	そう思う	どちらかという そう思う	どちらともいえない	どちらかという そう思わない	そう思わない	不明	計
こころとからだの健康づくりの推進	25.5	43.8	21.1	5.5	1.5	2.6	100.0
地域完結型保健医療体制の充実	15.0	32.8	30.9	12.3	5.0	3.9	100.0
子育て環境の充実	17.8	37.1	31.1	7.5	2.0	4.5	100.0
障がい者福祉の充実	15.0	31.9	39.1	8.1	2.3	3.7	100.0
高齢者福祉・介護の充実	15.7	31.6	33.2	12.5	3.8	3.1	100.0
地域で支えあう福祉の充実	12.1	28.6	41.0	11.4	2.8	4.0	100.0
学校教育の充実	16.5	33.7	35.7	7.0	2.7	4.4	100.0
生涯学習の充実	11.4	31.9	40.4	9.7	2.5	4.2	100.0
地域文化の振興	9.5	25.7	46.6	10.6	2.8	4.7	100.0
生涯スポーツの推進	12.6	33.8	37.3	8.9	3.2	4.2	100.0
地域・家庭教育の充実	12.4	33.9	39.4	7.3	2.3	4.6	100.0
子ども・若者やその家族への支援の充実	11.1	26.5	43.6	10.1	4.0	4.7	100.0
地域に根ざした野外・環境教育の推進	8.1	26.7	46.4	11.4	2.5	4.8	100.0
自然環境の保全	9.0	29.4	43.9	10.6	2.5	4.6	100.0
循環型社会の推進	15.3	33.8	35.0	9.2	2.6	4.2	100.0
省エネルギーの推進と新エネルギーへの転換	10.0	22.8	41.9	16.8	4.0	4.5	100.0
生活環境の向上	11.8	25.3	41.4	13.4	3.4	4.7	100.0
計画的な土地利用の推進	9.0	23.6	43.2	14.6	4.8	4.8	100.0
ひとにやさしいまちづくり	15.9	33.9	26.1	13.6	7.1	3.4	100.0
住環境の整備	11.0	26.8	38.1	14.0	4.5	5.6	100.0
上下水道の整備	15.5	34.0	33.7	9.2	3.4	4.3	100.0
農業の振興	11.9	26.3	44.8	9.3	2.1	5.6	100.0
林業の振興	8.1	21.1	48.3	14.0	2.8	5.8	100.0
観光の振興	9.2	28.3	37.6	15.0	5.2	4.8	100.0
商工業の振興	7.2	21.4	47.5	15.0	3.3	5.6	100.0
雇用の促進	8.2	17.8	41.3	19.7	7.5	5.5	100.0
行財政運営の効率化	7.5	21.5	49.2	11.6	4.7	5.5	100.0
協働のまちづくり	8.9	23.9	48.5	10.2	3.3	5.3	100.0
災害に強い安全と安心のまちづくり	15.2	31.4	34.5	11.9	2.5	4.5	100.0
情報化の推進	11.2	30.7	41.1	8.3	3.2	5.5	100.0
交流の推進と国際化	9.9	25.6	46.2	9.4	3.3	5.8	100.0
共感と共生のまちづくり	7.6	17.5	51.7	13.2	4.0	5.9	100.0
総合的な人口減少対策の推進	9.9	14.8	39.3	21.8	8.9	5.3	100.0

問2 今後、特に南魚沼市が力を入れて取り組むべきことはどれですか。

	人数	%
こころとからだの健康づくりの推進	132	11.0
地域完結型保健医療体制の充実	209	17.5
子育て環境の充実	339	28.3
障がい者福祉の充実	134	11.2
高齢者福祉・介護の充実	406	33.9
地域で支えあう福祉の充実	90	7.5
学校教育の充実	191	16.0
生涯学習の充実	39	3.3
地域文化の振興	28	2.3
生涯スポーツの推進	85	7.1
地域・家庭教育の充実	52	4.3
子ども・若者やその家族への支援の充実	221	18.5
地域に根ざした野外・環境教育の推進	23	1.9
自然環境の保全	68	5.7
循環型社会の推進	134	11.2
省エネルギーの推進と新エネルギーへの転換	129	10.8
生活環境の向上	103	8.6
計画的な土地利用の推進	100	8.4
ひとにやさしいまちづくり	399	33.3
住環境の整備	113	9.4
上下水道の整備	94	7.9
農業の振興	175	14.6
林業の振興	53	4.4
観光の振興	193	16.1
商工業の振興	97	8.1
雇用の促進	322	26.9
行財政運営の効率化	93	7.8
協働のまちづくり	40	3.3
災害に強い安全と安心のまちづくり	261	21.8
情報化の推進	42	3.5
交流の推進と国際化	29	2.4
共感と共生のまちづくり	28	2.3
総合的な人口減少対策の推進	469	39.2

IV 調査票と集計結果 集計結果

問3 あなたは、南魚沼市の市民サービスについてどう感じていますか。

人数	そう思う	どちらかという そう思う	どちらともいえない	どちらかという そう思わない	そう思わない	不明	計
窓口や電話での対応などが適切で親切である	257	438	342	78	34	48	1,197
必要な書類や情報などが入手しやすい	187	401	413	99	41	56	1,197
わからないことなどの問合せや相談がしやすい	175	344	431	134	53	60	1,197
市民の意見や考えが伝わりやすい	59	167	599	215	91	66	1,197
市役所本庁舎の窓口は利用しやすい	180	348	418	135	55	61	1,197
大和・塩沢市民センターは利用しやすい	164	307	473	85	53	115	1,197

%	そう思う	どちらかという そう思う	どちらともいえない	どちらかという そう思わない	そう思わない	不明	計
窓口や電話での対応などが適切で親切である	21.5	36.6	28.6	6.5	2.8	4.0	100.0
必要な書類や情報などが入手しやすい	15.6	33.5	34.5	8.3	3.4	4.7	100.0
わからないことなどの問合せや相談がしやすい	14.6	28.7	36.0	11.2	4.4	5.0	100.0
市民の意見や考えが伝わりやすい	4.9	14.0	50.0	18.0	7.6	5.5	100.0
市役所本庁舎の窓口は利用しやすい	15.0	29.1	34.9	11.3	4.6	5.1	100.0
大和・塩沢市民センターは利用しやすい	13.7	25.6	39.5	7.1	4.4	9.6	100.0

問4 あなたは、市政に関心がありますか。

	人数	%
たいへん関心がある	213	17.8
少しは関心がある	639	53.4
あまり関心がない	288	24.1
全く関心がない	35	2.9
不明	22	1.8
計	1,197	100.0

問5 あなたは、市政に関する情報を何から得ていますか。

	人数	%
市報みなみ魚沼	1047	87.5
市公式ウェブサイト	269	22.5
市公式フェイスブック	60	5.0
FM ゆきぐに	249	20.8
新聞	367	30.7
地域情報誌	257	21.5
窓口や電話等で直接問い合わせる	101	8.4
特になし	67	5.6
その他	27	2.3

問6 ④あなたは、「市報みなみ魚沼」を読んでいますか。

	人数	%
いつも読んでいる	765	63.9
ときどき読んでいる	358	29.9
全く読んでいない	49	4.1
不明	25	2.1
計	1,197	100.0

(1)読みやすさ

	人数	%
読みやすい	624	55.6
ときどき読んでいる	444	39.5
全く読んでいない	34	3.0
不明	21	1.9
計	1,123	100.0

(2)必要な情報を得ることができるか

	人数	%
できる	642	57.2
どちらともいえない	436	38.8
できない	26	2.3
不明	19	1.7
計	1,123	100.0

(3)情報量の多さ

	人数	%
多い	114	10.2
ちょうどよい	878	78.2
少ない	100	8.9
不明	31	2.8
計	1,123	100.0

(4)現在の月2回の発行回数

	人数	%
多い	141	12.6
ちょうどよい	945	84.1
少ない	15	1.3
不明	22	2.0
計	1,123	100.0

(5)総合的な満足度

	人数	%
非常に満足している	119	10.6
やや満足している	638	56.8
どちらともいえない	279	24.8
やや満足していない	56	5.0
全く満足していない	8	0.7
不明	23	2.0
計	1,123	100.0

問7 あなたは、「地域づくり協議会」を知っていますか。

	人数	%
知っている（事業に参加している・したことがある）	185	15.5
知っている（事業に参加したことはない）	279	23.3
あまり知らない	468	39.1
全く知らない	241	20.1
不明	24	2.0
計	1,197	100.0

問8 あなたは、行政区や地域での行事や地域づくりの活動に関心がありますか。

	人数	%
たいへん関心がある	171	14.3
少しは関心がある	641	53.6
あまり関心がない	299	25.0
全く関心がない	53	4.4
不明	33	2.8
計	1,197	100.0

IV 調査票と集計結果 集計結果

問9 南魚沼市に住むようになった理由・きっかけはどのようなことですか。

	人数	%
親の代（またはそれ以前）から住んでいる	792	66.2
結婚・独立	214	17.9
親や家族の都合	58	4.8
仕事・通学の都合	54	4.5
希望する土地・住宅があった	20	1.7
自然環境がよい	18	1.5
生活環境がよい	5	0.4
その他	7	0.6
不明	29	2.4
計	1,197	100.0

問10 南魚沼市は暮らしやすいと思いますか。

	人数	%
暮らしやすい	161	13.5
どちらかといえば暮らしやすい	516	43.1
どちらともいえない	277	23.1
どちらかといえば暮らしにくい	151	12.6
暮らしにくい	62	5.2
不明	30	2.5
計	1,197	100.0

問11 南魚沼市で暮らす上で、暮らしにくさや不安を感じていることがありますか。

	人数	%
医療・介護	306	25.6
子育ての支援	24	2.0
子どもの教育環境	33	2.8
少子高齢化	197	16.5
雇用・収入	192	16.0
職場における人間関係	9	0.8
地域における人間関係	42	3.5
自然災害・気候変動	98	8.2
人口の減少	88	7.4
犯罪や交通事故	10	0.8
その他	46	3.8
大きな不安はない	117	9.8
不明	35	2.9
計	1,197	100.0

問 12 働く環境として、南魚沼市に魅力を感じますか。

	人数	%
魅力を感じる	123	10.3
魅力を感じない	542	45.3
どちらともいえない	453	37.8
不明	79	6.6
計	1,197	100.0

「魅力を感じる」理由 (n = 123)

	人数	%
雇用の場が多い	16	13.0
正規職員の求人が多い	8	6.5
能力を活かせる仕事や職種が多い	6	4.9
将来性のある企業が多い	2	1.6
給与水準が高い	2	1.6
仕事と子育ての両立がしやすい	25	20.3
やりたい仕事や職種がある	29	23.6
起業・創業がしやすい	7	5.7
その他	24	19.5
不明	4	3.3
計	123	100.0

「魅力を感じない」理由 (n = 542)

	人数	%
雇用の場が少ない	128	23.6
正規職員の求人が少ない	37	6.8
能力を活かせる仕事や職種が少ない	56	10.3
将来性のある企業が少ない	47	8.7
給与水準が低い	191	35.2
仕事と子育ての両立が難しい	17	3.1
やりたい仕事や職種がない	33	6.1
起業・創業が難しい	8	1.5
その他	14	2.6
不明	11	2.0
計	542	100.0

問 13 南魚沼市に住み続けたいと思いますか。

	人数	%
住み続けたい	646	54.0
将来は市外に移りたい	219	18.3
どちらともいえない	283	23.6
不明	49	4.1
計	1,197	100.0

「住み続けたい」理由 (n = 646)

	人数	%
医療機関や福祉が充実している	15	2.3
子育てがしやすい	5	0.8
自然環境がよい	109	16.9
通勤・通学に便利	6	0.9
買い物がしやすい	18	2.8
働く場に魅力がある	5	0.8
近所づきあいがしやすい	17	2.6
住み慣れて愛着がある	434	67.2
その他	35	5.4
不明	2	0.3
計	646	100.0

「将来は市外に移りたい」理由 (n = 219)

	人数	%
医療機関や福祉が不足している	18	8.2
子育てがしにくい	4	1.8
自然環境が厳しい	73	33.3
通勤・通学に不便	8	3.7
買い物がしにくい	29	13.2
働く場に魅力がない	33	15.1
近所づきあいが難しい	12	5.5
家族・親族が市外にいる	13	5.9
その他	27	12.3
不明	2	0.9
計	219	100.0